

令和 8 年度 北秋田市総合戦略検証会議
効果検証シート（最終版）

(令和8年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO.	1	種別	総合戦略	担当部署	農林課農業振興係
基本戦略/基本理念	戦略1 産業振興による仕事づくり・稼ぐ地域づくり			施策	数値目標
KPI(指標)	I 新規就農者数【累計】				
KPI(指標)の考え方	前期計画の目標値を継承し、毎年7人の新規就農者数の増加を目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	26人	33人	40人	47人	54人
実績値	18人	19人	19人	19人	24人

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗 (令和7年度)	C: 取組に努力を要する	進捗・達成率(%) (令和7年度)	44.4%
主な取組と実績 (令和7年度)	複数人から就農に関する相談を受け、振興局等と連携して各種支援の内容を説明し、新規就農者数は延べ24人となった。		

◆計画期間(5カ年)での総括(自己分析)

計画期間での 達成率	44.4%	計画期間での 達成度評価	4: 未達
成 果	関係機関と連携し、相談者を地域に即した営農計画で新規就農へと導くことができた。		
課 題	地域の農業を担っていける新規就農者の確保が課題である。		
第3次総合計画 引継事項	農業に関心のある人材からの就農に関する相談受付や就農する前段階の農業者育成研修の案内など、就農しやすくなる支援を行う。		
第3次総合計画 関連目標指標	No.3 新規就農者数【累計】		

(令和8年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO.	2	種別	総合戦略	担当部署	産業政策課商工政策係
基本戦略/基本理念	戦略1 産業振興による仕事づくり・稼ぐ地域づくり			施策	数値目標
KPI(指標)	II 地元雇用及び正規雇用者数【累計】				
KPI(指標)の考え方	地元雇用の安定を図るため、雇用促進交付金等の制度活用について、前期計画と同様に年間6人を目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	90人	96人	102人	108人	114人
実績値	97人	109人	120人	130人	141人

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗 (令和7年度)	A: 目標を達成	進捗・達成率(%) (令和7年度)	123.7%
主な取組と実績 (令和7年度)	毎年、県やハローワーク等と連携し開催している地元企業によるお仕事博覧会(中学生対象)及び、地元高校生への企業説明会を開催し、地元企業への関心を深めることで将来の就職先としての認知度を上げ地元雇用対策につながっている。		

◆計画期間(5カ年)での総括(自己分析)

計画期間での 達成率	123.7%	計画期間での 達成度評価	1: 達成
成 果	県やハローワーク等と連携し若者の地元への就業意識、企業の地元採用に対する意識の高揚を図ることができた。		
課 題	高校新卒者数の減少が当面続くことは避けられないため、外国人材の受入促進等も合わせて人材確保に努めていく必要がある。		
第3次総合計画 引継事項	地元企業の人材確保や若者の定着を図るため、就職支援や人材確保対策に加え、外国人材の受入れ支援など、多様な人材確保策を推進する		
第3次総合計画 関連目標指標	No.18 フレッシュヤーズ応援事業利用者数・外国人材受入支援補助金活用人数		

(令和8年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO.	3	種別	総合戦略	担当部署	農林課農業振興係
基本戦略/基本理念	戦略1 産業振興による仕事づくり・稼ぐ地域づくり			施策	1-1 農業・畜産業の振興
KPI(指標)	1 担い手への農地集積率【累計】				
KPI(指標)の考え方	現状が高い集積率となっていることから、農地面積の減少も加味し毎年0.5%の集積率増加を目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	82.3%	82.8%	83.3%	83.8%	84.3%
実績値	83.3%	80.5%	76.9%	84.9%	89.1%

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗 (令和7年度)	A: 目標を達成	進捗・達成率(%) (令和7年度)	105.7%
主な取組と実績 (令和7年度)	農地中間管理機構を活用して担い手に農地が集約されるよう取り組み、集積率は89.1%となった。		

◆計画期間(5カ年)での総括(自己分析)

計画期間での 達成率	105.7%	計画期間での 達成度評価	1: 達成
成 果	受け皿となる担い手の農地集積に資する事業等への取り組みにより、目標を達成することが出来た。		
課 題	大規模な農地集約や規模拡大による作業の効率化・省力化を進め、収益の向上のための生産基盤の構築が課題である。		
第3次総合計画 引継事項	地域計画を活用し、農用地の受け手の状況等に応じた、農地の利用集積を進め、規模拡大と作業効率の向上への取組を進める。		
第3次総合計画 関連目標指標	No.1 農地集積率【累計】		

(令和8年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO.	4	種別	総合戦略	担当部署	農林課農業振興係
基本戦略/基本理念	戦略1 産業振興による仕事づくり・稼ぐ地域づくり			施策	1-1 農業・畜産業の振興
KPI(指標)	3 主な園芸作物販売額(主要6品目)【累計】				
KPI(指標)の考え方	振興作物のうち、主要6品目での販売額を毎年30百万円増加させることを目標とした ※主要6品目:きゅうり、やまのいも、ねぎ、えだまめ、キャベツ、にんにく				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	376百万円	406百万円	436百万円	466百万円	496百万円
実績値	259百万円	212百万円	213百万円	294百万円	279百万円

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗 (令和7年度)	C:取組に努力を要する	進捗・達成率(%) (令和7年度)	56.3%
主な取組と実績 (令和7年度)	重点振興作物等の種苗費や生産資材費等に対する支援を行い、主要6品目の販売額は279百万円となった。		

◆計画期間(5カ年)での総括(自己分析)

計画期間での 達成率	56.3%	計画期間での 達成度評価	3:一部達成
成 果	種苗費等に支援することにより、販売額の維持に一定の効果があった。		
課 題	園芸品目の高付加価値化による収益力向上に向けた取り組みが課題である。		
第3次総合計画 引継事項	種苗や生産資材、堆肥等の購入に対して支援を行い、複合経営への転換を促進し農家の経費負担の軽減を図っていく。		
第3次総合計画 関連目標指標	No.4 主な園芸作物販売額(主要6品目)【累計】		

(令和8年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO.	5	種別	総合戦略	担当部署	農林課農業振興係
基本戦略/基本理念	戦略1 産業振興による仕事づくり・稼ぐ地域づくり			施策	1-1 農業・畜産業の振興
KPI(指標)	4 比内地鶏飼養羽数【累計】				
KPI(指標)の考え方	現存する加工施設における処理能力羽数の50.0%を目標値として設定した				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	95,800羽	96,850羽	97,900羽	98,950羽	100,000羽
実績値	73,240羽	64,920羽	60,575羽	79,100羽	75,530羽

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗 (令和7年度)	C: 取組に努力を要する	進捗・達成率(%) (令和7年度)	75.5%
主な取組と実績 (令和7年度)	素雛導入支援や伝染性疾病の発生予防に対する支援を行い、比内地鶏飼養羽数は75,530羽となった。		

◆計画期間(5カ年)での総括(自己分析)

計画期間での 達成率	75.5%	計画期間での 達成度評価	3: 一部達成
成 果	素雛導入支援等により、飼養羽数の維持に一定の効果があつた。		
課 題	高齢化等による離農で農家戸数が減少しているなかで、経営継承や新規の参入への取り組みが課題である。		
第3次総合計画 引継事項	比内地鶏素雛の導入、家きんの伝染病予防に対する支援を行うとともに、経営継承や新規飼養農家の確保・育成について関係機関と協力して取組を進めていく。		
第3次総合計画 関連目標指標	No.2 比内地鶏飼養羽数【累計】		

(令和8年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO.	6	種別	総合戦略	担当部署	農林課森林環境係
基本戦略/基本理念	戦略1 産業振興による仕事づくり・稼ぐ地域づくり			施策	1-2 林業の振興
KPI(指標)	1 林業就業者数【累計】				
KPI(指標)の考え方	新卒者、転職者、退職減を含む就業者数のトータルで年間3人の増加を目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	178人	181人	184人	187人	190人
実績値	173人	176人	174人	176人	183人

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗 (令和7年度)	B: 概ね計画どおり実施	進捗・達成率(%) (令和7年度)	96.3%
主な取組と実績 (令和7年度)	林業大学校入学者や林業新規就労者補助金により支援を行い担い手確保に努め、単年で新たに10名の就業者があったものの累計での目標値達成には至らなかった。		

◆計画期間(5カ年)での総括(自己分析)

計画期間での 達成率	96.3%	計画期間での 達成度評価	2: 概ね達成
成 果	退職者が多い状況ではあったものの各種支援により就業者の確保が図られた。		
課 題	若年層の定着を図る上で、同年代の就業者が少ないことが課題の一因となっている。		
第3次総合計画 引継事項	担い手確保、定着の施策を継続するとともに各種支援を継続する。		
第3次総合計画 関連目標指標	No.8 林業就業者数【累計】		

(令和8年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO.	7	種別	総合戦略	担当部署	農林課森林環境係
基本戦略/基本理念	戦略1 産業振興による仕事づくり・稼ぐ地域づくり			施策	1-2 林業の振興
KPI(指標)	2 造林面積(新植を除く)【累計】				
KPI(指標)の考え方	年間400haの造林事業(下刈り・除伐・間伐・皆伐等)の実施を目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	1,178ha	1,578ha	1,978ha	2,378ha	2,778ha
実績値	1,082ha	1,564ha	1,934ha	2,331ha	2,685ha

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗 (令和7年度)	B:概ね計画どおり実施	進捗・達成率(%) (令和7年度)	96.7%
主な取組と実績 (令和7年度)	秋田県造林補助事業を活用しながら、嵩上げ補助率を拡充し施業について支援を実施した。概ね目標を達成できた。		

◆計画期間(5カ年)での総括(自己分析)

計画期間での 達成率	96.7%	計画期間での 達成度評価	2:概ね達成
成 果	嵩上げ補助率を拡充した後は、特に保育施業の実施が増加し森林整備の促進が図られた。		
課 題	予算配分により整備の実施が左右されるため有効な事業の活用や継続的な支援が必要である。		
第3次総合計画 引継事項	関係機関と連携を図り森林所有者や林業事業体の負担が軽減できる仕組みづくりを進める。		
第3次総合計画 関連目標指標	No.6 造林面積【累計】		

(令和8年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO.	8	種別	総合戦略	担当部署	農林課森林環境係
基本戦略/基本理念	戦略1 産業振興による仕事づくり・稼ぐ地域づくり			施策	1-2 林業の振興
KPI(指標)	3 再造林面積(新植)				
KPI(指標)の考え方	年間伐採面積の1/3の再造林を目標とした。(再造林面積/皆伐面積)				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	33.0%	33.0%	33.0%	33.0%	33.0%
実績値	15.7%	11.6%	32.7%	27.3%	51.1%

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗 (令和7年度)	A: 目標を達成	進捗・達成率(%) (令和7年度)	154.8%
主な取組と実績 (令和7年度)	伐採が例年よりも少なかったものの市の嵩上げ補助の支援を拡充して以降、再造林は着実に向上し、目標を達成することができた。		

◆計画期間(5カ年)での総括(自己分析)

計画期間での 達成率	83.9%	計画期間での 達成度評価	2: 概ね達成
成 果	目標達成に至らなかったものの、各種支援により着実に再造林の実施が増加した。		
課 題	小規模林家や林業に対する関心が低い方への事業周知		
第3次総合計画 引継事項	関係機関と連携を図り森林所有者や林業事業体の負担が軽減できる仕組みづくりを進める。		
第3次総合計画 関連目標指標	No.6 造林面積【累計】		

(令和8年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO.	9	種別	総合戦略	担当部署	農林課農山村保全係
基本戦略/基本理念	戦略1 産業振興による仕事づくり・稼ぐ地域づくり			施策	1-2 林業の振興
KPI(指標)	4 路網延長(林道及び林業専用道等)【累計】				
KPI(指標)の考え方	路網延長年間2.5km増を目標とした。R1(313.7km/40,052ha)→R7(328.7km/40,052ha)				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	7.96m/ha	8.02m/ha	8.08m/ha	8.14m/ha	8.21m/ha
実績値	8.18m/ha	8.32m/ha	8.44m/ha	7.89	8.03m/ha

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗 (令和7年度)	B:概ね計画どおり実施	進捗・達成率(%) (令和7年度)	97.8%
主な取組と実績 (令和7年度)	令和7年度は、4路線、延長2,569.8mの整備を実施。実績値は8.03m/haとなり、目標値には達しなかったが、路網整備は着実に進められている。		

◆計画期間(5カ年)での総括(自己分析)

計画期間での 達成率	97.8%	計画期間での 達成度評価	2:概ね達成
成 果	路網整備により森林施業地へのアクセス向上や木材搬出経路の確保が図られ、森林整備及び林業経営の効率化に向けた基盤整備が進んだ。		
課 題	林業に従事する人材不足や森林所有者等の負担軽減に対応するため、省力化や安定的な森林整備に資する路網整備が必要である。		
第3次総合計画 引継事項	森林整備計画等を基に、整備効果や優先度を整理し、効率的かつ森林整備の促進につながる路網整備を継続的に推進する。		
第3次総合計画 関連目標指標	No.5 路網延長(林道及び林業専用道等)【累計】		

(令和8年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO.	10	種別	総合戦略	担当部署	産業政策課商工政策係
基本戦略/基本理念	戦略1 産業振興による仕事づくり・稼ぐ地域づくり			施策	1-3 商業の振興
KPI(指標)	1 起業・創業者数【累計】				
KPI(指標)の考え方	起業・出店による地域の賑わいづくりや、若者世代の呼び込みによる活性化を図るため、毎年1事業者の増加を目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	6人	7人	8人	9人	10人
実績値	7人	7人	7人	7人	7人

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗 (令和7年度)	B: 概ね計画どおり実施	進捗・達成率(%) (令和7年度)	70.0%
主な取組と実績 (令和7年度)	新規創業者に対し県の補助金に上乗せする形で支援している。毎年、起業・創業を目指す方から市や商工会へ相談があるが、県事業の採択が少ないため市補助金の利用実績が少ない。		

◆計画期間(5カ年)での総括(自己分析)

計画期間での 達成率	70.0%	計画期間での 達成度評価	3: 一部達成
成 果	新規創業者に対し県の補助金に上乗せする形で支援している。毎年、起業・創業を目指す方から市や商工会へ相談があるが、県事業への申請が少ないため、市補助金の活用実績が伸びず目標を下回った。		
課 題	新規創業者へ商工会による創業塾の活用を進める等し、持続可能な起業ができるよう、関係機関とも協力してサポート体制を強化していく必要がある。		
第3次総合計画 引継事項	創業・起業支援は継続するとともに、行政において継続的かつ把握しやすい指標として「新規出店件数」を設定し、施策効果の検証につなげる。		
第3次総合計画 関連目標指標	No.9 新規出店件数(市街地賑わい再生支援事業)		

(令和8年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO.	11	種別	総合戦略	担当部署	産業政策課商工政策係
基本戦略/基本理念	戦略1 産業振興による仕事づくり・稼ぐ地域づくり			施策	1-3 商業の振興
KPI(指標)	2 新規出店者数(賑わい再生支援事業)【累計】				
KPI(指標)の考え方	空き店舗利活用支援(家賃補助等)により年間1件の増加を目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	4件	5件	6件	7件	8件
実績値	9件	19件	23件	25件	29件

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗 (令和7年度)	A: 目標を達成	進捗・達成率(%) (令和7年度)	362.5%
主な取組と実績 (令和7年度)	空き店舗等を利活用した起業、出店しやすい環境づくりを推進するため、令和7年度から空き店舗のリニューアルに係る経費の一部を補助する取組を始め、3件が活用した。		

◆計画期間(5カ年)での総括(自己分析)

計画期間での 達成率	362.5%	計画期間での 達成度評価	1: 達成
成 果	空き店舗等を利活用した起業、出店しやすい環境づくりを推進するため、家賃補助に加え、令和7年度からは空き店舗のリニューアルに係る経費の一部を補助する取組を始め、新たな出店の増加に結びついた。		
課 題	空き店舗の老朽化が激しい店舗が多いため、リニューアル等補助の補助限度額を増額してほしいとの要望がある。実情や効果、課題について把握に努め、		
第3次総合計画 引継事項	中心市街地のにぎわい創出に向け、空き店舗の活用や新規出店支援を継続し、商業機能の維持・活性化を推進する。		
第3次総合計画 関連目標指標	No.9 新規出店件数(市街地賑わい再生支援事業)		

(令和8年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO.	12	種別	総合戦略	担当部署	産業政策課産業戦略係
基本戦略/基本理念	戦略1 産業振興による仕事づくり・稼ぐ地域づくり			施策	1-3 商業の振興
KPI(指標)	3 魅力ある特産品推奨認定件数【累計】				
KPI(指標)の考え方	魅力ある特産品の創出に向けて、年間2件の増加を目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	98件	100件	102件	104件	106件
実績値	98件	98件	100件	104件	108件

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗 (令和7年度)	A: 目標を達成	進捗・達成率(%) (令和7年度)	101.9%
主な取組と実績 (令和7年度)	北秋田市の特産品の推奨認定を行うことで、特産品の需要拡大及び品質向上に取り組んでおり、昨年は2事業者から2商品の申請があった。引き続き新商品開発事業者や商工会を通じてPRを図っていく。		

◆計画期間(5カ年)での総括(自己分析)

計画期間での 達成率	101.9%	計画期間での 達成度評価	1: 達成
成 果	推奨認定特産品の冊子をリニューアルし、様々なイベントで配布し需要を生み出すなど、事業者に対し、推奨認定によるPR・情報発信の効果を作りながら年間の登録目標を順調に達成してきた。		
課 題	推奨認定マークについて、インバウンド向けの高単価商品や多様なパッケージと調和するようなデザインへリニューアルし、さらなる認定数増加を図り、地域産品のブランディング・PRを促進する。		
第3次総合計画 引継事項	新たな魅力の創出に向けた特産品の推奨認定や新商品開発支援を引き続き取り組んで行く。		
第3次総合計画 関連目標指標	No.11 新商品開発事業者数・首都圏等物産展出席事業者数		

(令和8年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO.	13	種別	総合戦略	担当部署	産業政策課産業戦略係
基本戦略/基本理念	戦略1 産業振興による仕事づくり・稼ぐ地域づくり			施策	1-3 商業の振興
KPI(指標)	4 アンテナショップの取扱い商品数				
KPI(指標)の考え方	北秋田市のイメージPR、情報発信力のある商品づくり支援及び販路拡大への取組推進を目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	160 商品	160 商品	160 商品	160 商品	160 商品
実績値	111 商品	33 商品	0 商品	0 商品	0 商品

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗 (令和7年度)	E:その他	進捗・達成率(%) (令和7年度)	0.0%
主な取組と実績 (令和7年度)	国立市へのアンテナショップ開設について協議した結果、国立市の商品との重複や通年での出品確保の課題等から、開設しない方向となった。		

◆計画期間(5カ年)での総括(自己分析)

計画期間での 達成率	18.0%	計画期間での 達成度評価	4:未達
成 果	ハッピーロード大山商店街で開設していたが、駅前開発により撤退。その後、国立市の開設を検討、通年での出品確保等の課題もあり、アンテナショップ常設の必要性について見直すこととなった。		
課 題	常設のアンテナショップへの出品ではなく、地域事業者に対し首都圏での物産展への出店を支援することで、対面販売によるPRや商談機会の創出を図る。		
第3次総合計画 引継事項	6次産業化を促進する地域ブランド化及び付加価値を高めた農産物等の加工推進を支援し、都市型直売所「ファーマーズマーケット」で商談を目的とした販路開拓を強化していく。		
第3次総合計画 関連目標指標	No.11 新商品開発事業者数・首都圏等物産展出展事業者数		

(令和8年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO.	14	種別	総合戦略	担当部署	観光課森吉山推進室
基本戦略/基本理念	戦略1 産業振興による仕事づくり・稼ぐ地域づくり			施策	1-4 観光・レクリエーションの振興
KPI(指標)	1 森吉山県立自然公園入込数(延べ人数)				
KPI(指標)の考え方	阿仁スキー場のほかに、森吉山全体と県立自然公園の魅力発信に向けて、1.5%増加を目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	62,000人	62,000人	62,000人	62,000人	62,000人
実績値	56,690人	56,583人	50,696人	61,017人	58,248人

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗 (令和7年度)	B: 概ね計画どおり実施	進捗・達成率(%) (令和7年度)	93.9%
主な取組と実績 (令和7年度)	森吉山阿仁スキー場の入込数は、インバウンド需要の増加などにより56,162人(前年度55,505人)と前年を上回った。冬季シーズンの入込数は前年度をやや下回る42,983人(前年度43,721人)だったが、訪日外国人は台湾を中心に11,454人(前年度6,620人)と大幅に増加した。一方、グリーンシーズンについては、全国的なクマ被害の報道や小又峡遊歩道の土砂崩れによる利用制限などの影響もあり、登山や散策を控える傾向が見られたことから、利用者数が減少した。全体としては目標の9割を超える達成率を確保しており、概ね計画どおり推移したものと考えている。		

◆計画期間(5カ年)での総括(自己分析)

計画期間での達成率	91.4%	計画期間での達成度評価	2: 概ね達成
成果	冬季の利用については、インバウンド需要が大幅に増加した。全体としては、クマ被害報道等の影響はあったものの、森吉山全体の入込数は目標の9割を超え、概ね計画どおり推移した。		
課題	国定公園指定を見据え、引き続き登山道等の利用環境整備や受入環境の充実、四季を通じた観光コンテンツの磨き上げ及び国内外への情報発信の強化が必要である。		
第3次総合計画 引継事項	国定公園指定を契機に、森吉山の自然やマタギ文化を活かした誘客促進、受入環境の充実、情報発信の強化により交流人口の拡大を図る。		
第3次総合計画 関連目標指標	No.12 森吉山県立自然公園入込数(延べ人数)		

(令和8年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO.	15	種別	総合戦略	担当部署	観光課観光振興係
基本戦略/基本理念	戦略1 産業振興による仕事づくり・稼ぐ地域づくり			施策	1-4 観光・レクリエーションの振興
KPI(指標)	2 歴史文化施設・祭り入込数(延べ人数)				
KPI(指標)の考え方	市ならではの歴史文化・祭り等を市内外の方の見学・体験につなげるよう、7.9%増加を目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	40,800人	40,800人	40,800人	40,800人	40,800人
実績値	30,824人	40,604人	36,759人	43,047人	41,471人

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗 (令和7年度)	A: 目標を達成	進捗・達成率(%) (令和7年度)	101.6%
主な取組と実績 (令和7年度)	クマ出沒による臨時休館等の影響により、伊勢堂岱遺跡の入込客数が大幅に減少したが、大太鼓の館や伝承館・異人館、マタギ資料館等の入込が増加したことで、指標の実績値は前年度より減少したものの、目標は達成された。		

◆計画期間(5カ年)での総括(自己分析)

計画期間での達成率	94.5%	計画期間での達成度評価	2: 概ね達成
成果	伊勢堂岱遺跡については、利用者の満足度向上に向けてジュニアボランティアガイドの育成を強化した。また、大太鼓の館では入館料一部無償化等により誘客を促進した。		
課題	展示施設での見せ方の工夫や、体験型コンテンツとの組み合わせによる誘客、ガイド育成などが課題である。		
第3次総合計画 引継事項	まちづくり観光協会の観光ポータルサイトによる観光情報の一元化や情報発信の強化に取り組むほか、地域ならではの歴史・文化・自然資源等の地域資源を活かした観光コンテンツを造成し、誘客促進に取り組む。		
第3次総合計画 関連目標指標	No.13 市内イベント及び文化施設観光入込客数		

(令和8年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO.	16	種別	総合戦略	担当部署	観光課観光振興係
基本戦略/基本理念	戦略1 産業振興による仕事づくり・稼ぐ地域づくり			施策	1-4 観光・レクリエーションの振興
KPI(指標)	3 北秋田市宿泊施設売上推計額(推定単価×宿泊者数)				
KPI(指標)の考え方	限られた宿泊許容量の中で滞留促進とサービス向上につなげるよう、1.3%の増加を目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	465 百万円	465 百万円	465 百万円	465 百万円	465 百万円
実績値	387 百万円	409 百万円	405 百万円	354 百万円	335 百万円

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗 (令和7年度)	C: 取組に努力を要する	進捗・達成率(%) (令和7年度)	72.0%
主な取組と実績 (令和7年度)	夏季及び冬季の市内宿泊施設への宿泊者に対し、市内で使用できる地域限定クーポンを配布する「おもてなし宿泊支援事業」に取り組んだものの、クマ出沒や自然災害の影響もあり、観光客及び宿泊客数が前年度より減少となり、達成率も前年度を下回った。		

◆計画期間(5カ年)での総括(自己分析)

計画期間での達成率	81.3%	計画期間での達成度評価	2: 概ね達成
成果	クマの出沒や自然災害に加え、複数の宿泊施設の休業・廃業による影響があったものの、観光需要喚起のため実施した市内宿泊者に対する地域限定クーポン配布の効果もあり、目標は概ね達成された。		
課題	宿泊施設の老朽化や経営者の高齢化・後継者不足により、宿泊施設の減少が課題となっている。		
第3次総合計画引継事項	北秋田市特有の自然、文化、食の強みを活かしたプランの提供やインバウンド客への対応を強化するとともに、周遊モデルルート開発や二次交通アクセスの利便性向上を図り、市内での滞在型観光を促進する。		
第3次総合計画関連目標指標	なし		

(令和8年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO.	17	種別	総合戦略	担当部署	観光課観光振興係
基本戦略/基本理念	戦略1 産業振興による仕事づくり・稼ぐ地域づくり			施策	1-4 観光・レクリエーションの振興
KPI (指標)	4 訪日外国人宿泊客数 (延べ宿泊者数)				
KPI (指標) の考え方	広域連携によるインバウンド等の誘客と滞在型観光により、219.9%の増加を目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	3,100 人	3,100 人	3,100 人	3,100 人	3,100 人
実績値	10 人	359 人	971 人	1,471 人	1,358 人

◆担当部署による検証 (自己分析)

取組の進捗 (令和7年度)	C : 取組に努力を要する	進捗・達成率 (%) (令和7年度)	43.8%
主な取組と実績 (令和7年度)	市単独で台湾トップセールスを実施し、旅行会社等の企業訪問を実施したほか、秋田内陸線と連携し、台北で台湾現地旅行会社の商品造成担当者向けに観光セミナーを開催した。インバウンド観光客は前年度より増加したが、宿泊客数は減少した。		

◆計画期間 (5カ年) での総括 (自己分析)

計画期間での 達成率	26.9%	計画期間での 達成度評価	4 : 未達
成 果	冬季を中心にインバウンド観光客の宿泊客数は大幅に増加したものの、年間を通じた誘客促進には至らなかった。		
課 題	グリーンシーズンのインバウンド誘客拡大に向けた海外への情報発信の強化や、宿泊施設の受入態勢強化が課題となっている。		
第3次総合計画 引継事項	海外へ向け、SNS活用による観光情報の発信強化や現地でのトップセールス等により、インバウンド観光客の誘客促進を図る。		
第3次総合計画 関連目標指標	なし		

(令和8年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO.	18	種別	総合戦略	担当部署	観光課観光振興係
基本戦略/基本理念	戦略1 産業振興による仕事づくり・稼ぐ地域づくり			施策	1-4 観光・レクリエーションの振興
KPI(指標)	5 道の駅等売上推計額(推定単価×利用者数)				
KPI(指標)の考え方	交流人口と消費動向を推計する指標(3.5%増加:405,000人×@720)とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	292百万円	292百万円	292百万円	292百万円	292百万円
実績値	141百万円	247百万円	233百万円	255百万円	276百万円

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗 (令和7年度)	B:概ね計画どおり実施	進捗・達成率(%) (令和7年度)	94.5%
主な取組と実績 (令和7年度)	自然災害の影響により、前年度と比較して道の駅全体の観光客数は減少したものの、インバウンド観光客の増加等を背景に売上高は順調に推移し、その結果、コロナ禍以降で最も高い達成率を記録した。		

◆計画期間(5カ年)での総括(自己分析)

計画期間での達成率	78.9%	計画期間での達成度評価	3:一部達成
成果	各道の駅の観光入込客数は、物価高騰や自然災害等の影響はあったが、コロナ前までの水準に戻りつつあり、目標には届かなかったものの、売上額も順調な伸びを示した。		
課題	地域の観光情報発信拠点としての機能のほか、道の駅自体が目的地となるよう、集客及び売上げアップに向けた商品開発や滞在時間の延長に繋がる施設整備が必要となっている。		
第3次総合計画 引継事項	道の駅たかのすにアウトドア拠点機能や子育て応援機能を追加するなど集客力の向上を図るとともに、他の道の駅とも連携して、観光情報の発信やエコツーリズムの推進に取り組む。		
第3次総合計画 関連目標指標	なし		

(令和8年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO.	19	種別	総合戦略	担当部署	産業政策課商工政策係
基本戦略/基本理念	戦略1 産業振興による仕事づくり・稼ぐ地域づくり			施策	1-5 工業の振興
KPI(指標)	2 資格取得支援助成金活用による資格取得者数				
KPI(指標)の考え方	求職者の就業支援及び事業所における雇用の安定を以って市内への定住を促進することを目標とした。(年1人の増加として現状を維持)				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	48人	49人	50人	51人	52人
実績値	48人	52人	54人	65人	70人

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗 (令和7年度)	A: 目標を達成	進捗・達成率(%) (令和7年度)	134.6%
主な取組と実績 (令和7年度)	制度の周知に努めてきたことから幅広い企業及び求職者から利用されている。企業の申請上限を人数要件から金額要件に変更や年齢制限の引き上げなど制度の見直しを行っている。		

◆計画期間(5カ年)での総括(自己分析)

計画期間での 達成率	115.6%	計画期間での 達成度評価	1: 達成
成 果	制度の周知に努めてきたことから幅広い企業及び求職者から利用されており、従業員や求職者のスキルアップにより企業の経営安定化を図れた。		
課 題	引き続き社会情勢やニーズに応じて制度内容の検討、改善を図りながら事業を継続していく。		
第3次総合計画 引継事項	就業機会の拡大や人材育成を図るため、資格取得支援を継続し、地域産業を支える人材の確保・育成を推進する。		
第3次総合計画 関連目標指標	No.19 資格取得支援助成金件数		

(令和8年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO.	20	種別	総合戦略	担当部署	産業政策課産業戦略係
基本戦略/基本理念	戦略1 産業振興による仕事づくり・稼ぐ地域づくり			施策	1-5 工業の振興
KPI(指標)	3 増設事業所数【平成28年度以降の累計】				
KPI(指標)の考え方	市内工場等への設備投資について、前期では年1件としたが2年間で1件を目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	5件	5件	6件	6件	7件
実績値	7件	8件	10件	11件	14件

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗 (令和7年度)	A: 目標を達成	進捗・達成率(%) (令和7年度)	200.0%
主な取組と実績 (令和7年度)	毎年、定期的な企業訪問による情報収集や首都圏企業懇談会など意見交換の場を作り、増設と設備投資を促すため各助成事業等の紹介を行ったことで増設案件が3件となるなど目標は達成している。		

◆計画期間(5カ年)での総括(自己分析)

計画期間での達成率	200.0%	計画期間での達成度評価	1: 達成
成果	企業訪問や首都圏企業懇談会による継続的な情報収集と助成制度の周知により、設備投資を促進した。コロナ禍からの受注回復や内製化への転換、作業工程の集約に向けた投資が進み目標を大きく上回ることができた。		
課題	慢性的な人手不足、社員の高齢化、属人化に対し省力化・自動化設備の導入により継続した事業運営で雇用を守る必要があると考える。引き続き事業者と意見交換しながら必要な支援制度について情報収集していく。		
第3次総合計画 引継事項	企業活動の維持及び活性化に向け、生産効率を高める支援や事業拡大への支援を引き続き実施していく。		
第3次総合計画 関連目標指標	No.17 市内企業等の投資件数		

(令和8年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO.	21	種別	総合戦略	担当部署	産業政策課産業戦略係
基本戦略/基本理念	戦略1 産業振興による仕事づくり・稼ぐ地域づくり			施策	1-5 工業の振興
KPI(指標)	4 新規進出事業所数【累計】				
KPI(指標)の考え方	前期計画における実績が3事業所であったことを踏まえ、同程度の増加を目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	4事業所	4事業所	5事業所	5事業所	6事業所
実績値	4事業所	5事業所	5事業所	7事業所	8事業所

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗 (令和7年度)	A: 目標を達成	進捗・達成率(%) (令和7年度)	133.3%
主な取組と実績 (令和7年度)	新規進出事業者案件は東京事務所派遣職員と連携を密にし、当市の事業環境を知ってもらうための現地視察や市長によるトップセールスを行うなどを行った結果、目標を達成している。		

◆計画期間(5カ年)での総括(自己分析)

計画期間での 達成率	133.3%	計画期間での 達成度評価	1: 達成
成 果	誘致折衝を積み重ねてきた企業のや実証事業などの誘致によりサテライトオフィスの開設意欲の高まりなど着実に成果が見られた。		
課 題	若者流出と少子高齢化により、労働集約型産業の進出は困難である。また、食品加工会社がなく市内で連携した6次産業化も進まない状況にある。		
第3次総合計画 引継事項	IT分野を始めとした情報関連産業は国内での成長が期待され、若者の県内定着で有用な企業となります。そのため、サテライトオフィスの設置、二地域居住など若い世代の定着に向けた企業誘致に取り組んでいく。		
第3次総合計画 関連目標指標	No.16 北秋田視察企業数		

(令和8年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO.	22	種別	総合戦略	担当部署	産業政策課移住定住支援室
基本戦略/基本理念	戦略2 新たな人の流れをつくる移住・定住の促進			施策	数値目標
KPI (指標)	I 行政が窓口となった年間移住者数【平成27年度以降の累計】				
KPI (指標) の考え方	年間40世帯50人を目標値として設定した				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	203世帯260人	243世帯310人	283世帯360人	323世帯410人	363世帯460人
実績値	212世帯296人	261世帯365人	305世帯434人	351世帯509人	379世帯557人

◆担当部署による検証（自己分析）

取組の進捗 (令和7年度)	A：目標を達成	進捗・達成率 (%) (令和7年度)	121.1%
主な取組と実績 (令和7年度)	首都圏移住フェアへの出展、移住体験やSNS等を通じて北秋田市の魅力発信を行った。また、移住コーディネーターによる移住希望者への相談や移住体験アテンドなど寄り添った対応を行った。		

◆計画期間（5カ年）での総括（自己分析）

計画期間での 達成率	121.1%	計画期間での 達成度評価	1：達成
成 果	首都圏での移住フェアなどで北秋田市の認知度向上に努めたほか、移住希望者が北秋田市を訪れる移住体験を行うことで、ミスマッチの少ない移住につなげることができた。		
課 題	潜在層の掘り起こしや二地域居住につながるなど関係人口創出のためにも定期的に移住フェアに出展していく。また、ふるさと住民登録制度を活用しながら関係人口及び移住施策の検討が必要となっていく。		
第3次総合計画 引継事項	移住定住施策を継続し、利用者ニーズの把握に努めながら、都度事業内容の見直しを図っていく。		
第3次総合計画 関連目標指標	No. 99 移住相談者数		

(令和8年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO.	23	種別	総合戦略	担当部署	産業政策課移住定住支援室
基本戦略/基本理念	戦略2 新たな人の流れをつくる移住・定住の促進			施策	2-1 移住定住の促進
KPI (指標)	2 移住定住相談者数【累計】				
KPI (指標) の考え方	年間 150 人を目標値として設定した				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	657 人	807 人	957 人	1,107 人	1,257 人
実績値	584 人	710 人	818 人	951 人	1,146 人

◆担当部署による検証（自己分析）

取組の進捗 (令和7年度)	B：概ね計画どおり実施	進捗・達成率 (%) (令和7年度)	91.2%
主な取組と実績 (令和7年度)	ホームページやSNS、情報誌などを活用した移住支援制度のPR、移住フェア等でのきたあきた暮らしの情報発信、移住コーディネーターによる移住者目線での相談を行った。		

◆計画期間（5カ年）での総括（自己分析）

計画期間での達成率	91.2%	計画期間での達成度評価	2：概ね達成
成 果	移住希望者に寄り添った丁寧な対応を心がけたほか、移住支援制度の紹介や移住体験を案内し市の魅力発信を行うことができた。		
課 題	様々な広告媒体の特性を生かし各年齢層に届くPR方法を検討、本市の魅力や各種移住支援制度について効果的に周知していく。		
第3次総合計画 引継事項	移住相談者との接点を持ち続けていれるようオンラインでの相談や首都圏での移住フェアへの参加などを引き続き実施していく。		
第3次総合計画 関連目標指標	No. 99 移住相談者数		

(令和8年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO.	24	種別	総合戦略	担当部署	産業政策課移住定住支援室
基本戦略/基本理念	戦略2 新たな人の流れをつくる移住・定住の促進			施策	2-1 移住定住の促進
KPI (指標)	3 体験移住参加者数【累計】(ツアー参加者、オンラインツアー参加者含む)				
KPI (指標) の考え方	年間60人を目標値として設定した				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	286人	346人	406人	466人	526人
実績値	367人	440人	485人	515人	535人

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗 (令和7年度)	A: 目標を達成	進捗・達成率(%) (令和7年度)	101.7%
主な取組と実績 (令和7年度)	移住コーディネーターによるきめ細やかな移住体験の企画やアテンドのほか、マタギをテーマにした移住イベントを募集・開催した。また、移住体験者には、北秋田市での生活を体験してもらい移住への後押しとなるよう寄り添った対応を心がけた。		

◆計画期間(5カ年)での総括(自己分析)

計画期間での 達成率	101.7%	計画期間での 達成度評価	1: 達成
成 果	北秋田市に興味がある移住体験希望者のニーズに沿った案内を行ったほか、マタギをテーマにしたイベント等を開催することで北秋田市を訪れた移住体験者の満足度は高かった。		
課 題	限られた移住体験の期間の中で、北秋田市での暮らしを体験し移住後の生活が実現可能か相談にのりながら対応しているが、移住の決断には時間を要するため、定期的に連絡していく必要がある。		
第3次総合計画 引継事項	移住者のミスマッチを減らすため移住体験への参加を促し、北秋田市を知ってもらったうえで移住できるよう相談・対応に努めていく。		
第3次総合計画 関連目標指標	No. 99 移住相談者数		

(令和8年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO.	25	種別	総合戦略	担当部署	産業政策課移住定住支援室
基本戦略/基本理念	戦略2 新たな人の流れをつくる移住・定住の促進			施策	2-1 移住定住の促進
KPI (指標)	4 移住定住情報提供者登録者数【累計】				
KPI (指標) の考え方	年間 50 人を目標値として設定した				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	223 人	273 人	323 人	373 人	423 人
実績値	255 人	339 人	401 人	468 人	541 人

◆担当部署による検証（自己分析）

取組の進捗 (令和7年度)	A：目標を達成	進捗・達成率 (%) (令和7年度)	127.9%
主な取組と実績 (令和7年度)	市ホームページやSNS等を活用した移住施策の周知及びターゲット層に届く効果的な広告を検討しながら、北秋田市の認知度向上及び移住希望登録者の増加に努めた。		

◆計画期間（5カ年）での総括（自己分析）

計画期間での 達成率	127.9%	計画期間での 達成度評価	1：達成
成 果	北秋田市での生活や魅力を SNS 等に投稿することで、北秋田市の認知度向上及び情報発信を行い、移住希望登録につなげることができた。		
課 題	移住フェアへの定期的な出展や SNS 等を活用した効果的な PR を検討するほか、秋田県やアキタコアベースと情報共有しながら、移住希望登録者の相談に対応していく必要がある。		
第3次総合計画 引継事項	移住フェアでの相談や問い合わせなど移住希望者に寄り添った対応を行っていくほか、相談後は引き続き接点を持てるよう対応していく。		
第3次総合計画 関連目標指標	No. 99 移住相談者数		

(令和8年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO.	26	種別	総合戦略	担当部署	総合政策課政策係
基本戦略/基本理念	戦略2 新たな人の流れをつくる移住・定住の促進			施策	2-2 地域間交流の推進
KPI (指標)	1 友好交流都市との交流事業数【累計】				
KPI (指標) の考え方	友好交流都市との取組を令和7年度までに10事業取り組むことを目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	11事業	13事業	15事業	17事業	19事業
実績値	21事業	24事業	25事業	27事業	27事業

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗 (令和7年度)	A: 目標を達成	進捗・達成率 (%) (令和7年度)	142.1%
主な取組と実績 (令和7年度)	令和7年度は新規事業の実施がなく、継続事業の総数も前年度より減少した。しかし、令和30年10月に協定締結以降、交流事業は20事業を超え、単年度事業は一定数実施されている。これまで実績のなかった部署でも新たな取組を模索するなど、全庁的な広がりを見せている。		

◆計画期間(5カ年)での総括(自己分析)

計画期間での 達成率	142.1%	計画期間での 達成度評価	1: 達成
成 果	平成30年度の友好交流都市協定以降、関係人口拡大と地域活性化に向け交流を重ねてきた。当初の行政主導から、現在は民間主導の交流や農林分野(クマ対策)でのドローン実証など多方面に広がっている。		
課 題	これまでの交流で関係人口が拡大しているため、既存事業は改善を図りつつ継続する。さらに、民間事業者や個人レベルの交流へと広がり、新たな事業展開も見られることから、市としてのサポートも必要と考える。		
第3次総合計画 引継事項	教育・文化・スポーツ・産業等を通じた交流の継続と個人や団体・民間事業者同士の交流を促進する。事業数増に努めながら、クマ対策やドローン事業等時代のトレンドを意識した魅力的な事業内容を検討する。		
第3次総合計画 関連目標指標	No.85 友好交流都市との交流事業数		

(令和8年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO.	27	種別	総合戦略	担当部署	こども課こども応援係
基本戦略/基本理念	戦略3 結婚・出産・子育てをかなえる切れ目のない支援の推進			施策	数値目標
KPI(指標)	I 出生数【単年】				
KPI(指標)の考え方	現状維持を目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	93人	93人	93人	93人	93人
実績値	89人	84人	71人	75人	75人

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗 (令和7年度)	B: 概ね計画どおり実施	進捗・達成率(%) (令和7年度)	80.6%
主な取組と実績 (令和7年度)	「きたあきた出産まるっと応援事業」による産前・産後の経済的・身体的支援、「ハッピーアニバーサリー事業」による育児用品の贈呈、市と秋田県の協働による結婚支援事業の実施、出会い創出イベントの開催、「結婚生活応援事業」及び「ハッピーウェディング住まい応援事業」による結婚支援の実施		

◆計画期間(5カ年)での総括(自己分析)

計画期間での達成率	84.7%	計画期間での達成度評価	2: 概ね達成
成果	妊娠、子育て等の当事者に対する各種支援事業の漏れのない周知に努めたことで、出産・子育て支援制度の認知が進み、安心して出産できる環境との認識が広がり、出生数の維持に寄与したものと推察する。		
課題	少子化、若年層の市外流出が続いていることから、仕事と子育ての両立支援体制の強化や経済的支援の充実が課題である。		
第3次総合計画 引継事項	このKPIは評価しづらいため評価指標としない。		
第3次総合計画 関連目標指標	なし		

(令和8年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO.	28	種別	総合戦略	担当部署	産業政策課移住定住支援室
基本戦略/基本理念	戦略3 結婚・出産・子育てをかなえる切れ目のない支援の推進			施策	数値目標
KPI(指標)	II 婚姻数【単年】				
KPI(指標)の考え方	現状維持を目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	89組	89組	89組	89組	89組
実績値	57組	55組	42組	54組	49組

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗 (令和7年度)	C: 取組に努力を要する	進捗・達成率(%) (令和7年度)	55.1%
主な取組と実績 (令和7年度)	NPO法人出会いの杜プロジェクトに結婚を希望する独身男女のお見合い事業やマッチングサポートを委託し、出会いの機会を創出したほか、あきた結婚支援センターへの入会登録料助成制度、結婚生活応援事業及びハッピーウェディング住まい応援事業を行った。		

◆計画期間(5カ年)での総括(自己分析)

計画期間での 達成率	57.8%	計画期間での 達成度評価	3: 一部達成
成 果	独身男女が気軽に参加できる交流イベントを企画し、出会いの機会を創出したほか、NPO法人や県事業と連携し結婚支援事業を行うことができた。		
課 題	若者人口が減少していることで、地域内での出会いの機会も少なくなっており、秋田県事業との連携及び結婚コーディネーターや結婚サポーターとともに結婚希望者に寄り添った支援を行っていく必要がある。		
第3次総合計画 引継事項	若者人口の減少が婚姻数の減少にも影響しており、出会いを求める方々に出会いの機会創出や結婚支援施策の周知を行っていく。		
第3次総合計画 関連目標指標	No. 27 結婚支援事業申請者数(結婚支援センター登録・結婚祝金等申請者数)		

(令和8年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO.	29	種別	総合戦略	担当部署	こども課母子保健係
基本戦略/基本理念	戦略3 結婚・出産・子育てをかなえる切れ目のない支援の推進			施策	3-1 安心して結婚・出産・子育てできる環境の充実
KPI(指標)	2 出生数に占める低出生体重児の割合				
KPI(指標)の考え方	低体重児(2,500g未満)、出生数に対する率について、県と市で年により変動があるため、5年間の平均値を目標値とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	7.0%	7.0%	7.0%	7.0%	7.0%
実績値	9.0%	6.0%	11.3%	8.3%	6.7%

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗 (令和7年度)	A: 目標を達成	進捗・達成率(%) (令和7年度)	104.5%
主な取組と実績 (令和7年度)	妊婦健康診査の充実と医療機関への受診勧奨、妊婦への栄養指導・生活指導の実施、ハイリスク妊婦への個別支援の強化、近隣の分娩協力医療機関との連携強化による周産期医療体制の確保、全戸訪問による妊産婦への相談支援		

◆計画期間(5カ年)での総括(自己分析)

計画期間での 達成率	84.7%	計画期間での 達成度評価	2: 概ね達成
成 果	妊娠期からの健康支援により、妊婦の健康管理意識が向上した。医療機関との連携により、ハイリスク妊婦への対応が迅速化し、周産期医療体制が充実した。全戸訪問による相談支援により、妊産婦の不安軽減に貢献した。		
課 題	低出生体重の割合は変動が大きい。市内に分娩可能な医療機関がなく、市外での出産を余儀なくされており、妊婦の負担が大きい。妊婦の生活習慣改善や栄養管理に向けた、より効果的な啓発方法の工夫が必要。		
第3次総合計画 引継事項	このKPIは評価しづらいため評価指標としない。		
第3次総合計画 関連目標指標	なし		

(令和8年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO.	30	種別	総合戦略	担当部署	こども課母子保健係
基本戦略/基本理念	戦略3 結婚・出産・子育てをかなえる切れ目のない支援の推進			施策	3-1 安心して結婚・出産・子育てできる環境の充実
KPI(指標)	3 子育て中の母の気持ちや体調が良い割合				
KPI(指標)の考え方	乳幼児健診アンケートにおいて、現状よりもおよそ10.0%の向上を目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	82.0%	82.0%	82.0%	82.0%	82.0%
実績値	77.1%	76.2%	74.5%	78.8%	75.3%

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗 (令和7年度)	B: 概ね計画どおり実施	進捗・達成率(%) (令和7年度)	91.8%
主な取組と実績 (令和7年度)	乳幼児健診時のメンタルヘルスチェック及び産後うつスクリーニング検査の実施、産後ケア事業の推進、母親の心身の健康相談窓口の充実、子育て交流事業(おいDAY等)の実施、こども家庭センターにおける母子保健と児童福祉の連携による包括的な相談支援		

◆計画期間(5カ年)での総括(自己分析)

計画期間での達成率	93.1%	計画期間での達成度評価	2: 概ね達成
成果	産後うつ病の早期発見・早期対応が進み、母親の心身の健康が改善。子育て交流事業(おいDAY)を通じた親同士のネットワーク形成交流により、育児不安の軽減と孤立防止に効果があった。		
課題	共働き家庭の増加に伴い、育児と仕事の両立ストレスが増加。より多くの母親にアクセスしやすい相談体制の構築、オンライン活用した相談支援の充実が必要である。父親や家族全体への育児支援の充実も課題。		
第3次総合計画 引継事項	産後メンタルヘルス対策の継続・強化、産後ケア事業の充実、母親の交流・相談体制の充実、こども家庭センターにおける切れ目ない相談支援の実施、父親を含めた家族支援の展開		
第3次総合計画 関連目標指標	No. 28 子育て中の母の気持ちや体調がよい割合		

(令和8年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO.	31	種別	総合戦略	担当部署	こども課子育て相談係
基本戦略/基本理念	戦略3 結婚・出産・子育てをかなえる切れ目のない支援の推進			施策	3-1 安心して結婚・出産・子育てできる環境の充実
KPI(指標)	4 子育てに関して気軽に相談できる人がいる保護者の割合				
KPI(指標)の考え方	子育てに関して気軽に相談できる人を増やすことを目標とした。(※市民意識調査)				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	65.0%	65.0%	65.0%	65.0%	65.0%
実績値	64.2%	67.7%	75.7%	69.4%	60.3%

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗 (令和7年度)	B: 概ね計画どおり実施	進捗・達成率(%) (令和7年度)	92.8%
主な取組と実績 (令和7年度)	・こども家庭センター設置・地域子育て相談機関を中学校区ごとに4箇所設置・地域子育て支援センター実施箇所数の増(4箇所→5箇所)・市公式SNSを活用した各相談窓口の周知		

◆計画期間(5カ年)での総括(自己分析)

計画期間での達成率	103.8%	計画期間での達成度評価	1: 達成
成果	妊産婦から子育て家庭までの、切れ目のない相談支援体制が構築されたほか、身近な場所での相談支援の充実により、子育て家庭等が気軽に相談できる環境が整備された。		
課題	既存の相談窓口の認知度向上を図り、より利用しやすい相談体制の整備が課題。		
第3次総合計画 引継事項	こども家庭センターを中心とした関係機関との連携強化、相談しやすい環境の整備及び既存の相談窓口の周知強化。		
第3次総合計画 関連目標指標	No. 30 子育てに関して気軽に相談できる人がいる保護者の割合		

(令和8年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO.	32	種別	総合戦略	担当部署	こども課こども応援係
基本戦略/基本理念	戦略3 結婚・出産・子育てをかなえる切れ目のない支援の推進			施策	3-1 安心して結婚・出産・子育てできる環境の充実
KPI(指標)	5 子育てしやすいまちだと答えた市民の割合				
KPI(指標)の考え方	子育てしやすい環境を整備することで、子育てしやすいまちだと感じる人を増やすことを目標とした。(※市民意識調査)				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	75.0%	75.0%	75.0%	75.0%	75.0%
実績値	66.7%	65.6%	70.3%	65.2%	70.5%

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗 (令和7年度)	B: 概ね計画どおり実施	進捗・達成率(%) (令和7年度)	94.0%
主な取組と実績 (令和7年度)	子育てクーポンの全未就学児への対象拡大、幼保小連携の推進、電子申請の拡充等による支援充実と利便性向上		

◆計画期間(5カ年)での総括(自己分析)

計画期間での 達成率	90.2%	計画期間での 達成度評価	2: 概ね達成
成 果	目標には届かなかったものの指標値は年次上昇していることから、経済的支援や切れ目のない相談支援、電子申請の拡充等の多面的な取組が子育て当事者に評価されたものと推察する。		
課 題	「子育てしやすいまち」と答えた人の割合は地域により差があり、サービスの認知や利用環境に格差がある可能性がある。地域の実情に応じた環境整備が必要である。		
第3次総合計画 引継事項	目標達成のためには、地域の実情やサービス認知度などを子育て当事者に限らず広く市民の視点で把握し、地域ぐるみで子育てを支える機運を醸成する必要がある。		
第3次総合計画 関連目標指標	No. 29 子育てしやすいまちだと答えた市民の割合		

(令和8年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO.	33	種別	総合戦略	担当部署	生活環境課くらしの安全係
基本戦略/基本理念	戦略3 結婚・出産・子育てをかなえる切れ目のない支援の推進			施策	3-2 男女共同参画社会の実現
KPI(指標)	1 市の審議会、委員会等の女性参画率				
KPI(指標)の考え方	将来的に女性委員が各定数の半数となることを目標に、期間中に3.0%の増加を目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	27.0%	27.5%	28.0%	28.5%	28.7%
実績値	27.2%	32.1%	29.4%	30.7%	30.6%

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗 (令和7年度)	A: 目標を達成	進捗・達成率(%) (令和7年度)	106.6%
主な取組と実績 (令和7年度)	第4次市男女共同参画計画を策定し、各部署にて情報共有を図っている。		

◆計画期間(5カ年)での総括(自己分析)

計画期間での 達成率	107.4%	計画期間での 達成度評価	1: 達成
成 果	市男女共同参画計画の周知や情報共有等が図られたことにより、意識の高揚及び参画率の向上につなげることができた。		
課 題	女性参画率は徐々に向上しつつあるが、国で定める目標(40%)達成にはまだ遠い状況。		
第3次総合計画 引継事項	各部局との情報共有、連携を図り、共通認識のもとで取り組みを推進する。		
第3次総合計画 関連目標指標	No. 95 市の審議会、委員会等の女性参画率		

(令和8年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO.	34	種別	総合戦略	担当部署	総務課総務係
基本戦略/基本理念	戦略3 結婚・出産・子育てをかなえる切れ目のない支援の推進			施策	3-2 男女共同参画社会の実現
KPI(指標)	2 市役所における女性管理職員の割合(各年度4月1日現在)				
KPI(指標)の考え方	第3次行財政改革大綱実行プラン及び現在の職員構成状況を鑑み、主幹級以上の職員を管理職として目標値を定めた				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	30.0%	30.0%	30.0%	30.0%	30.0%
実績値	21.3%	19.4%	18.5%	22.1%	23.7%

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗 (令和7年度)	B: 概ね計画どおり実施	進捗・達成率(%) (令和7年度)	79.0%
主な取組と実績 (令和7年度)	R7年4月1日時点での女性幹部職員は課長職級以上で7人(14.6%)、係長職級で20人(30.3%)となっている。(R6年度:課長職級以上7人、14.9%)、係長職級18人、27.3%)		

◆計画期間(5カ年)での総括(自己分析)

計画期間での 達成率	70.0%	計画期間での 達成度評価	3: 一部達成
成 果	年度により、管理職への昇格者数が異なることから、単年度で改善することは困難であるが、R4年度から割合が高まってきている。(R4:19.4%、R5:18.5%、R6:22.1%、R7:23.7%)		
課 題	組織としてアンコンシャス・バイアス(無意識の偏見)の解消を図るとともに若手職員のうちから管理職を見据えたキャリア形成を支援し、研修や登用パス(道筋)を明確にすることが求められる。		
第3次総合計画 引継事項	年度により、管理職への昇格者数が異なることから、単なる目標値の達成を目指すのではなく、適切な制度設計により計画的に女性管理職の登用を図っていく。		
第3次総合計画 関連目標指標	No.97 市役所による女性管理職の割合(各年度4月1日現在※消防本部除く)		

(令和8年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO.	35	種別	総合戦略	担当部署	生活環境課くらしの安全係
基本戦略/基本理念	戦略3 結婚・出産・子育てをかなえる切れ目のない支援の推進			施策	3-2 男女共同参画社会の実現
KPI(指標)	3 男性の家事・介護・看護・育児にかかる時間数の割合				
KPI(指標)の考え方	男性の育児等にかかる時間数の増加を目標とした。当面は総務省社会生活基本調査の秋田県実績より算定するが、市民意識調査の調査項目として追加し、市の数値を把握することとする				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	30.0%	30.0%	30.0%	30.0%	30.0%
実績値	24.6%	21.9%	28.9%	27.1%	33.2%

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗 (令和7年度)	A: 目標を達成	進捗・達成率(%) (令和7年度)	110.7%
主な取組と実績 (令和7年度)	市内の200事業所に対し男女共同参画に関するアンケート調査を実施した。また、第4次北秋田市男女共同参画計画を策定し、周知・啓発を図った。		

◆計画期間(5カ年)での総括(自己分析)

計画期間での達成率	90.5%	計画期間での達成度評価	2: 概ね達成
成果	男女共同参画の取組に関する市内事業者へのアンケート調査や、市民向けの基礎講座等の開催により、少しずつではあるが時間数の割合が増加してきている。		
課題	講座等を開催しても、若い父親の参加が少ないのが課題。		
第3次総合計画引継事項	男女共同参画制度の周知に努め、フレックスタイム制やテレワーク等の導入促進を図る。		
第3次総合計画関連目標指標	No. 96 男性の家事・介護・看護・育児にかかる時間数の割合		

(令和8年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO.	36	種別	総合戦略	担当部署	総務課総務係
基本戦略/基本理念	戦略3 結婚・出産・子育てをかなえる切れ目のない支援の推進			施策	3-2 男女共同参画社会の実現
KPI(指標)	4 市役所における男性職員の育児等に伴う休暇の取得割合(取得職員/対象職員)				
KPI(指標)の考え方	男性職員の育児に伴う休暇制度の周知を図り、対象となる男性職員が育児に伴う休暇を取得しやすい職場環境を目指すこととして目標値を定めた				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
実績値	50.0%	50.0%	66.7%	52.0%	50.0%

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗 (令和7年度)	C: 取組に努力を要する	進捗・達成率(%) (令和7年度)	50.0%
主な取組と実績 (令和7年度)	取得割合は、一般行政職対象職員が63.6%、消防職員については36.4%であった。R7年度の男性職員の育児に伴う休暇取得可能対象者(配偶者出産休暇・男性育児参加休暇)は、22名であり、昨年度よりも3人減少しているが消防職員の取得割合は0.7%UP(昨年度35.7%)している。		

◆計画期間(5カ年)での総括(自己分析)

計画期間での達成率	53.7%	計画期間での達成度評価	3: 一部達成
成果	配偶者出産休暇は2日、男性育児参加休暇は5日の範囲内となっており、時間単位でも取得可能であることや育児参加休暇は分割取得が可能であることから、制度の周知等により、消防職員も取得しやすくなってきている。		
課題	休暇制度の周知を行ってきているが、対象となってから知るという職員が多くいるため、引き続き制度の内容等の周知、理解に努め、組織全体で対象職員が取得しやすい職場環境を築いていくことが必要である。		
第3次総合計画 引継事項	KPI(指標)として、第3次総合計画には設けていないが、育児休業制度と同様に制度の周知、理解に努め、職員が取得しやすい職場環境づくりを推進する。		
第3次総合計画 関連目標指標	No.96 男性の家事・介護・看護・育児にかかる時間数の割合		

(令和8年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO.	37	種別	総合戦略	担当部署	総務課総務係
基本戦略/基本理念	戦略3 結婚・出産・子育てをかなえる切れ目のない支援の推進			施策	3-2 男女共同参画社会の実現
KPI(指標)	5 市役所における男性職員の育児休業の取得割合(取得職員/対象職員)				
KPI(指標)の考え方	令和元年以前、育児休業を取得する職員がほぼいなかったため、期間中に対象となる職員の半数が育児休業を取得しやすい職場環境の整備を図ることとして目標値を定めた				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%
実績値	21.4%	50.0%	19.2%	18.5%	15.2%

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗 (令和7年度)	C: 取組に努力を要する	進捗・達成率(%) (令和7年度)	30.4%
主な取組と実績 (令和7年度)	取得割合は、一般行政職対象職員が29.4%、消防職員は0%であった。令和7年度の、育児休業取得可能対象者は33人であり、昨年度対象者よりも7名増加しているが、消防職場の構造的な課題もあり、依然として消防職員の取得が難しい状況である。		

◆計画期間(5カ年)での総括(自己分析)

計画期間での達成率	49.7%	計画期間での達成度評価	4: 未達
成果	制度の周知や理解に努めてきた結果、職員への周知や理解は深まっていると感じている。現時点では、まだまだ取得率は低いが、職場での理解が進んでいることから毎年度一定数の取得者がいる状況にまでなっている。		
課題	消防職場においては、特有の勤務形態、人員不足等の構造的な課題もあり、依然として取得が難しい状況である。引き続き制度の周知・理解に努めるとともに、職場の意識改革、組織構造等を含め解決策の検討が必要。		
第3次総合計画 引継事項	引き続き、育児休業の取得率向上のため、組織として制度の理解に努めるとともに、属人化とならないような業務管理体制の構築を図り、職員が取得しやすい風土づくりを進める。		
第3次総合計画 関連目標指標	No. 98 市役所における男性職員の育児休業の取得割合		

(令和8年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO.	38	種別	総合戦略	担当部署	生活環境課くらしの安全係
基本戦略/基本理念	戦略4 住みたい、安心を築く地域社会の形成			施策	数値目標
KPI(指標)	I 地域が住みやすいという市民の割合【単年】				
KPI(指標)の考え方	市民意識調査において回答割合の高かった鷹巣地区の水準を全市の目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	78.5%	78.5%	78.5%	78.5%	78.5%
実績値	71.4%	67.9%	65.7%	65.2%	66.6%

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗 (令和7年度)	B: 概ね計画どおり実施	進捗・達成率(%) (令和7年度)	84.8%
主な取組と実績 (令和7年度)	自治会等活動の活性化を図るため、各種補助金の交付等で支援を実施している。		

◆計画期間(5カ年)での総括(自己分析)

計画期間での 達成率	85.8%	計画期間での 達成度評価	2: 概ね達成
成 果	自治会等活動の活性化を図るため、各種補助金等の交付支援により、自治会等活動の活性化を図ることができた。		
課 題	市民意識調査より、生活環境(買い物、除雪、娯楽等)に関する不便さが課題となっており、若年層の市外への居住願望が高い傾向がある。		
第3次総合計画 引継事項	各種補助金等の支援継続と、集落の機能補完や生活支援などを行う集落支援員等の育成支援。		
第3次総合計画 関連目標指標	No.79 地域が住みやすいという市民の割合		

(令和8年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO.	39	種別	総合戦略	担当部署	生活環境課くらしの安全係
基本戦略/基本理念	戦略4 住み続けたい、安心を築く地域社会の形成			施策	4-1 地域コミュニティの推進・地域自治の体制確立
KPI(指標)	2 活発に活動が行われている自治会(町内会)の割合				
KPI(指標)の考え方	市民意識調査において回答割合の高かった合川地区の水準を全市の目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	74.5%	74.5%	74.5%	74.5%	74.5%
実績値	59.6%	55.8%	62.1%	57.8%	58.1%

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗 (令和7年度)	B: 概ね計画どおり実施	進捗・達成率(%) (令和7年度)	78.0%
主な取組と実績 (令和7年度)	自治会等活動の活性化を図るため、各種補助金の交付等で支援を実施している。		

◆計画期間(5カ年)での総括(自己分析)

計画期間での 達成率	78.8%	計画期間での 達成度評価	3: 一部達成
成 果	自治会等活動の活性化を図るため、各種補助金等の交付支援により、自治会等活動の活性化を図ることができた。		
課 題	自治会等に対し各種支援を行っているが、高齢化等に伴う担い手不足が課題となっている。		
第3次総合計画 引継事項	各種補助金等の支援継続と、集落の機能補完や生活支援などを行う集落支援員等の育成支援。		
第3次総合計画 関連目標指標	No. 80 活発に活動が行われている自治会等の割合		

(令和8年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO.	40	種別	総合戦略	担当部署	生活環境課くらしの安全係
基本戦略/基本理念	戦略4 住みたい、安心を築く地域社会の形成			施策	4-1 地域コミュニティの推進・地域自治の体制確立
KPI(指標)	3 地域活動に何か参加している市民の割合				
KPI(指標)の考え方	市民意識調査において回答割合の高かった森吉地区の水準を全市の目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	75.0%	75.0%	75.0%	75.0%	75.0%
実績値	63.7%	61.7%	65.2%	59.0%	60.1%

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗 (令和7年度)	B: 概ね計画どおり実施	進捗・達成率(%) (令和7年度)	80.1%
主な取組と実績 (令和7年度)	自治会等活動の活性化を図るため、各種補助金の交付等で支援を実施している。		

◆計画期間(5カ年)での総括(自己分析)

計画期間での 達成率	82.6%	計画期間での 達成度評価	2: 概ね達成
成 果	自治会等活動の活性化を図るため、各種補助金等の交付支援により、自治会等活動の活性化を図ることができた。		
課 題	年代により地域活動への関心度が異なり、特に若年層の関心度が低い傾向がある。		
第3次総合計画 引継事項	各種補助金等の支援継続と、集落の機能補完や生活支援などを行う集落支援員等の育成支援。		
第3次総合計画 関連目標指標	No. 81 地域活動に何か参加している市民の割合		

(令和8年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO.	41	種別	総合戦略	担当部署	学校教育課学校教育係
基本戦略/基本理念	戦略4 住み続けたい、安心を築く地域社会の形成			施策	4-2 学校教育の充実
KPI(指標)	1 県学習状況調査の質問肢「地域のためになる活動に進んで取り組みたいと思う」で「当てはまる」と答えた児童生徒の割合				
KPI(指標)の考え方	ふるさと・キャリア教育の推進により、すべての学年において県平均を上回ることを目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	県平均+0.1%	県平均+0.1%	県平均+0.2%	県平均+0.2%	県平均+0.3%
実績値	県平均-3.0% 北秋田市 49.9%	県平均-1.7% 北秋田市 47.8%	県平均-1.0% 北秋田市 47.0%	県平均+2.8% 北秋田市 48.8%	県平均 +6.3% 北秋田市 50.1%

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗 (令和7年度)	A: 目標を達成	進捗・達成率(%) (令和7年度)	113.6%
主な取組と実績 (令和7年度)	「当てはまる」と回答した割合は、市が50.1%、県が43.8%となり、6.3%上回った。学年別に見ると、小4、小5、中1が県平均を上回り、中2が県平均を下回った。		

◆計画期間(5カ年)での総括(自己分析)

計画期間での 達成率	101.0%	計画期間での 達成度評価	1: 達成
成 果	郷土資料集「きらり☆きたあきた」を活用したふるさと学習や各校での地域活動への協力により、児童生徒が地域のよさを実感し、地域のために活動したいという思いを育むことができた。		
課 題	各校での取組が充実し、R6、R7年度には取組に見合った数値も得られたため、今後も、現在の取組をしっかりと継続することが重要になる。		
第3次総合計画 引継事項	児童生徒と地域の間により深い繋がりを築くために、学校外での学習に取り組みやすい環境の整備をすすめる必要がある。(外部人材、交通手段等)		
第3次総合計画 関連目標指標	No.39 全市一斉「春のクリーンアップ」への児童生徒の参加率		

(令和8年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO.	42	種別	総合戦略	担当部署	学校教育課学校教育係
基本戦略/基本理念	戦略4 住み続けたい、安心を築く地域社会の形成			施策	4-2 学校教育の充実
KPI(指標)	2 県学習状況調査の質問肢「学校が楽しい」で「当てはまる」と答えた児童生徒の割合				
KPI(指標)の考え方	調査では、「当てはまる」を選んだ児童生徒が県平均より小で4.2%、中で7.7%少ないため、県平均を上回ることを目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	県平均+0.1%	県平均+0.1%	県平均+0.2%	県平均+0.2%	県平均+0.3%
実績値	県平均-7.5% 北秋田市 55.3%	県平均-10.3% 北秋田市 50.9%	県平均-8.8% 北秋田市 51.3%	県平均-7.4% 北秋田市 52.7%	県平均 -2.4% 北秋田市 57.7%

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗 (令和7年度)	C: 取組に努力を要する	進捗・達成率(%) (令和7年度)	95.5%
主な取組と実績 (令和7年度)	「当てはまる」と回答した割合は、市が57.7%、県が60.1%となり、2.4%下回った。学年別に見ると、小4、小5で県平均を上回ったが、中1、中2で県平均を下回った。		

◆計画期間(5カ年)での総括(自己分析)

計画期間での達成率	87.8%	計画期間での達成度評価	2: 概ね達成
成果	学校生活サポート員の配置等の取組により、困り感を抱えている児童への対応を行い、小4、小5において県平均を上回った。		
課題	中1、中2において、県平均の数値を大きく下回る結果となった。学習や生活に困り感を抱えている生徒をどのようにサポートしていくのが課題である。		
第3次総合計画 引継事項	分かりやすい授業づくりと児童生徒による学校運営への参画、活躍の場の設定等、一人一人の児童生徒に寄り添った学校づくりをすすめる。		
第3次総合計画 関連目標指標	No. 38 県学習状況調査において「自分にはよいところがある」と回答した児童生徒の割合		

(令和8年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO.	43	種別	総合戦略	担当部署	学校教育課学校教育係
基本戦略/基本理念	戦略4 住み続けたい、安心を築く地域社会の形成			施策	4-2 学校教育の充実
KPI(指標)	3 県学習状況調査における正答率				
KPI(指標)の考え方	秋田県が全国学力・学習状況調査でトップレベルを継続している状況であり、学年によって正答率も異なるため、県平均を上回ることを目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	県平均+0.1%	県平均+0.1%	県平均+0.2%	県平均+0.2%	県平均+0.3%
実績値	県平均±0.0% 北秋田市 67.9%	県平均-1.1% 北秋田市 66.4%	県平均-0.1% 北秋田市 68.3%	県平均+0.1% 北秋田市 69.4%	県平均 +0.1% 北秋田市 64.5%

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗 (令和7年度)	B: 概ね計画どおり実施	進捗・達成率(%) (令和7年度)	99.7%
主な取組と実績 (令和7年度)	県学習状況調査の正答率は、市の平均が64.5%、県の平均が64.4%となり、0.1%上回った。学年別に見ると、小4、小5で県平均を上回ったが、中1、中2で県平均を下回った。		

◆計画期間(5カ年)での総括(自己分析)

計画期間での達成率	99.4%	計画期間での達成度評価	2: 概ね達成
成果	個別最適な学びと協働的な学びの実現のため、学習におけるICTの活用を進めた結果、R6、R7年度は前年の実績値を上回ると共に、県平均を上回る結果が得られた。		
課題	期間内での目標達成はできなかったが、着実に各校の取組が成果に繋がり数値は改善傾向であった。今後も継続した取組を続ける必要がある。		
第3次総合計画 引継事項	引き続き、ICTを活用した個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に取組む。学習上の困難を抱えた児童生徒に対しては、早期対応を心がける。		
第3次総合計画 関連目標指標	No. 36 県学習状況調査通過率で県平均を上回る教科数(4学年17教科中)		

(令和8年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO.	44	種別	総合戦略	担当部署	学校教育課学校教育係
基本戦略/基本理念	戦略4 住み続けたい、安心を築く地域社会の形成			施策	4-2 学校教育の充実
KPI (指標)	4 不登校児童生徒のうち、あきたリフレッシュ学園又はさわやか教室を利用している人数の割合				
KPI (指標) の考え方	不登校児童生徒一人一人の特性に合わせて関係機関と連携することで学校復帰につなげるための目標設定とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	70%以上	70%以上	70%以上	70%以上	70%以上
実績値	34.6%	36.7%	54.3%	31.1%	32.4%

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗 (令和7年度)	C: 取組に努力を要する	進捗・達成率 (%) (令和7年度)	46.3%
主な取組と実績 (令和7年度)	不登校児童生徒37名中12名が、北秋田さわやか教室またはあきたリフレッシュ学園を利用した。自校では保健室や校内教育支援センター(ステップルーム等)等を利用している場合もある。R7年度は不登校対策検討委員会を設置し、不登校児童生徒の支援について話し合った。		

◆計画期間(5カ年)での総括(自己分析)

計画期間での達成率	54.0%	計画期間での達成度評価	3: 一部達成
成 果	各校において、不登校の未然防止に向けた取組も進めており、不登校児童生徒数は減少傾向にある。北秋田さわやか教室やあきたリフレッシュ学園は、居場所づくりと学びの保障に向けた重要な場所となっている。		
課 題	児童生徒の全体数も減少していることから不登校の割合は増加している。不登校は個別の対応が求められるため、さわやか教室やリフレッシュ学園への入級が最適とは限らないが、認知度の向上には改善の余地がある。		
第3次総合計画 引継事項	北秋田さわやか教室等の認知度向上に向けた取組を推進する。また、さわやか教室等に通う意志はあるものの、交通手段がない等の児童生徒のためにアウトリーチ事業を実施し、児童生徒の学びの保障を推進する。		
第3次総合計画 関連目標指標	No.37 不登校児童生徒のうち、全く学校に出席できておらず、関係機関等からの働きかけにも応じていない児童生徒の割合		

(令和8年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO.	45	種別	総合戦略	担当部署	生涯学習課生涯学習係
基本戦略/基本理念	戦略4 住み続けたい、安心を築く地域社会の形成			施策	4-3 生涯学習の充実
KPI(指標)	1 公民館講座・高齢者大学・図書館等の利用者の満足度調査(コムコム含む)				
KPI(指標)の考え方	新たに共通様式で満足度調査を実施し、満足度90.0%を目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	90.0%	90.0%	90.0%	90.0%	90.0%
実績値	84.5%	83.4%	83.0%	79.5%	76.9%

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗 (令和7年度)	B: 概ね計画どおり実施	進捗・達成率(%) (令和7年度)	85.4%
主な取組と実績 (令和7年度)	利用者のニーズ把握のためアンケートを実施し、事業を行うための参考とした。・市内4地区で高齢者大学を開講し、4地区計309人が受講した。・市内11公民館と市民ふれあいプラザで公民館講座を開講し、79講座(延べ358回)、延べ3,906人が受講した。・図書館及び公民館図書室では読書を通じた学習活動の推進した。		

◆計画期間(5カ年)での総括(自己分析)

計画期間での達成率	90.5%	計画期間での達成度評価	2: 概ね達成
成果	高齢者大学、定期講座・短期講座、読書推進活動など幅広い世代・目的の生涯学習活動を展開した。満足度調査76.9%(目標値90%、達成率85.4%)により、目標を概ね達成した。		
課題	市民のニーズ把握が、意見集約になっている側面がある。		
第3次総合計画 引継事項	アンケート調査の活用により、様々な世代の人が参加・利用しやすい学びの場の提供に取り組む。		
第3次総合計画 関連目標指標	なし		

(令和8年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO.	46	種別	総合戦略	担当部署	生涯学習課生涯学習係
基本戦略/基本理念	戦略4 住み続けたい、安心を築く地域社会の形成			施策	4-3 生涯学習の充実
KPI(指標)	2 自主講座への移行数【R3～R7年度毎の移行数の合計】				
KPI(指標)の考え方	自主講座へ移行することで、主体的に生涯学習活動に携わることとなるため、年間1講座の増加とし累計で5件の増加を目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	24 講座	25 講座	26 講座	27 講座	28 講座
実績値	30 講座	34 講座	39 講座	44 講座	50 講座

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗 (令和7年度)	A: 目標を達成	進捗・達成率(%) (令和7年度)	178.6%
主な取組と実績 (令和7年度)	公民館の講座終了後に自主サークルとして活動を展開する「自立化」の意識付けを継続的に周知した。		

◆計画期間(5カ年)での総括(自己分析)

計画期間での 達成率	151.5%	計画期間での 達成度評価	1: 達成
成 果	学びの楽しさと自立した活動を促し自立化の意識付けを継続、新たに6講座(目標1講座)が自主講座に移行し、目標を達成した。		
課 題	自主講座移行後の活動定着に向けて、更なる展開を図る。		
第3次総合計画 引継事項	学びの成果を地域に還元し、受講者が交流の輪を広げ学び続ける持続可能な活動を担う人材の育成に取り組む。		
第3次総合計画 関連目標指標	No.43 学校活動以外の体験学習や発表の場の開催回数		

(令和8年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO.	47	種別	総合戦略	担当部署	生涯学習課生涯学習係
基本戦略/基本理念	戦略4 住みたい、安心を築く地域社会の形成			施策	4-3 生涯学習の充実
KPI(指標)	3 知識や教養、趣味等を主体的に学習する市民の割合				
KPI(指標)の考え方	市民意識調査で数値の低かった50代や70代以上をターゲットに学びを広げ、市全体で60.0%まで増やすことを目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	60.0%	60.0%	60.0%	60.0%	60.0%
実績値	63.5%	63.5%	60.1%	60.2%	64.8%

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗 (令和7年度)	A: 目標を達成	進捗・達成率(%) (令和7年度)	108.0%
主な取組と実績 (令和7年度)	公民館講座や高齢者大学、出前講座など多様な学習機会の提供、生涯学習フェスタによる学びの成果発表の場を設けることで、生きがいづくりや生涯学習の意識向上につながり意欲的な活動を行った。・12月に生涯フェスタを実施し、活動発表の場を設けた。		

◆計画期間(5カ年)での総括(自己分析)

計画期間での達成率	104.0%	計画期間での達成度評価	1: 達成
成果	様々な年代のニーズ把握を心がけ、普段は公民館講座に参加しない方にも興味をもってもらえるよう工夫した企画を行った。		
課題	地域の人材発掘や情報発信により、主体的な学びの機会の提供・充実に努める。		
第3次総合計画 引継事項	公民館や図書館などの活動拠点を活用し、市民が生涯学習に取り組める機会の充実を図り、公民館を核とした人づくり・つながりづくりを目指す		
第3次総合計画 関連目標指標	なし		

(令和8年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO.	48	種別	総合戦略	担当部署	生涯学習課生涯学習係
基本戦略/基本理念	戦略4 住み続けたい、安心を築く地域社会の形成			施策	4-3 生涯学習の充実
KPI(指標)	4 地域学校協働活動に参加したボランティアと子どもの満足度調査				
KPI(指標)の考え方	学校と地域が一体となり将来の担い手を育成するため、事業内容の充実を図ることで(毎年)満足度90.0%を目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	90.0%	90.0%	90.0%	90.0%	90.0%
実績値	100.0%	100.0%	90.5%	85.0%	100%

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗 (令和7年度)	A: 目標を達成	進捗・達成率(%) (令和7年度)	111.1%
主な取組と実績 (令和7年度)	地域住民の指導・協力のもと事業を実施し、交流を図った。・参加児童のアンケートでは高い満足度となり、目標を達成した。		

◆計画期間(5カ年)での総括(自己分析)

計画期間での 達成率	105.7%	計画期間での 達成度評価	1: 達成
成 果	市内各小中学校の地域学校協働活動推進員がそれぞれに特色ある取り組みを実施し、学校と地域ぐるみで子ども達を育成する環境基盤づくりに繋がった。		
課 題	地域学校協働活動推進員の担い手不足が懸念される。		
第3次総合計画 引継事項	地域と学校が協働・連携し、地域全体で子どもたちの「ふるさとを愛する心」を育む活動を推進する。		
第3次総合計画 関連目標指標	No.43 学校活動以外の体験学習や発表の場の開催回数		

(令和8年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO.	49	種別	総合戦略	担当部署	生涯学習課生涯学習係
基本戦略/基本理念	戦略4 住み続けたい、安心を築く地域社会の形成			施策	4-3 生涯学習の充実
KPI(指標)	5 北秋田市民ふれあいプラザ利用者数【延べ利用者数】				
KPI(指標)の考え方	講座メニューやPR方法を工夫することで、現在の利用者を64,400人まで増やすことを目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	49,000人	53,000人	57,000人	61,000人	64,400人
実績値	48,140人	55,234人	61,369人	71,177人	78,570人

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗 (令和7年度)	A: 目標を達成	進捗・達成率(%) (令和7年度)	122.0%
主な取組と実績 (令和7年度)	幅広い世代や団体の学びの拠点、地域活動や交流人口の場となるよう利用促進を図った。・78,570人(目標64,400人)が利用し、目標を達成した。オープンからの累計来館者数2,521,020人となった。		

◆計画期間(5カ年)での総括(自己分析)

計画期間での達成率	110.6%	計画期間での達成度評価	1: 達成
成果	公式SNSやホームページ等で利活用の積極的周知を実施した。		
課題	利用者数の伸びが、市街地のにぎわい創出に直接的に結びつきにくい。		
第3次総合計画 引継事項	にぎわいづくり委員会の意見や市民から寄せられた意見を参考にしながら、コムコムを活用した賑わいづくりに取り組む。		
第3次総合計画 関連目標指標	No.42 公民館等を利用した人数		

(令和8年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO.	50	種別	総合戦略	担当部署	生涯学習課生涯学習係
基本戦略/基本理念	戦略4 住みたい、安心を築く地域社会の形成			施策	4-3 生涯学習の充実
KPI(指標)	6 社会教育施設台帳の整備と、今後の管理計画書の作成				
KPI(指標)の考え方	共通様式により市内すべての公民館の台帳及び管理計画書を作成することを目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	12箇所	12箇所	12箇所	12箇所	12箇所
実績値	0箇所	2箇所	3箇所	12箇所	12箇所

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗 (令和7年度)	A: 目標を達成	進捗・達成率(%) (令和7年度)	100.0%
主な取組と実績 (令和7年度)	統一した台帳を更新し、管理の一元化を図った。		

◆計画期間(5カ年)での総括(自己分析)

計画期間での 達成率	100.0%	計画期間での 達成度評価	1: 達成
成 果	管理台帳を活用し、施設の維持保全に努めた。		
課 題	経年により施設の維持保全経費が増加している。		
第3次総合計画 引継事項	効果的な利用に向け、引き続き管理台帳を活用し適正な施設の維持保全に努める。		
第3次総合計画 関連目標指標	なし		

(令和8年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO.	51	種別	総合戦略	担当部署	建設課都市計画住宅係
基本戦略/基本理念	戦略4 住み続けたい、安心を築く地域社会の形成			施策	4-4 住環境の整備
KPI(指標)	1 公営住宅等のバリアフリー化の割合【累計】				
KPI(指標)の考え方	建替計画及び既存住宅改修計画に基づき目標を設定した				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	84.0%	85.0%	85.0%	86.0%	87.0%
実績値	52.9%	54.1%	53.7%	54.5%	55.3%

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗 (令和7年度)	C: 取組に努力を要する	進捗・達成率(%) (令和7年度)	63.6%
主な取組と実績 (令和7年度)	北秋田市公営住宅等長寿命化計画に基づき、バリアフリー対応住宅2棟4戸の建設とバリアフリー非対応住宅5棟5戸の解体を実施した。		

◆計画期間(5カ年)での総括(自己分析)

計画期間での 達成率	63.6%	計画期間での 達成度評価	3: 一部達成
成 果	建替事業の実施により、バリアフリー対応住宅の増加と非対応住宅の減少が進み、バリアフリー化の割合が増加した。		
課 題	北秋田市公営住宅等長寿命化計画に基づき、20戸の建設と30戸の解体を実施したが、事業の推進には多額の事業費を要することが大きな課題。バリアフリー化の進展には尚時間を要する。		
第3次総合計画 引継事項	多様化する居住ニーズや将来的な住宅需要を勘案しながら、バリアフリー化事業(建替事業)を継続実施する。		
第3次総合計画 関連目標指標	なし		

(令和8年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO.	52	種別	総合戦略	担当部署	建設課都市計画住宅係
基本戦略/基本理念	戦略4 住み続けたい、安心を築く地域社会の形成			施策	4-4 住環境の整備
KPI(指標)	2 公営住宅等の入居率(入居戸数/全戸数)【累計】				
KPI(指標)の考え方	政策的空家を除いた509戸を管理基準として目標を設定した				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	84.0%	86.0%	88.0%	90.0%	90.6%
実績値	82.6%	80.2%	79.4%	76.3%	78.4%

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗 (令和7年度)	B:概ね計画どおり実施	進捗・達成率(%) (令和7年度)	86.5%
主な取組と実績 (令和7年度)	入居者が安心して生活できるよう住宅の維持管理業務委託26件、修繕129件、維持工事13件を実施したほか、2棟4戸を建設した。		

◆計画期間(5カ年)での総括(自己分析)

計画期間での 達成率	86.5%	計画期間での 達成度評価	2:概ね達成
成 果	公営住宅等の維持管理、建替事業を実施し、入居者の良好な生活環境を確保することにつながった。		
課 題	入居者の良好な生活環境の確保に努めているが、建築年数や住宅所在地による入居希望者の偏りが顕著になってきていることが課題で、入居率の向上につながらない要因の一つと考えられる。		
第3次総合計画 引継事項	多様化する居住ニーズや将来的な住宅需要を勘案しながら、良好な生活環境確保のための維持管理、バリアフリー化事業(建替事業)を継続実施する。		
第3次総合計画 関連目標指標	なし		

(令和8年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO.	53	種別	総合戦略	担当部署	生活環境課くらしの安全係
基本戦略/基本理念	戦略4 住み続けたい、安心を築く地域社会の形成			施策	4-4 住環境の整備
KPI(指標)	3 特定空家等に認定した家屋のうち、通知3年以内に解体された割合				
KPI(指標)の考え方	危険家屋状態から早期に回避するため、解体割合90.0%以上を目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	93.3%	93.3%	93.3%	93.3%	93.3%
実績値	87.5%	88.9%	64.3%	50.0%	55.6%

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗 (令和7年度)	C: 取組に努力を要する	進捗・達成率(%) (令和7年度)	59.6%
主な取組と実績 (令和7年度)	特定空家として7件、管理不全空家として9件認定した。解体実施は1件に留まった。		

◆計画期間(5カ年)での総括(自己分析)

計画期間での 達成率	74.2%	計画期間での 達成度評価	3: 一部達成
成 果	広報や市HP等で解体撤去補助金を周知し、対象空き家の所有者等に対し適正管理の指導を行うも、経済的理由等により解体できていないケースがある。		
課 題	相続放棄等の有無や空き家所有者の所在調査など、解決に時間を要するのが課題である。また、経済的理由で対応いただけないケースが増えている。		
第3次総合計画 引継事項	特定空家、管理不全空家等も含め、所有者等に対する適正管理指導等の徹底、及び解体撤去補助金の周知促進を図る。		
第3次総合計画 関連目標指標	なし		

(令和8年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO.	54	種別	総合戦略	担当部署	建設課都市計画住宅係
基本戦略/基本理念	戦略4 住み続けたい、安心を築く地域社会の形成			施策	4-4 住環境の整備
KPI(指標)	4 住宅耐震化率【累計】				
KPI(指標)の考え方	北秋田市耐震改修促進計画に基づき目標を設定した				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	67.0%	67.0%	67.0%	69.0%	71.0%
実績値	64.4%	64.4%	64.4%	68.2%	68.2%

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗 (令和7年度)	B: 概ね計画どおり実施	進捗・達成率(%) (令和7年度)	96.1%
主な取組と実績 (令和7年度)	市ホームページや広報誌、住宅リフォーム支援事業利用者への耐震化補助事業周知に努めたが、利用実績はなかった。		

◆計画期間(5カ年)での総括(自己分析)

計画期間での 達成率	96.1%	計画期間での 達成度評価	2: 概ね達成
成 果	市で実施している住宅耐震化補助事業の利用実績は芳しくなかったが、令和5年度住宅・土地統計調査結果では、自己資本による住宅建替えが要因と思われる住宅耐震化率の上昇が見られた。		
課 題	頻発する地震から建物の倒壊を防ぎ、あるいは損傷を軽減することが、命を守ることにつながることの意識の醸成と、耐震改修工事費用負担の軽減が課題となる。		
第3次総合計画 引継事項	住宅耐震化補助事業の認知不足が利用につながらない要因の一つと考えられることから、事業周知の強化を図る。		
第3次総合計画 関連目標指標	No. 58 耐震化事業の周知回数【累計】		

(令和8年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO.	55	種別	総合戦略	担当部署	建設課都市計画住宅係
基本戦略/基本理念	戦略4 住みたい、安心を築く地域社会の形成			施策	4-4 住環境の整備
KPI(指標)	5 地域による管理が行われている公園箇所数【累計】				
KPI(指標)の考え方	規模的に可能と思われる公園を設定し、同意を得られそうな公園1か所を目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	3箇所	3箇所	3箇所	3箇所	3箇所
実績値	2箇所	2箇所	2箇所	2箇所	2箇所

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗 (令和7年度)	E:その他	進捗・達成率(%) (令和7年度)	66.7%
主な取組と実績 (令和7年度)	令和2年度に2自治会との協議が不調に終わって以降、取組み実績はない。		

◆計画期間(5カ年)での総括(自己分析)

計画期間での 達成率	66.7%	計画期間での 達成度評価	3:一部達成
成 果	新たな公園の管理委託にはつながらなかった。		
課 題	自治会員数の減少と高齢化により、維持管理作業の実施が困難であることが課題。		
第3次総合計画 引継事項	自治会への更なる公園管理委託は困難であり、今後の状況改善や新たな協議対象団体も見込めないことから、第3次計画へは引き継がない。		
第3次総合計画 関連目標指標	なし		

(令和8年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO.	56	種別	総合戦略	担当部署	財政課地籍調査室
基本戦略/基本理念	戦略4 住み続けたい、安心を築く地域社会の形成			施策	4-4 住環境の整備
KPI(指標)	6 全体計画の調査面積に対する実施済面積の割合				
KPI(指標)の考え方	国土調査事業第7次十箇年計画期間中(R2~11)に完了させるため目標を設定した				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	45.0%	50.0%	59.0%	63.0%	76.0%
実績値	45.0%	50.0%	54.0%	65%	76.0%

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗 (令和7年度)	A: 目標を達成	進捗・達成率(%) (令和7年度)	100.0%
主な取組と実績 (令和7年度)	鷹巣地区市街地(材木町ほか)の調査を実施しており計画どおり進んでいる。R7は国の内示額が100%であったため、目標値を達成した。		

◆計画期間(5カ年)での総括(自己分析)

計画期間での 達成率	100.0%	計画期間での 達成度評価	1: 達成
成 果	土地の境界を正確に登録することで、災害等で地形が変化しても土地の位置の復元が可能となる。		
課 題	調査を進めるにあたり、土地所有者の高齢化により現地の立会いが出来ない場合や、相続放棄等で関係者から協力を得るのが難しいケースも生じている。		
第3次総合計画 引継事項	財源である補助金の交付率が令和8年度は5割であり、配分率によって業務の進捗に影響を及ぼしておるが、計画期間中に調査を完了するように取り組む。		
第3次総合計画 関連目標指標	なし		

(令和8年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO.	57	種別	総合戦略	担当部署	高齢福祉課高齢福祉係
基本戦略/基本理念	戦略4 住み続けたい、安心を築く地域社会の形成			施策	4-5 雪対策の充実
KPI(指標)	1 自宅の除雪について特に困っていることがない市民の割合				
KPI(指標)の考え方	市民意識調査の回答割合の高い鷹巣地区や合川地区の水準、並びに前期基本計画の目標値を参考に設定した				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	25.8%	25.8%	25.8%	25.8%	25.8%
実績値	20.8%	14.9%	17.3%	24.2%	19.6%

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗 (令和7年度)	B: 概ね計画どおり実施	進捗・達成率(%) (令和7年度)	76.0%
主な取組と実績 (令和7年度)	65歳以上の高齢世帯等に冬期間在宅生活を支援する「福祉の雪事業」を実施。延べ1,153世帯に対し延べ9,597回の除排雪を実施した。		

◆計画期間(5カ年)での総括(自己分析)

計画期間での 達成率	75.0%	計画期間での 達成度評価	3: 一部達成
成 果	「福祉の雪事業」において間口除雪等を実施することにより、「困っている」という回答で最も多かった「玄関や車庫などの雪寄せ」について、70歳以上の回答は全体に比べ低かった。		
課 題	事業の担い手不足により、利用者への事業担当割当てが難しくなっている。		
第3次総合計画 引継事項	冬期間でも快適な住環境の整備に向けて、高齢者等への除排雪支援を継続実施する。		
第3次総合計画 関連目標指標	なし		

(令和8年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO.	58	種別	総合戦略	担当部署	高齢福祉課高齢福祉係
基本戦略/基本理念	戦略4 住み続けたい、安心を築く地域社会の形成			施策	4-5 雪対策の充実
KPI(指標)	2 自治会や近所の人と協力して(間口や)道路、歩道、自治会館やごみ集積所等の除雪作業を行っている市民の割合				
KPI(指標)の考え方	市民意識調査において回答割合の高かった男性の水準を目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	48.6%	48.6%	48.6%	48.6%	48.6%
実績値	35.1%	36.8%	36.3%	36.7%	31.5%

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗 (令和7年度)	B: 概ね計画どおり実施	進捗・達成率(%) (令和7年度)	64.8%
主な取組と実績 (令和7年度)	「福祉の雪事業」の利用登録者728件に対し、個人の担い手や業者、シルバー人材センター及び自治会等に連絡し担当作業員を割当てした。		

◆計画期間(5カ年)での総括(自己分析)

計画期間での 達成率	72.6%	計画期間での 達成度評価	3: 一部達成
成 果	「福祉の雪事業」の担い手は地域を分かっている方が多く、そうした担い手の方々が冬期間における地域活動を支えるとともに共助意識を高める一助になっていると思われる。		
課 題	各年代において一定の共助活動が見られるが、高齢化が著しい当市においては、今後、共助意識の高い高齢者層が少なくなってくることから、若年層への共助意識の高揚・啓蒙が必要と考える。		
第3次総合計画 引継事項	冬期間でも快適な住環境の整備に向けて、高齢者等への除排雪支援を継続実施する。		
第3次総合計画 関連目標指標	なし		

(令和8年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO.	59	種別	総合戦略	担当部署	高齢福祉課高齢福祉係
基本戦略/基本理念	戦略4 住み続けたい、安心を築く地域社会の形成			施策	4-5 雪対策の充実
KPI(指標)	3 福祉の雪事業の担い手として事業者登録をしている自治会の数				
KPI(指標)の考え方	令和元年度実績に毎年1団体ずつの増加を目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	7団体	8団体	9団体	10団体	11団体
実績値	5団体	3団体	3団体	3団体	3団体

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗 (令和7年度)	C: 取組に努力を要する	進捗・達成率(%) (令和7年度)	27.3%
主な取組と実績 (令和7年度)	市広報及び通知にて「福祉の雪事業」事業者登録を呼びかけ、自治会等が3団体登録した。		

◆計画期間(5カ年)での総括(自己分析)

計画期間での 達成率	37.8%	計画期間での 達成度評価	4: 未達
成 果	市広報及び通知にて「福祉の雪事業」事業者登録を呼びかけ、前年度登録の3団体は登録されなかったが、新たに自治会等3団体が登録した。		
課 題	高齢化の進展により、自治会組織等団体として活動することが難しくなっており、団体から個人登録へ切り替えた組織もみられる。団体・個人問わず、高齢化の進展等により担い手の確保が課題である。		
第3次総合計画 引継事項	冬期間でも快適な住環境の整備に向けて、高齢者等への除排雪支援を継続実施する。		
第3次総合計画 関連目標指標	なし		

(令和8年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO.	60	種別	総合戦略	担当部署	内陸線再生支援室
基本戦略/基本理念	戦略4 住み続けたい、安心を築く地域社会の形成			施策	4-6 公共交通の維持・確保
KPI(指標)	1 秋田内陸線の乗車人数				
KPI(指標)の考え方	令和元年度現状値までの回復を目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	264,000 人	264,000 人	264,000 人	264,000 人	264,000 人
実績値	177,192 人	183,681 人	230,579 人	226,690 人	191,129 人

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗 (令和7年度)	C: 取組に努力を要する	進捗・達成率(%) (令和7年度)	72.4%
主な取組と実績 (令和7年度)	「内陸線のファンづくり」を基軸として特色ある企画列車の運行や貸切半額助成事業を実施し、定期外輸送人員は116,694人(前年比78.1%)となった。台湾を中心としたインバンド誘客により外国人利用者数は37,319人(前年比94.6%)となった。		

◆計画期間(5カ年)での総括(自己分析)

計画期間での達成率	76.5%	計画期間での達成度評価	3: 一部達成
成 果	企画列車や沿線の観光資源を活用したSNS発信、各種メディアによるPR活動により災害の影響を除けば利用者は回復傾向である。特に外国人観光客数は堅調に推移しており、韓国、タイからの利用も増加している。		
課 題	豪雨災害や雪害等の輸送障害により観光需要の取り込みや予約団体の受け入れに大きな影響が生じている。沿線地域の生徒数減少により通学利用人数も減少傾向となっている。		
第3次総合計画 引継事項	他自治体と連携した地域資源のブラッシュアップにより国内外からの誘客促進を図る。沿線学校他、市民への運賃助成により公共交通の維持確保と利便性向上を推進する。		
第3次総合計画 関連目標指標	No. 63 秋田内陸線の年間利用者数		

(令和8年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO.	61	種別	総合戦略	担当部署	総合政策課政策係
基本戦略/基本理念	戦略4 住み続けたい、安心を築く地域社会の形成			施策	4-6 公共交通の維持・確保
KPI(指標)	2 路線バス・デマンド型乗合タクシーの輸送人員数				
KPI(指標)の考え方	鷹巣線の減少(スクールバス化:吉野学園△7,300人)を踏まえた現状維持を目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	131,000人	131,000人	131,000人	131,000人	131,000人
実績値	122,254人	122,459人	126,076人	123,726人	130,559人

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗 (令和7年度)	B:概ね計画どおり実施	進捗・達成率(%) (令和7年度)	99.7%
主な取組と実績 (令和7年度)	令和7年度は市民要望等に基づいて、デマンド型乗合タクシーである「岩谷線」の増便を実施した。また、路線バス(打当線・根森田線)の乗降実態の把握を目的として乗降調査を実施した。毎年度、地域・利用者の実態を踏まえながら各種見直し等を行っているが、人口減少の影響等により目標達成が難しい状況である。		

◆計画期間(5カ年)での総括(自己分析)

計画期間での達成率	95.4%	計画期間での達成度評価	2:概ね達成
成果	バスマップやチラシの作成により、公共交通の周知と利便性向上が図られた。また、路線バスの代替としてデマンド型乗合タクシーを導入し、交通空白地の発生を回避した。		
課題	重複路線の集約や循環バス再編など、既存路線の効率化が課題である。さらに、更なる人口減少により既存手段では対応困難な地域を見据え、自治体ライドシェア等新たな交通モードの導入検討が急務となっている。		
第3次総合計画引継事項	既存路線の見直しやデマンド交通の利便性向上、新たな交通モードの検討・導入を進める。バスフリー定期券助成事業等移動にかかる負担軽減措置を継続し、持続可能な公共交通を目指し事業者との連携体制を構築する。		
第3次総合計画関連目標指標	No.62 公共交通の利便性を理由に利用していない人の割合		

(令和8年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO.	62	種別	総合戦略	担当部署	総合政策課政策係
基本戦略/基本理念	戦略4 住み続けたい、安心を築く地域社会の形成			施策	4-6 公共交通の維持・確保
KPI(指標)	3 大館能代空港利用者数				
KPI(指標)の考え方	3 便化政策コンテストにおいて目指した数値(1年後ろ倒し)を目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	207,740 人	219,020 人	222,404 人	225,600 人	233,000 人
実績値	45,346 人	145,617 人	173,057 人	194,655 人	198,483 人

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗 (令和7年度)	C: 取組に努力を要する	進捗・達成率(%) (令和7年度)	85.2%
主な取組と実績 (令和7年度)	利用促進協議会と連携した事業や、運賃助成、市民を対象とした航空券の予約講座の実施、また、航空会社が不定期で発売するお得なタイムセール情報を地元紙や北秋田市公式LINEで配信を行い、市民の認知度向上、各種利用促進事業を推進し、利用者は前年比3,828人増となった。利用者は毎年度増加となっているが、目標値までは大幅な乖離があるため、現在行っている利用促進事業を継続しつつも新たな利用者の掘り起こしの取り組みなども検討する必要がある。		

◆計画期間(5カ年)での総括(自己分析)

計画期間での達成率	68.4%	計画期間での達成度評価	3: 一部達成
成果	利用促進協議会と連携した取り組みにより搭乗者数は増加傾向にあり、目標値の達成には至っていないが計画期間においては、毎年度過去最高を更新した。		
課題	搭乗者数は増加傾向にあるものの、羽田発着枠政策コンテストにおいて設定した目標搭乗者数には達していない。目標値も毎年度増加するため、このままの増加率だと目標値との乖離が大きくなる。		
第3次総合計画引継事項	引き続き利用促進協議会と連携した取り組みを継続するほか、市民の新規、リピーターの利用者を獲得するための事業を実施を検討する。		
第3次総合計画関連目標指標	No. 64 大館能代空港利用者数		

(令和8年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO.	63	種別	総合戦略	担当部署	総務課危機管理係
基本戦略/基本理念	戦略4 住み続けたい、安心を築く地域社会の形成			施策	4-7 地域防災体制の充実
KPI(指標)	1 災害に備えて何かしら準備をしている市民の割合				
KPI(指標)の考え方	市民意識調査において割合の高い森吉地区の水準を全市の目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	68.4%	68.4%	68.4%	68.4%	68.4%
実績値	58.2%	60.4%	60.1%	62.6%	57.3%

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗 (令和7年度)	C: 取組に努力を要する	進捗・達成率(%) (令和7年度)	83.8%
主な取組と実績 (令和7年度)	市広報における毎月のかわら版の掲載や、年11回の出前講座により防災についての有用性を啓発するよう努めたが、結果として、5.3ポイントのマイナスとなった。		

◆計画期間(5カ年)での総括(自己分析)

計画期間での 達成率	87.3%	計画期間での 達成度評価	2: 概ね達成
成 果	達成度評価は「概ね達成」となっているものの、意識の向上は横ばいで、R7に至っては前年を下回る結果となった。		
課 題	4年連続で豪雨災害に見舞われたものの、災害への備えについては、意識が高まっていない。		
第3次総合計画 引継事項	災害を他人事ではなく、自分事として意識してもらうよう啓発を継続する。		
第3次総合計画 関連目標指標	No.76 災害に備えて何かしら準備している市民の割合		

(令和8年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO.	64	種別	総合戦略	担当部署	総務課危機管理係
基本戦略/基本理念	戦略4 住み続けたい、安心を築く地域社会の形成			施策	4-7 地域防災体制の充実
KPI(指標)	2 防災情報メール登録者数【累計】				
KPI(指標)の考え方	効率のよい市の情報を取得する手段として登録いただくよう、毎年100人の増加を目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	1,845人	1,945人	2,045人	2,145人	2,245人
実績値	1,731人	1,914人	1,940人	2,111人	2,152人

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗 (令和7年度)	B: 概ね計画どおり実施	進捗・達成率(%) (令和7年度)	95.9%
主な取組と実績 (令和7年度)	市広報における毎月のかわら版の掲載や、年11回の出前講座により、市防災メールの登録について啓発してきたが、市公式LINEやヤフーエリアメールといった選択肢が増えたことで、登録者数は微増に留まった。		

◆計画期間(5カ年)での総括(自己分析)

計画期間での達成率	95.9%	計画期間での達成度評価	2: 概ね達成
成果	年度内で若干の増減はあるものの、微増で留まっている。		
課題	情報を受信するツールは複数備えておくことで、有事の際に情報を確実に受信できることが有用であることを引き続き周知する必要がある。		
第3次総合計画 引継事項	情報を受信するツールは複数備えておくことで、有事の際に情報を確実に受信できることが有用であること引き続きを周知する必要がある。		
第3次総合計画 関連目標指標	なし		

(令和8年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO.	65	種別	総合戦略	担当部署	総務課危機管理係
基本戦略/基本理念	戦略4 住み続けたい、安心を築く地域社会の形成			施策	4-7 地域防災体制の充実
KPI(指標)	3 自主防災組織の結成数【累計】				
KPI(指標)の考え方	年間3団体の増加を目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	48 団体	51 団体	54 団体	57 団体	60 団体
実績値	45 団体	48 団体	49 団体	52 団体	54 団体

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗 (令和7年度)	B: 概ね計画どおり実施	進捗・達成率(%) (令和7年度)	90.0%
主な取組と実績 (令和7年度)	出前講座を通じ、自主防災組織の結成について促したものの、2団体の結成に留まった。		

◆計画期間(5カ年)での総括(自己分析)

計画期間での 達成率	90.0%	計画期間での 達成度評価	2: 概ね達成
成 果	年度内3団体ずつの結成を目標としているが、R7は2団体の結成に留まった。		
課 題	防災意識が高まりながらも、結成までに至らない団体が多い。結成までの事務手続き等について助言を行いながら、結成に繋げたい。		
第3次総合計画 引継事項	自治会自体の高齢化により、自主防止組織のなり手がいないことが結成に繋がらない大きな原因と考えられる。		
第3次総合計画 関連目標指標	No.75 自主防災組織の結成異数【累計】		

(令和8年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO.	66	種別	総合戦略	担当部署	総務課危機管理係
基本戦略/基本理念	戦略4 住み続けたい、安心を築く地域社会の形成			施策	4-7 地域防災体制の充実
KPI(指標)	4 防災ラジオ配布割合				
KPI(指標)の考え方	配布割合90.0%を目標とした。(※8,957世帯⇒11,325世帯(2,368世帯増加))				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	90.1%	90.1%	90.1%	90.1%	90.1%
実績値	74.3%	75.7%	76.8%	77.3%	94.1%

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗 (令和7年度)	B:概ね計画どおり実施	進捗・達成率(%) (令和7年度)	104.4%
主な取組と実績 (令和7年度)	割合の分母について、住民基本台帳の世帯数を用いていたが、より実態に近いと思われる国勢調査並びに人口流動調査による世帯数を分母として算定しており、94.1%の保有率となっている。(R6:93.8%)		

◆計画期間(5カ年)での総括(自己分析)

計画期間での達成率	88.4%	計画期間での達成度評価	2:概ね達成
成果	計画の途中で世帯数の考え方を改めているため、単純比較はできないものの、概ね貸与を希望している世帯へは行き渡っているものと思われる。		
課題	災害情報に限らず、熊の出没情報や市のイベント情報など多岐にわたる市からの情報を受信できるツールとして防災ラジオの利用は有用であることを周知していく必要がある。近年は貸与数よりも返還数が上回っている。		
第3次総合計画 引継事項	稼働から7年が経過し、この防災ラジオのシステムをいつまで継続できるのかを検討していく必要がある。		
第3次総合計画 関連目標指標	なし		

(令和8年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO.	67	種別	総合戦略	担当部署	建設課工務係
基本戦略/基本理念	戦略4 住み続けたい、安心を築く地域社会の形成			施策	4-7 地域防災体制の充実
KPI(指標)	5 河川環境の整備【累計】				
KPI(指標)の考え方	令和3年度から実施を予定している緊急浚渫推進事業計画(案)に基づき、目標を設定した				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	3 河川	5 河川	9 河川	13 河川	13 河川
実績値	3 河川	5 河川	10 河川	16 河川	19 河川

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗 (令和7年度)	A: 目標を達成	進捗・達成率(%) (令和7年度)	146.2%
主な取組と実績 (令和7年度)	3 河川において河川堆積土砂の除去により、流下能力の向上と洪水発生リスクの低減を図った。		

◆計画期間(5カ年)での総括(自己分析)

計画期間での 達成率	146.2%	計画期間での 達成度評価	1: 達成
成 果	計画に対する実績は目標を達成した。		
課 題	局所的な対応となっている河川もあることから、引き続き浚渫計画に基づき推進していく必要がある。		
第3次総合計画 引継事項	計画に基づき事業を推進していくが、計画にない河川についても、近年の頻発する豪雨による河川への土砂の流出も懸念されるため河川状況を確認しながら対応したい。		
第3次総合計画 関連目標指標	No. 61 浚渫河川数【累計】		

(令和8年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO.	68	種別	総合戦略	担当部署	産業政策課産業戦略係
基本戦略/基本理念	戦略4 住み続けたい、安心を築く地域社会の形成			施策	4-8 新しい生活様式への対応
KPI(指標)	1 北秋田市でテレワーク(ワーケーション)に取り組む経費を助成する件数(累計)				
KPI(指標)の考え方	県外の民間企業等が北秋田市で行うワーケーションに対し、県又は市が経費を助成する件数を令和3、4年度を年2件、令和5年度からは年4件として目標を設定した				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	2件	4件	8件	12件	16件
実績値	0件	9件	12件	13件	14件

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗 (令和7年度)	B: 概ね計画どおり実施	進捗・達成率(%) (令和7年度)	87.5%
主な取組と実績 (令和7年度)	地域課題の解決に資する事業を展開をしている企業1件が活用。概ね計画どおり取り組むことができた。		

◆計画期間(5カ年)での総括(自己分析)

計画期間での達成率	87.5%	計画期間での達成度評価	2: 概ね達成
成果	首都圏の企業やスタートアップなどを招聘しリモートワーク、テレワークを活用しながら地域課題の解決に資する事業展開へと繋げることができた。		
課題	地域課題解決事業と組み合わせて実施していることをSNSやピッチイベント等で発信していく必要がある。		
第3次総合計画 引継事項	地域経済の活性化と関係人口の創出・拡大に向けた、企業に対するワーケーション事業の推進と地域課題解決をビジネスとして取り組む企業の誘致に取り組んで行く。		
第3次総合計画 関連目標指標	No.101 テレワーク・ワーケーション実践件数		

(令和8年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO.	69	種別	総合戦略	担当部署	産業政策課移住定住支援室
基本戦略/基本理念	戦略4 住み続けたい、安心を築く地域社会の形成			施策	4-8 新しい生活様式への対応
KPI(指標)	2 オンライン(リモート・SNS含む)での移住定住相談者数【累計】				
KPI(指標)の考え方	オンライン(リモート・SNS含む)での移住定住相談者数を目標として設定した				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	45人	90人	135人	180人	225人
実績値	98人	139人	174人	220人	256人

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗 (令和7年度)	A: 目標を達成	進捗・達成率(%) (令和7年度)	113.8%
主な取組と実績 (令和7年度)	平日の日中に移住相談することが難しい人たちが、LINEアプリを使った相談や支援制度の問い合わせなどに活用した。		

◆計画期間(5カ年)での総括(自己分析)

計画期間での 達成率	113.8%	計画期間での 達成度評価	1: 達成
成 果	LINEアプリでの問い合わせ・相談を選択肢の一つとして加えたことで気軽に相談できる体制を整えることができた。		
課 題	移住フェアなどでLINE登録での相談をPRし、気軽に相談できる環境があることを周知することで移住に繋げていきたい。		
第3次総合計画 引継事項	移住を検討する方々との接点を持てるようオンラインでの相談や気軽に相談できる環境があることを周知しながら移住相談を行っていく。		
第3次総合計画 関連目標指標	No. 99 移住相談者数		

(令和8年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO.	70	種別	総合計画	担当部署	医療健康課地域医療対策室
基本戦略/基本理念	基本理念1 健康でしごとにはげむ活力あるまちづくり			施策	1-1 地域医療の充実
KPI(指標)	1 市内の医療体制について整っており満足している市民の割合				
KPI(指標)の考え方	前期計画期間の調査結果は60.0%前後で推移し、目標値未達であることから、引き続き前期と同じ目標数値とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	63.0%	63.0%	63.0%	63.0%	63.0%
実績値	56.8%	57.6%	50.8%	54.4%	47.3%

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗 (令和7年度)	C:取組に努力を要する	進捗・達成率(%) (令和7年度)	75.1%
主な取組と実績 (令和7年度)	開業医の協力のもと夜間当番医制の継続に努めたほか、一時医療体制の確保として地域医療確保促進事業補助金を活用いただき、市内の医療機関の設備等の充実を図っている。		

◆計画期間(5カ年)での総括(自己分析)

計画期間での 達成率	84.7%	計画期間での 達成度評価	2:概ね達成
成 果	夜間当番医制の継続、地域医療確保促進事業補助金及び訪問看護体制補助・看護師奨励金等医療体制維持に関する施策を行っている。		
課 題	市民においては眼科、皮膚科、耳鼻咽喉科などの不足、不便や、市民病院における産婦人科、小児科への不満等が多い。医療体制が十分という割合が低いことから、専門的診療科の不足が満足度に現れていると感じる。		
第3次総合計画 引継事項	メディカルスタッフ不足が常態化している状況において、特定の診療科や医師を増やしていく事は容易ではないが、市民病院を中心に、医師の充足を図りながら、市民の満足度の向上に今後も努めていく。		
第3次総合計画 関連目標指標	No.20 市内の医療体制について整っており満足している市民の割合		

(令和8年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO.	71	種別	総合計画	担当部署	医療健康課地域医療対策室
基本戦略/基本理念	基本理念1 健康でしごとにはげむ活力あるまちづくり			施策	1-1 地域医療の充実
KPI(指標)	2 市民病院の常勤医師数(※非常勤医師等数を含む常勤医師換算数)				
KPI(指標)の考え方	秋田県医師確保計画における北秋田医療圏の目標医師計画値を基準とし、地域の中核病院として、より充実した医療サービスを提供するための医師数を目標数値とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	24.0人	24.0人	24.0人	24.0人	24.0人
実績値	23.0人	23.6人	24.1人	22.3人	22.3人

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗 (令和7年度)	B: 概ね計画どおり実施	進捗・達成率(%) (令和7年度)	92.9%
主な取組と実績 (令和7年度)	指定管理者と連携し秋田大学等への医師派遣要請を引続き行っており、医師充足率は100%以上を維持している。		

◆計画期間(5カ年)での総括(自己分析)

計画期間での 達成率	92.9%	計画期間での 達成度評価	2: 概ね達成
成 果	秋田大学への継続した表敬訪問や医師派遣要請により信頼関係が構築され、医師の安定的な派遣や新たな医師確保につながっている。		
課 題	常勤医のいない或いは不足している診療科もある。		
第3次総合計画 引継事項	医師充足率が低下しないよう、引続き取組みを継続していく。		
第3次総合計画 関連目標指標	No. 21 市民病院の常勤医師数		

(令和8年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO.	72	種別	総合計画	担当部署	医療健康課地域医療対策室
基本戦略/基本理念	基本理念1 健康でしごとにはげむ活力あるまちづくり			施策	1-1 地域医療の充実
KPI(指標)	3 北秋田市民病院満足度(職員の対応)				
KPI(指標)の考え方	病院職員の接客対応改善を図るため、これまでの調査結果における高い数値を目標値とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	96.0%	96.0%	96.0%	96.0%	96.0%
実績値	97.2%	99.0%	88.9%	95.7%	90.7%

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗 (令和7年度)	B:概ね計画どおり実施	進捗・達成率(%) (令和7年度)	94.5%
主な取組と実績 (令和7年度)	接遇委員会等での継続的な接遇改善、研修等により患者満足度が高い水準を保てるよう努めている。		

◆計画期間(5カ年)での総括(自己分析)

計画期間での 達成率	98.2	計画期間での 達成度評価	2:概ね達成
成 果	接遇委員会等での継続的な接遇改善、研修等により患者満足度は高い水準を保っている。		
課 題	一部苦情等もあり今後も高い接遇意識を保つ必要がある。医師に対する苦情等もあり、病院全体の問題として接遇向上に努める必要がある。		
第3次総合計画 引継事項	接遇改善、研修等により患者満足度は高い水準を保っているが、一部苦情等もあり今後も引き続き高い接遇意識を保つ必要がある。		
第3次総合計画 関連目標指標	No.22 北秋田市民病院満足度		

(令和8年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO.	73	種別	総合計画	担当部署	医療健康課健康推進係
基本戦略/基本理念	基本理念1 健康でしごとにはげむ活力あるまちづくり			施策	1-2 健康づくりの推進
KPI(指標)	1 健診受診率(特定健診)				
KPI(指標)の考え方	「第2期健康秋田21計画」より目標値を設定した。※第3期特定健康診査等実施計画は35.0%(R5)としている				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	40.0%	40.0%	40.0%	40.0%	40.0%
実績値	36.7%	36.7%	38.8%	40.8%	42.2%

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗 (令和7年度)	A: 目標を達成	進捗・達成率(%) (令和7年度)	105.5%
主な取組と実績 (令和7年度)	運動教室などの各事業で健診の周知を行った。健診未受診者に対し6月(3,195通)と9月(2,605通)の年2回、ハガキによる受診勧奨を行った。		

◆計画期間(5カ年)での総括(自己分析)

計画期間での 達成率	97.6%	計画期間での 達成度評価	2: 概ね達成
成 果	健診未受診者への個別勧奨ハガキ送付等の受診率向上事業が奏功した。特に、個別医療機関方式の受診者が増加したとともに、新規受診者の掘り起こしにつながる成果が得られた。		
課 題	受診率の主軸である70代の後期高齢者健診への移行を見据え、更なる新規受診者の掘り起こしが急務である。また、健診の定着を図るため、未受診者や不定期受診の解消に向けた継続的な働きかけが必要である。		
第3次総合計画 引継事項	受診率の算出において、今後は市独自集計から国保データシステムを用いたより正確な算出方法へ移行し施策評価の適正化を図る。		
第3次総合計画 関連目標指標	No.25 特定健康診査受診率		

(令和8年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO.	74	種別	総合計画	担当部署	医療健康課健康推進係
基本戦略/基本理念	基本理念1 健康でしごとにはげむ活力あるまちづくり			施策	1-2 健康づくりの推進
KPI(指標)	2 がん検診受診率(5大がん検診受診率の平均、全対象に対する率)				
KPI(指標)の考え方	「第2期健康秋田21計画」の目標値は50.0%(R5)だが、受診率の算定方式が変更となり、「保険者努力義務支援評価基準」から25.0%とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	平均25.0%	平均25.0%	平均25.0%	平均25.0%	平均25.0%
実績値	平均9.1%	平均8.9%	平均8.7%	平均7.9%	平均7.8%

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗 (令和7年度)	C:取組に努力を要する	進捗・達成率(%) (令和7年度)	31.2%
主な取組と実績 (令和7年度)	検診無料対象者延べ3,819名へ個別勧奨を行い、特に無料対象年齢最終年度の688名へ重点的に再勧奨を実施した。また、職域検診と連携した大腸がん検診により、新たに69名の受診に結びつけた。		

◆計画期間(5カ年)での総括(自己分析)

計画期間での 達成率	33.9%	計画期間での 達成度評価	4:未達
成 果	対策型胃内視鏡の実施、女性のがん検診医療機関拡充、WEB予約の導入等、環境整備を図るも受診数に伸び悩んだが、R7年度は職域検診との連携を強化した結果、大腸・乳がん検診受診率の向上につながった。		
課 題	国や県が把握する全体受診率に対し、市では職域検診やドックの実態把握が困難な点が課題。正確な把握に向けた連携手法の検討が必要。		
第3次総合計画 引継事項	がん検診受診者の大半は職域検診を利用しており、市では実態を正確に把握できない。自治体検診のDX等により全国的な情報把握体制が整うまでは、住民検診のみを指標とすることは適切ではないため、除外する。		
第3次総合計画 関連目標指標	なし		

(令和8年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO.	75	種別	総合計画	担当部署	医療健康課健康推進係
基本戦略/基本理念	基本理念1 健康でしごとにはげむ活力あるまちづくり			施策	1-2 健康づくりの推進
KPI(指標)	3 メタボリックシンドロームとその予備群の割合				
KPI(指標)の考え方	北秋田市健康宣言において10年間(R8)でメタボ予備群を10.0%以下に減らすと宣言していることから10.0%を目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	10.0%	10.0%	10.0%	10.0%	10.0%
実績値	9.5%	10.1%	7.6%	7.5%	8.9%

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗 (令和7年度)	A: 目標を達成	進捗・達成率(%) (令和7年度)	112.4%
主な取組と実績 (令和7年度)	メタボリックシンドロームの改善に向け、健診結果説明会に特定保健指導の初回面接を組み込み来所による集団指導形式で実施。利便性の向上を図り、65名に対して保健指導を実施した。		

◆計画期間(5カ年)での総括(自己分析)

計画期間での 達成率	114.7%	計画期間での 達成度評価	1: 達成
成 果	集団指導の導入により、昨年度未実施層へのアプローチが可能となり、保健指導実施率向上につながった。保健指導実施者の多くの方に体重減少や生活習慣の改善がみられ、特定保健指導率は年々増加傾向にある。		
課 題	毎年特定保健指導の未利用者が一定数いる点が課題である。特に40~50代に辞退されることが多く、多忙な層へも無理なく継続的な指導を実施するための方法が課題である。		
第3次総合計画 引継事項	引き続き、特定保健指導の実施は行うが、次期計画においては健康の入り口である特定健診受診率向上を最重要指標として位置づけ、未受診者対策を強化していく。		
第3次総合計画 関連目標指標	No.25 特定健康診査受診率		

(令和8年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO.	76	種別	総合計画	担当部署	医療健康課健康推進係
基本戦略/基本理念	基本理念1 健康でしごとにはげむ活力あるまちづくり			施策	1-2 健康づくりの推進
KPI(指標)	4 自分のことを健康だと思う市民の割合				
KPI(指標)の考え方	現状より増加することを目標とした。※市民意識調査より				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	70.0%	70.0%	70.0%	70.0%	70.0%
実績値	68.3%	69.4%	67.7%	63.3%	66.0%

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗 (令和7年度)	B: 概ね計画どおり実施	進捗・達成率(%) (令和7年度)	94.3%
主な取組と実績 (令和7年度)	健康意識の向上を目指し、集団健診や各種がん健診を実施した。また、気軽に自身の身体の状態を把握できる「自分測定日」を年12回(延1,404名)通いの場でのフレイル予防教室を65回(延715名)開催し、健康づくりを促進した。		

◆計画期間(5カ年)での総括(自己分析)

計画期間での 達成率	95.6%	計画期間での 達成度評価	2: 概ね達成
成 果	健康意識に関する指標は60%後半で推移している。のびのび運動教室や、自分測定日、男のはつらつ講座は、参加者が増加傾向にあり、ニーズに応じて運動教室の会場を増設するなど、活発な健康づくりを推進した。		
課 題	健康意識は20～30歳代で高い一方、40歳代から低下傾向にある。生活習慣の改善が必要な働き盛り世代への介入が必要である。また、高齢期の健康維持に向け、フレイル予防への関心を高めることが課題である。		
第3次総合計画 引継事項	健康意識の低下が見られる働き盛り世代へのアプローチ強化と、地域全体でのフレイル予防の普及に努める。		
第3次総合計画 関連目標指標	No.24 自分のことを健康だと思う市民の割合		

(令和8年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO.	77	種別	総合計画	担当部署	医療健康課健康推進係
基本戦略/基本理念	基本理念1 健康でしごとにはげむ活力あるまちづくり			施策	1-2 健康づくりの推進
KPI(指標)	5 健康診断を受けている市民の割合				
KPI(指標)の考え方	特定健診、後期高齢者健診を受けている割合として目標値を設定した				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	30.0%	30.0%	30.0%	30.0%	30.0%
実績値	23.0%	23.1%	25.9%	26.6%	26.7%

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗 (令和7年度)	B: 概ね計画どおり実施	進捗・達成率(%) (令和7年度)	89.0%
主な取組と実績 (令和7年度)	全対象者への健診受診券(総数12,126通)を個別通知したことに加え、未受診者勧奨通知(特定R2～、後期高齢R5～)を送付したことにより、総受診者数は特定健診1,767人、後期高齢者健診1,467人となった。		

◆計画期間(5カ年)での総括(自己分析)

計画期間での 達成率	83.5%	計画期間での 達成度評価	2: 概ね達成
成 果	受診率向上対策事業の成果により受診率は特定健診42.2%、後期高齢者健診18.5%と年々着実に上昇している。目標値まであと一步の段階にあり、達成に向けた取り組みを継続する必要がある。		
課 題	特定健診未受診者のうち約4割は定期通院中の方とされているが、この層が健診受診に結びついていない。それに伴い、医療機関の協力体制をさらに強化していく事が今後の課題である。		
第3次総合計画 引継事項	計画の評価指標を「特定健診受診率」に絞り込むことで、働き盛り世代の生活習慣病予防という重点施策をより明確に捉え、具体的で効果的な受診勧奨施策に直結させていく。		
第3次総合計画 関連目標指標	No.25 特定健康診査受診率		

(令和8年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO.	78	種別	総合計画	担当部署	医療健康課健康推進係
基本戦略/基本理念	基本理念1 健康でしごとにはげむ活力あるまちづくり			施策	1-2 健康づくりの推進
KPI(指標)	6 心はればれゲートキーパー養成講座受講者数				
KPI(指標)の考え方	「北秋田市いのち支える自殺対策計画」より、受講者数毎年100人を目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	100人	100人	100人	100人	100人
実績値	99人	33人	20人	16人	54人

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗 (令和7年度)	C: 取組に努力を要する	進捗・達成率(%) (令和7年度)	54.0%
主な取組と実績 (令和7年度)	自殺予防体制の強化のため、県主催のゲートキーパー養成出前講座を鷹巣地区の民生委員児童委員協議会の定例会に合わせて実施。54名が地域における見守りと相談支援体制の知識を学んだ。		

◆計画期間(5カ年)での総括(自己分析)

計画期間での達成率	44.4%	計画期間での達成度評価	4: 未達
成果	ゲートキーパー養成講座は県主催の講座だが、R5年度より実施方法の変更等のため、参加者を伸ばすことが出来なかった。R7年度は民生委員児童委員協議会定例会に合わせて実施し、前年度より参加者数が増えている。		
課題	ゲートキーパー養成講座は、県の方針変更により本市単独での開催が困難となり、受講者数は外部要因に大きく左右される。そのため、市の施策効果を適正に評価する指標としては見直しが必要。		
第3次総合計画 引継事項	受講者数に代わり『だれも相談する人がいないと回答する市民の割合』を指標とする。孤立は自殺の最大要因であり、相談の孤立を防ぐことは自殺対策の核心であるため市民の孤独感の実態を把握し、早期支援へ繋げる。		
第3次総合計画 関連目標指標	No. 26 だれも相談する人がいないと回答する市民の割合		

(令和8年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO.	79	種別	総合計画	担当部署	福祉課地域障がい福祉係
基本戦略/基本理念	基本理念2 お互いが尊敬し支えあう明るいまちづくり			施策	2-2 地域福祉の充実
KPI(指標)	1 支援調整会議における検討者数、自立者数【累計】				
KPI(指標)の考え方	現状値を基準に、各年度の平均増加数(11人)に準じた目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	77人	88人	99人	110人	121人
実績値	59人	81人	102人	105人	110人

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗 (令和7年度)	B: 概ね計画どおり実施	進捗・達成率(%) (令和7年度)	90.9%
主な取組と実績 (令和7年度)	自立支援制度に関わる各種相談受付、就労支援、家計相談支援を実施し、支援調整会議において関係機関と支援方法について意見交換を実施し、概ね順調に推移した。		

◆計画期間(5カ年)での総括(自己分析)

計画期間での達成率	90.9%	計画期間での達成度評価	2: 概ね達成
成果	支援調整会議を定期的で開催し、生活困窮者の抱える課題に沿った支援プラン策定につながった。		
課題	制度周知の強化と就労プラン作成から一般就労へつなげるような取組み。		
第3次総合計画 引継事項	重層的支援体制整備など地域ネットワーク構築の検討。		
第3次総合計画 関連目標指標	なし		

(令和8年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO.	80	種別	総合計画	担当部署	福祉課地域障がい福祉係
基本戦略/基本理念	基本理念2 お互いが尊敬し支えあう明るいまちづくり			施策	2-2 地域福祉の充実
KPI(指標)	2 ひきこもり解消(社会参加、就労)数【累計】				
KPI(指標)の考え方	現状値を基準に、各年度の平均増加数(10人)に準じた目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	67人	77人	87人	97人	107人
実績値	47人	55人	59人	64人	73人

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗 (令和7年度)	C: 取組に努力を要する	進捗・達成率(%) (令和7年度)	68.2%
主な取組と実績 (令和7年度)	北秋田市社会福祉協議会のくらし相談センターにおける相談受付、支援実施等により社会参加、就労することを目指した。		

◆計画期間(5カ年)での総括(自己分析)

計画期間での 達成率	68.2%	計画期間での 達成度評価	3: 一部達成
成 果	ひきこもりは顕在化しないため、なかなか状況把握ができない中、徐々にではあるが訪問支援につながってきた。		
課 題	ひきこもりの顕在化のための方策の検討。		
第3次総合計画 引継事項	ひきこもりに対応できる専門的な機関や当事者の会(きたきた希望の会)等と連携して包括的に支えることが必要。		
第3次総合計画 関連目標指標	なし		

(令和8年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO.	81	種別	総合計画	担当部署	福祉課地域障がい福祉係
基本戦略/基本理念	基本理念2 お互いが尊敬し支えあう明るいまちづくり			施策	2-2 地域福祉の充実
KPI (指標)	3 悩みや不安を相談できる人がいる市民の割合				
KPI (指標) の考え方	市民意識調査において回答割合の高い森吉地区の水準を全市の目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	91.8%	91.8%	91.8%	91.8%	91.8%
実績値	86.1%	89.5%	87.6%	87.3%	87.4%

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗 (令和7年度)	B: 概ね計画どおり実施	進捗・達成率 (%) (令和7年度)	95.2%
主な取組と実績 (令和7年度)	民生児童委員や社会福祉協議会等と連携し、地域住民の抱える課題を解決できるよう取り組んだ。		

◆計画期間(5カ年)での総括(自己分析)

計画期間での 達成率	95.4%	計画期間での 達成度評価	2: 概ね達成
成 果	各方面との取組み連携により、悩みや不安を相談できる人の割合が増加した。		
課 題	相談できる人のいない割合が減少傾向にあるものの依然として10%近くの市民が相談できる人がいない状況にある。		
第3次総合計画 引継事項	民生委員児童委員を中心とし、関連機関と協力し地域で支え合う力をつける。各人が自ら社会や地域とのつながりを持つ。		
第3次総合計画 関連目標指標	なし		

(令和8年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO.	82	種別	総合計画	担当部署	高齢福祉課介護保険係
基本戦略/基本理念	基本理念2 お互いが尊敬し支えあう明るいまちづくり			施策	2-3 高齢者福祉の充実
KPI(指標)	1 要介護・要支援認定を受けていない後期高齢者(75歳以上)の割合				
KPI(指標)の考え方	健康づくりや介護予防への支援強化で現状維持を目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	68.0%	68.0%	68.0%	68.0%	68.0%
実績値	66.3%	66.9%	67.2%	68.1%	68.3%

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗 (令和7年度)	A: 目標を達成	進捗・達成率(%) (令和7年度)	100.4%
主な取組と実績 (令和7年度)	地域包括支援センターによる介護予防教室や出前講座をはじめ、フレイル予防教室等の介護予防事業により、目標値を達成することができた。		

◆計画期間(5カ年)での総括(自己分析)

計画期間での 達成率	99.1%	計画期間での 達成度評価	2: 概ね達成
成 果	高齢化の進展に伴い、介護予防教室への参加が困難になったり、サロン活動を維持することが難しい地域もある。介護予防教室への参加、サロン活動の維持が課題である。		
課 題	引き続き地域包括支援センター等による介護予防事業への取り組みを強化し、介護予防教室への参加、地域のサロン活動の維持に努める。		
第3次総合計画 引継事項	関係機関と連携し、健康づくりや介護予防に資する取組を強化する。		
第3次総合計画 関連目標指標	No. 31 介護予防事業への参加者数		

(令和8年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO.	83	種別	総合計画	担当部署	高齢福祉課介護保険係
基本戦略/基本理念	基本理念2 お互いが尊敬し支えあう明るいまちづくり			施策	2-3 高齢者福祉の充実
KPI(指標)	2 要介護・要支援認定を受けていない前期高齢者(65歳～74歳以下)の割合				
KPI(指標)の考え方	健康づくりや介護予防への支援強化で現状維持を目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	97.0%	97.0%	97.0%	97.0%	97.0%
実績値	96.3%	96.4%	96.1%	96.4%	96.3%

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗 (令和7年度)	B: 概ね計画どおり実施	進捗・達成率(%) (令和7年度)	99.3%
主な取組と実績 (令和7年度)	地域包括支援センターによる介護予防教室や出前講座をはじめ、フレイル予防教室等の介護予防事業により、ほぼ目標値を達成することができた。		

◆計画期間(5カ年)での総括(自己分析)

計画期間での 達成率	99.3%	計画期間での 達成度評価	2: 概ね達成
成 果	高齢化の進展に伴い、介護予防教室への参加が困難になったり、サロン活動を維持することが難しい地域もある。介護予防教室への参加、サロン活動の維持が課題である。		
課 題	引き続き地域包括支援センター等による介護予防事業への取り組みを強化し、介護予防教室への参加、地域のサロン活動の維持に努める。		
第3次総合計画 引継事項	関係機関と連携し、健康づくりや介護予防に資する取組を強化する。		
第3次総合計画 関連目標指標	No. 31 介護予防事業への参加者数		

(令和8年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO.	84	種別	総合計画	担当部署	高齢福祉課高齢福祉係
基本戦略/基本理念	基本理念2 お互いが尊敬し支えあう明るいまちづくり			施策	2-3 高齢者福祉の充実
KPI (指標)	3 悩みや不安を相談できる人がいないと答えた60歳以上の市民の割合				
KPI (指標) の考え方	市民意識調査において回答割合の低い鷹巣地区の水準を全市の目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	5.0%	5.0%	5.0%	5.0%	5.0%
実績値	20.6%	23.1%	20.4%	15.2%	12.5%

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗 (令和7年度)	C: 取組に努力を要する	進捗・達成率 (%) (令和7年度)	40.0%
主な取組と実績 (令和7年度)	高齢者等の総合相談窓口である地域包括支援センターにおいて総合相談支援業務を実施。延べ4,858件の相談があった。		

◆計画期間(5カ年)での総括(自己分析)

計画期間での 達成率	27.2%	計画期間での 達成度評価	4: 未達
成 果	高齢者等の総合相談窓口である地域包括支援センターにおいて総合相談支援業務を実施。センターの認知度は向上しており、来所や電話、訪問による相談件数も増加しているが目標は達成できなかった。		
課 題	センターの認知度は向上しているが、「声なき声」を拾うための訪問(アウトリーチ)による相談対応の充実が課題となっている。		
第3次総合計画 引継事項	地域での高齢者の生活を支える包括ケアシステムの推進に向け、総合相談をはじめ各支援体制の充実を図る。		
第3次総合計画 関連目標指標	No. 32 認知症サポーター養成講座受講者数		

(令和8年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO.	85	種別	総合計画	担当部署	高齢福祉課高齢福祉係
基本戦略/基本理念	基本理念2 お互いが尊敬し支えあう明るいまちづくり			施策	2-3 高齢者福祉の充実
KPI (指標)	4 家族の世話や介護に不安を感じると答えた市民の割合				
KPI (指標) の考え方	市民意識調査において回答割合の低い鷹巣地区の水準を全市の目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	36.5%	36.5%	36.5%	36.5%	36.5%
実績値	39.3%	41.1%	42.0%	39.6%	40.3%

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗 (令和7年度)	B: 概ね計画どおり実施	進捗・達成率 (%) (令和7年度)	90.6%
主な取組と実績 (令和7年度)	高齢者等の総合相談窓口である地域包括支援センターにおいて総合相談支援業務を実施。延べ4,858件の相談のうち家族介護に関する相談は26件あった。		

◆計画期間(5カ年)での総括(自己分析)

計画期間での 達成率	90.2%	計画期間での 達成度評価	2: 概ね達成
成 果	高齢者等の総合相談窓口である地域包括支援センターにおいて総合相談支援業務を実施。センターの認知度は向上しており、来所や電話、訪問による相談件数も増加している。		
課 題	センターの認知度は向上しているが、「声なき声」を拾うための訪問(アウトリーチ)による相談対応の充実が課題となっている。		
第3次総合計画 引継事項	地域での高齢者の生活を支える包括ケアシステムの推進に向け、総合相談をはじめ各支援体制の充実を図る。		
第3次総合計画 関連目標指標	No.32 認知症サポーター養成講座受講者数		

(令和8年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO.	86	種別	総合計画	担当部署	福祉課地域障がい福祉係
基本戦略/基本理念	基本理念2 お互いが尊敬し支えあう明るいまちづくり			施策	2-4 障がい者福祉の充実
KPI(指標)	1 福祉施設入所者数【累計】				
KPI(指標)の考え方	厚生労働省による障害福祉計画に係る成果目標及び活動指標(6.0%)に準じた目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	122人	122人	122人	122人	122人
実績値	130人	127人	130人	124人	124人

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗 (令和7年度)	B: 概ね計画どおり実施	進捗・達成率(%) (令和7年度)	98.4%
主な取組と実績 (令和7年度)	基幹相談支援センター及び関係機関と連携し、地域移行を希望する施設入所者へ相談支援や情報提供を実施した。		

◆計画期間(5カ年)での総括(自己分析)

計画期間での 達成率	98.4%	計画期間での 達成度評価	2: 概ね達成
成 果	地域移行に向けた相談支援体制を継続し、施設入所者数は概ね目標水準を維持できた。		
課 題	障がいの重度化や高齢化により地域移行が困難なケースが増加している。		
第3次総合計画 引継事項	地域生活支援拠点等を活用し、地域移行・地域定着を支える支援体制を強化する。		
第3次総合計画 関連目標指標	No. 33 福祉施設入所者数【累計】		

(令和8年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO.	87	種別	総合計画	担当部署	福祉課地域障がい福祉係
基本戦略/基本理念	基本理念2 お互いが尊敬し支えあう明るいまちづくり			施策	2-4 障がい者福祉の充実
KPI(指標)	2 福祉施設から一般就労への移行者数【累計】				
KPI(指標)の考え方	厚生労働省による障害福祉計画に係る成果目標及び活動指標(1.27倍)に準じた目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	16人	16人	16人	16人	16人
実績値	9人	12人	15人	20人	24人

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗 (令和7年度)	A: 目標を達成	進捗・達成率(%) (令和7年度)	150.0%
主な取組と実績 (令和7年度)	基幹相談支援センターや障害者就業・生活支援センターと連携し、一般就労に向けた相談支援や情報提供を実施した。		

◆計画期間(5カ年)での総括(自己分析)

計画期間での 達成率	150.0%	計画期間での 達成度評価	1: 達成
成 果	関係機関との連携により、一般就労への移行は目標を大きく上回る成果を達成した。		
課 題	市内に就労移行支援事業所がなく、就労支援体制の充実が課題である。		
第3次総合計画 引継事項	就労支援機関との連携を強化し、一般就労への移行及び定着支援を推進する。		
第3次総合計画 関連目標指標	No. 35 福祉施設から一般就労への移行者数【累計】		

(令和8年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO.	88	種別	総合計画	担当部署	福祉課地域障がい福祉係
基本戦略/基本理念	基本理念2 お互いが尊敬し支えあう明るいまちづくり			施策	2-4 障がい者福祉の充実
KPI(指標)	3 福祉施設から就労継続支援A型・B型への移行者数				
KPI(指標)の考え方	目標値は厚生労働省による障害福祉計画に係る成果目標及び活動指標を踏まえ、A型については指標(1.26倍)どおりに、B型については前期基本計画期間内実績の平均(88人)を踏まえた目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	A型5人 B型88人	A型5人 B型88人	A型5人 B型88人	A型5人 B型88人	A型5人 B型88人
実績値	A型5人 B型101人	A型3人 B型84人	A型3人 B型99人	A型2人 B型105人	A型2人 B型106人

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗 (令和7年度)	A: 目標を達成	進捗・達成率(%) (令和7年度)	116.1%
主な取組と実績 (令和7年度)	基幹相談支援センター等と連携し、利用希望者への相談支援や情報提供を行い、就労継続支援につなげた。		

◆計画期間(5カ年)での総括(自己分析)

計画期間での 達成率	109.7%	計画期間での 達成度評価	1: 達成
成 果	利用者の状況に応じた支援により、就労継続支援B型を中心に目標を上回る成果を得た。		
課 題	障がい特性や就労環境に応じた継続的な支援と就労意欲の維持が必要である。		
第3次総合計画 引継事項	就労継続支援事業所等と連携し、一人ひとりに応じた就労支援を充実する。		
第3次総合計画 関連目標指標	なし		

(令和8年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO.	89	種別	総合計画	担当部署	福祉課地域障がい福祉係
基本戦略/基本理念	基本理念2 お互いが尊敬し支えあう明るいまちづくり			施策	2-4 障がい者福祉の充実
KPI(指標)	4 就労移行支援事業の利用者数【累計】				
KPI(指標)の考え方	厚生労働省による障害福祉計画に係る成果目標及び活動指標(現状の利用者数(2人)を確保)に準じた目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	6人	8人	10人	12人	14人
実績値	3人	6人	9人	13人	15人

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗 (令和7年度)	A: 目標を達成	進捗・達成率(%) (令和7年度)	107.1%
主な取組と実績 (令和7年度)	市内に就労移行支援事業所がない中、関係機関と連携し、市外事業所利用に係る相談支援や情報提供を実施した。		

◆計画期間(5カ年)での総括(自己分析)

計画期間での 達成率	107.1%	計画期間での 達成度評価	1: 達成
成 果	関係機関との連携により相談支援を継続し、利用希望者への支援体制を維持した。		
課 題	市内に事業所がなく、移動負担等により利用者の確保が困難である。		
第3次総合計画 引継事項	広域的な連携による就労移行支援体制の確保と利用促進に取り組む。		
第3次総合計画 関連目標指標	なし		

(令和8年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO.	90	種別	総合計画	担当部署	福祉課地域障がい福祉係
基本戦略/基本理念	基本理念2 お互いが尊敬し支えあう明るいまちづくり			施策	2-4 障がい者福祉の充実
KPI (指標)	5 公共施設バリアフリー率【累計】				
KPI (指標) の考え方	バリアフリー基準（最低6項目）に1項目で該当する可能性のある施設数（6）を目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	24.5%	25.7%	26.9%	28.1%	29.3%
実績値	24.7%	24.7%	23.4%	23.7%	24.0%

◆担当部署による検証（自己分析）

取組の進捗 (令和7年度)	B：概ね計画どおり実施	進捗・達成率（%） (令和7年度)	81.9%
主な取組と実績 (令和7年度)	公共施設のバリアフリー化については、施設の廃止があり、達成率が向上した。		

◆計画期間（5カ年）での総括（自己分析）

計画期間での 達成率	81.9%	計画期間での 達成度評価	2：概ね達成
成 果	施設の新築や改修によりバリアフリー化が促進された。		
課 題	老朽化している施設やスペース等の状況により対応できない施設への対応。		
第3次総合計画 引継事項	障がいの有無に関わらず、すべての人が使いやすい施設の在り方を検討する。		
第3次総合計画 関連目標指標	なし		

(令和8年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO.	91	種別	総合計画	担当部署	文化スポーツ課世界遺産係
基本戦略/基本理念	基本理念3 命のたいせつさを学び文化をはぐくむ豊かなまちづくり			施策	3-4 芸術・文化の継承と振興
KPI(指標)	1 伊勢堂岱遺跡を見学したことがある市民の割合				
KPI(指標)の考え方	世界遺産としての価値を知ってもらうために、前期同様50.0%を目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%
実績値	31.9%	39.8%	39.4%	39.6%	38.7%

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗 (令和7年度)	B:概ね計画どおり実施	進捗・達成率(%) (令和7年度)	77.4%
主な取組と実績 (令和7年度)	遺跡の公開を4月から10月まで行い、来場者数は10,517人となった。		

◆計画期間(5カ年)での総括(自己分析)

計画期間での達成率	75.8%	計画期間での達成度評価	3:一部達成
成果	縄文まつりなどのイベント実施により、市民が遺跡に親しむ機会が拡充し、割合は着実に増加した。		
課題	令和4年度以降、見学経験者の割合は横ばいで推移しており、新たな来訪層の掘り起こしや周知方法の見直しが課題である。		
第3次総合計画引継事項	見学経験がある市民の割合は着実に定着してきており、取り組みを継続し、遺跡への関心の維持・向上を図る。		
第3次総合計画関連目標指標	No.48 伊勢堂岱遺跡を見学したことの市民の割合		

(令和8年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO.	92	種別	総合計画	担当部署	文化スポーツ課世界遺産係
基本戦略/基本理念	基本理念3 命のたいせつさを学び文化をはぐくむ豊かなまちづくり			施策	3-4 芸術・文化の継承と振興
KPI(指標)	2 伊勢堂岱遺跡に関するイベントに参加したことの市民の割合				
KPI(指標)の考え方	世界遺産を目指す伊勢堂岱遺跡に関して、市民の意識醸成を図る意味で現状値の倍以上の5.0%を目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	5.0%	5.0%	5.0%	5.0%	5.0%
実績値	2.5%	0.3%	2.8%	2.4%	2.1%

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗 (令和7年度)	C: 取組に努力を要する	進捗・達成率(%) (令和7年度)	42.0%
主な取組と実績 (令和7年度)	イベントを7回開催し、参加者は延べ1,650人となった。		

◆計画期間(5カ年)での総括(自己分析)

計画期間での達成率	40.4%	計画期間での達成度評価	4: 未達
成果	縄文まつりなどのイベントを継続的に実施し、市民が伊勢堂岱遺跡に関わる機会を提供した。		
課題	イベント参加経験者の割合は達成率40%と低調にとどまっており、参加を促す効果的な周知や誘導策が課題となっている		
第3次総合計画引継事項	交流人口の拡大を見据え、第3次総合計画では市外からの来訪者を測る「ツアー参加者数」を新たな指標として引き継ぐ。		
第3次総合計画関連目標指標	No.49 伊勢堂岱遺跡へのツアー参加者人数		

(令和8年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO.	93	種別	総合計画	担当部署	文化スポーツ課世界遺産係
基本戦略/基本理念	基本理念3 命のたいせつさを学び文化をはぐくむ豊かなまちづくり			施策	3-4 芸術・文化の継承と振興
KPI(指標)	3 伊勢堂岱遺跡のボランティアガイドを始めた人数【累計】				
KPI(指標)の考え方	新たにボランティアを始める人を年1人ずつ増やすことを目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	1人	2人	3人	4人	5人
実績値	0人	1人	3人	4人	6人

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗 (令和7年度)	A: 目標を達成	進捗・達成率(%) (令和7年度)	120.0%
主な取組と実績 (令和7年度)	令和7年度は2名の加入があり、累計で6名となった。		

◆計画期間(5カ年)での総括(自己分析)

計画期間での 達成率	120.0%	計画期間での 達成度評価	1: 達成
成 果	ボランティアガイドの募集・養成が順調に進み、累計開始者数は達成率120%を超えて目標を達成した。		
課 題	人数の確保が進む一方、ガイドの質の維持・向上や実際に活動する人材の定着が今後の課題である。		
第3次総合計画 引継事項	ガイドの育成が一定の成果を上げたため第3次総合計画には引き継がず、今後は活動の継続・質の向上を重視していく。		
第3次総合計画 関連目標指標	なし		

(令和8年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO.	94	種別	総合計画	担当部署	文化スポーツ課文化振興係
基本戦略/基本理念	基本理念3 命のたいせつさを学び文化をはぐくむ豊かなまちづくり			施策	3-4 芸術・文化の継承と振興
KPI(指標)	4 芸術や文化等のグループ活動に参加したことがある市民の割合				
KPI(指標)の考え方	芸術や文化に触れることで、市民の幸福度が向上し心豊かに暮らすことにつながるよう、8.0%を目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	8.0%	8.0%	8.0%	8.0%	8.0%
実績値	4.2%	4.1%	4.6%	5.3%	3.3%

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗 (令和7年度)	C: 取組に努力を要する	進捗・達成率(%) (令和7年度)	41.3%
主な取組と実績 (令和7年度)	市内の文化芸術振興に資する各団体に対し、補助金を交付し活動支援を行った。(5団体)		

◆計画期間(5カ年)での総括(自己分析)

計画期間での達成率	53.8%	計画期間での達成度評価	3: 一部達成
成果	文化芸術団体の発表の場となる文化祭等のイベントが毎年開催されており、市民が芸術や文化等の活動へ参加する機会につながるなど、一定の成果が得られた。		
課題	団体の担い手不足により現体制での運営が難しい。また、文化芸術の多様化に対応できていないケースや、オンライン活動の増加などにより、今後はグループ活動の減少が予想される。		
第3次総合計画 引継事項	既存団体の活動維持のため引き続き補助金を交付する。なお、第3次では今後の成長分野として推進するため、指標をグループ活動への参加状況から浜辺の歌音楽館やイベントに行ったことのある市民の割合へと見直す。		
第3次総合計画 関連目標指標	No.52 浜辺の歌音楽館や浜辺の歌音楽館のイベントに行ったことのある市民の割合		

(令和8年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO.	95	種別	総合計画	担当部署	文化スポーツ課世界遺産係
基本戦略/基本理念	基本理念3 命のたいせつさを学び文化をはぐくむ豊かなまちづくり			施策	3-4 芸術・文化の継承と振興
KPI(指標)	5 市内にある文化財を5つ以上、知っている市民の割合				
KPI(指標)の考え方	地域にある文化財を知ることによってその価値を知るきっかけとなり、地域の宝として継承することにつながるよう、概ね2世帯1人を目安の6,998人とし、全人口の概ね20.0%を目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	20.0%	55.0%	57.5%	60.0%	62.5%
実績値	52.9%	56.3%	56.2%	51.1%	52.7%

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗 (令和7年度)	B: 概ね計画どおり実施	進捗・達成率(%) (令和7年度)	84.3%
主な取組と実績 (令和7年度)	学校教育と連携し、市民の理解促進を図った。		

◆計画期間(5カ年)での総括(自己分析)

計画期間での 達成率	105.6%	計画期間での 達成度評価	1: 達成
成 果	パンフレットやイベント等を活用して市内文化財の情報発信に努め、市民の関心を高めた。		
課 題	若年層を中心に認知度に伸び悩みが見られ、世代を問わず文化財を知る機会の拡充が求められる。		
第3次総合計画 引継事項	文化財に触れる機会の拡充を的確に把握するため、第3次総合計画では指標を「有形文化財の公開数」に変更する。		
第3次総合計画 関連目標指標	No.50 有形文化財(「金家住宅」・「旧長岐家住宅」等)を公開した回数		

(令和8年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO.	96	種別	総合計画	担当部署	文化スポーツ課世界遺産係
基本戦略/基本理念	基本理念3 命のたいせつさを学び文化をはぐくむ豊かなまちづくり			施策	3-4 芸術・文化の継承と振興
KPI(指標)	6 祭りや伝統芸能等の地域行事に参加したことがある市民の割合				
KPI(指標)の考え方	祭りや伝統芸能等の地域行事に参加することで、祭りや伝統芸能等の保存継承につながるよう、35.0%を目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	35.0%	35.0%	35.0%	35.0%	35.0%
実績値	16.2%	18.3%	25.8%	23.7%	23.1%

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗 (令和7年度)	B:概ね計画どおり実施	進捗・達成率(%) (令和7年度)	66.0%
主な取組と実績 (令和7年度)	民俗芸能の周知を行った。		

◆計画期間(5カ年)での総括(自己分析)

計画期間での 達成率	61.2%	計画期間での 達成度評価	3:一部達成
成 果	地域の祭りや伝統芸能の開催を支援し、市民が地域行事に参加する機会の確保に取り組んだ。		
課 題	担い手不足や参加者の固定化を踏まえた裾野の拡大が課題である。		
第3次総合計画 引継事項	コロナ禍以降、民俗芸能保存会自体の存続が危ぶまれている。		
第3次総合計画 関連目標指標	No.51 市内の伝統芸能等の活動を行っている団体数		

(令和8年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO.	97	種別	総合計画	担当部署	文化スポーツ課文化振興係
基本戦略/基本理念	基本理念3 命のたいせつさを学び文化をはぐくむ豊かなまちづくり			施策	3-4 芸術・文化の継承と振興
KPI(指標)	7 市内に限らず、年1回以上芸術文化を鑑賞した市民の割合				
KPI(指標)の考え方	芸術文化を鑑賞することで、市民の幸福度が向上し心豊かに暮らすこと、また鑑賞の場の提供の在り方等の評価につながるよう、概ね2世帯1人を目安の6,998人とし、全人口の概ね20.0%を目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	20.0%	38.0%	40.0%	42.0%	44.0%
実績値	36.0%	44.0%	53.6%	54.4%	52.2%

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗 (令和7年度)	A: 目標を達成	進捗・達成率(%) (令和7年度)	118.6%
主な取組と実績 (令和7年度)	市内の鑑賞機会として、文化芸術の振興を図るために自主事業公演(5公演)や、各種コンサート(10回)を開催した。		

◆計画期間(5カ年)での総括(自己分析)

計画期間での達成率	130.5%	計画期間での達成度評価	1: 達成
成果	自主事業公演や各種コンサートの開催し、市民が芸術文化を鑑賞する機会の創出につなげたことにより、市民の幸福度の向上の一助となった。		
課題	文化芸術を鑑賞することに、多くの市民が関心をもっており、一定の成果があった。今後は、地域の文化振興につながる仕組みが必要と考える。		
第3次総合計画 引継事項	引き続き、各種公演の誘致と施設運営・改修を計画的に行う。これに加え、低迷する来館者数の改善を図るため、第3次では指標を浜辺の歌音楽館やイベントに行ったことのある市民の割合へと見直す。		
第3次総合計画 関連目標指標	No. 52 浜辺の歌音楽館や浜辺の歌音楽館のイベントに行ったことのある市民の割合		

(令和8年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO.	98	種別	総合計画	担当部署	文化スポーツ課スポーツ振興係
基本戦略/基本理念	基本理念3 命のたいせつさを学び文化をはぐくむ豊かなまちづくり			施策	3-5 スポーツの振興
KPI(指標)	1 運動・スポーツに対する満足度				
KPI(指標)の考え方	少子化・人口減少が見込まれる中だが、市民意識調査における現状値以上を目標値とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	70.0%	70.0%	70.0%	70.0%	70.0%
実績値	57.0%	59.1%	58.2%	58.0%	51.3%

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗 (令和7年度)	C: 取組に努力を要する	進捗・達成率(%) (令和7年度)	73.3%
主な取組と実績 (令和7年度)	既存スポーツ施設の維持管理、用器具等の整備行い、スポーツ実施環境の維持と充実を図った。		

◆計画期間(5カ年)での総括(自己分析)

計画期間での達成率	81.0%	計画期間での達成度評価	2: 概ね達成
成果	定期的な施設のメンテナンスを行い、スポーツ環境の充実を図ってきたことで、運動スポーツの満足度向上につながった。		
課題	意識調査では満足していない理由のうち、ハード以外では施設の設備が不十分8.9%、スポーツ情報の入手が困難9.4%という数値であったので、今後の設備の充実と情報提供の拡充が課題。		
第3次総合計画 引継事項	引き続き施設の維持管理に努め、スポーツ環境の充実を図るとともに、老朽化が進むスポーツ施設のあり方や今後の整備計画について検討を行い、更なる満足度の充実を図る。		
第3次総合計画 関連目標指標	No.47 スポーツの満足度		

(令和8年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO.	99	種別	総合計画	担当部署	文化スポーツ課スポーツ振興係
基本戦略/基本理念	基本理念3 命のたいせつさを学び文化をはぐくむ豊かなまちづくり			施策	3-5 スポーツの振興
KPI(指標)	2 週1回以上運動・スポーツをする市民の割合				
KPI(指標)の考え方	県の目標値は週1回以上65.0%となっているが、市民意識調査における本市の特性を踏まえ、50.0%を目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%
実績値	39.6%	42.5%	38.3%	41.2%	39.8%

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗 (令和7年度)	C: 取組に努力を要する	進捗・達成率(%) (令和7年度)	79.6%
主な取組と実績 (令和7年度)	市民スポーツレクリエーション大会などの市民参加型イベントや出前講座を11回開講し、スポーツをする機会の創出を図った。		

◆計画期間(5カ年)での総括(自己分析)

計画期間での達成率	80.6%	計画期間での達成度評価	2: 概ね達成
成果	スポーツをする機会の拡大に努めてきたことで、一定程度の運動する人の維持と増加につながった。		
課題	満足できない理由のトップに、個人でスポーツをする時間がない状態。その中でもできるスポーツや運動の普及が課題。		
第3次総合計画 引継事項	時間がなくてもできるスポーツや場所、機会の提供の仕方を考える必要がある。		
第3次総合計画 関連目標指標	No.44 週1回以上運動をする人の割合		

(令和8年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO.	100	種別	総合計画	担当部署	文化スポーツ課スポーツ振興係
基本戦略/基本理念	基本理念3 命のたいせつさを学び文化をはぐくむ豊かなまちづくり			施策	3-5 スポーツの振興
KPI(指標)	3 スポーツ・文化活動等に係る合宿誘致数【単年】				
KPI(指標)の考え方	補助事業の活用を広く周知することで、現状値以上を目標値とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	延べ500名5団体	延べ500名5団体	延べ500名5団体	延べ500名5団体	延べ500名5団体
実績値	0名0団体	0名0団体	延べ377人4団体	延べ340人3団体	延べ357名3団体

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗 (令和7年度)	C: 取組に努力を要する	進捗・達成率(%) (令和7年度)	71.4%
主な取組と実績 (令和7年度)	合宿実施の実績のある団体に対し、勧誘を行ったことで前年度に続き3団体の合宿が行われた。		

◆計画期間(5カ年)での総括(自己分析)

計画期間での達成率	43.0%	計画期間での達成度評価	4: 未達
成果	コロナ化での合宿誘致のキャンセルを除けば、定期的な合宿が行われており、一定のスポーツ実施環境としての評価は得られていると思われる。		
課題	人脈を活用するなど更なる誘致先の拡大を図りたいが施設環境の拡充も必要になると思われる。		
第3次総合計画 引継事項	現在合宿に来ている団体からのニーズ調査を行うなどし、必要とされている部分について拡充を図る必要がある。		
第3次総合計画 関連目標指標	No. 45 合宿補助金の交付件数		

(令和8年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO.	101	種別	総合計画	担当部署	生活環境課環境推進係
基本戦略/基本理念	基本理念4 自然を愛し環境をととのえる美しいまちづくり			施策	4-1 ごみの減量化推進と適正な処理
KPI(指標)	1 家庭ごみ1日1人あたりの排出量				
KPI(指標)の考え方	平成26年度と令和元年度の家庭ごみ総排出量を比較し、その増減率から目標値を設定した				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	642.8g/人・日	642.8g/人・日	642.8g/人・日	642.8g/人・日	642.8g/人・日
実績値	689g/人・日	705.7g/人・日	671.1g/人・日	666.7g/人・日	660.6g/人・日

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗 (令和7年度)	B: 概ね計画どおり実施	進捗・達成率(%) (令和7年度)	97.3%
主な取組と実績 (令和7年度)	市広報やホームページ・ごみ分別アプリ・出前講座等により、ごみ減量の啓発を実施した。また、古着やこでん回収を実施し、再生利用や資源化を推進した。		

◆計画期間(5カ年)での総括(自己分析)

計画期間での 達成率	94.7%	計画期間での 達成度評価	2: 概ね達成
成 果	空き家の増加により、片付けごみが増加傾向の中、目標に届かなかったものの、ごみの排出量を抑制することができた。		
課 題	ごみの減量については、水切りの徹底やリユース・リフューズ行動により、さらに減量できる余地があるため、啓発強化により市民の意識を変えていく必要がある。		
第3次総合計画 引継事項	ごみの減量と分別については、市民に対して引き続き丁寧に説明を行う。また、リサイクルの内容や状況を伝え、現状を知ってもらう。		
第3次総合計画 関連目標指標	No.66 1日1人あたりのごみの排出量		

(令和8年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO.	102	種別	総合計画	担当部署	生活環境課環境推進係
基本戦略/基本理念	基本理念4 自然を愛し環境をととのえる美しいまちづくり			施策	4-1 ごみの減量化推進と適正な処理
KPI(指標)	2 総資源化率(リサイクル率)				
KPI(指標)の考え方	一般廃棄物処理基本計画に掲げた目標値とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	15.4%	15.7%	18.6%	21.5%	24.6%
実績値	15.1%	15.8%	15.1%	14.5%	13.9%

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗 (令和7年度)	C: 取組に努力を要する	進捗・達成率(%) (令和7年度)	56.5%
主な取組と実績 (令和7年度)	市広報やホームページ・ごみ分別アプリ・出前講座等により、ごみ減量の啓発を実施した。また、古着やこでん回収を年2回実施し、再生利用や資源化を推進した。		

◆計画期間(5カ年)での総括(自己分析)

計画期間での達成率	77.7%	計画期間での達成度評価	3: 一部達成
成果	ごみの総排出量は抑制することができたが、ペーパーレス化や民間の資源回収が進み、市の資源回収量が低下したため、目標を達成できなかった。		
課題	可燃ごみの50%が紙ごみであるため、リサイクルの余地があることから、分別の徹底が必要。		
第3次総合計画 引継事項	ごみの減量と分別については、市民へは引き続き丁寧に説明を行う。一方、事業所への指導についてはこれまで以上に強化する必要がある。		
第3次総合計画 関連目標指標	No. 67 総資源化率		

(令和8年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO.	103	種別	総合計画	担当部署	生活環境課環境推進係
基本戦略/基本理念	基本理念4 自然を愛し環境をととのえる美しいまちづくり			施策	4-1 ごみの減量化推進と適正な処理
KPI(指標)	3 不法投棄件数				
KPI(指標)の考え方	ここ数年のうち最も少なかった件数を目標値とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	40件	40件	40件	40件	40件
実績値	112件	115件	95件	68件	54件

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗 (令和7年度)	B: 概ね計画どおり実施	進捗・達成率(%) (令和7年度)	74.1%
主な取組と実績 (令和7年度)	不法投棄監視員や自治会からの報告により看板等を設置したほか、投棄物の即時回収を行い、新たな不法投棄の発生を抑制した。ここ数年は、空き缶やペットボトルのようなポイ捨てが多く、大型の投棄物はほとんどなくなった。		

◆計画期間(5カ年)での総括(自己分析)

計画期間での達成率	45.0%	計画期間での達成度評価	4: 未達
成果	不法投棄物を減少させることができた。		
課題	熊の出没により、パトロールや投棄物の回収にも危険が伴う状況。また、不法投棄監視員の担い手確保も課題。		
第3次総合計画 引継事項	不法投棄監視員の人材確保が難しくなっていることから、制度の見直しを含め、監視体制の再編成を検討する必要がある。また、監視カメラ設置による監視体制強化も推進していく必要がある。		
第3次総合計画 関連目標指標	No. 68 不法投棄件数		

(令和8年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO.	104	種別	総合計画	担当部署	生活環境課環境推進係
基本戦略/基本理念	基本理念4 自然を愛し環境をととのえる美しいまちづくり			施策	4-1 ごみの減量化推進と適正な処理
KPI(指標)	4 クリーンアップ活動に参加している延べ人数の割合				
KPI(指標)の考え方	ここ数年で最も多い参加人数が現状維持となるよう目標を設定した				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	32.7%	32.7%	32.7%	32.7%	32.7%
実績値	27.6%	30.3%	26.8%	30.8%	15.1%

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗 (令和7年度)	E:その他	進捗・達成率(%) (令和7年度)	46.2%
主な取組と実績 (令和7年度)	自治会等への参加を呼びかけ実施。例年、春と秋に実施しているが、秋は熊の出没により参加者の安全確保が難しいこともあり中止とした。		

◆計画期間(5カ年)での総括(自己分析)

計画期間での 達成率	79.9%	計画期間での 達成度評価	3:一部達成
成果	クリーンアップ活動については、自治会を中心に協力体制が確立されており、高齢化が進む状況の中、目標を概ね達成することができた。		
課題	若い世代の参加が少ないため、参加してもらえような取組が必要。		
第3次総合計画 引継事項	熊の出没が相次いでいる状況での参加者の安全確保(実施時期等の再検討)。若者の参加率向上のための施策実施。		
第3次総合計画 関連目標指標	No.68 不法投棄件数		

(令和8年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO.	105	種別	総合計画	担当部署	生活環境課環境推進係
基本戦略/基本理念	基本理念4 自然を愛し環境をととのえる美しいまちづくり			施策	4-2 地球温暖化対策の推進
KPI(指標)	1 地球温暖化防止につながる取組をしている市民の割合(冷暖房の温度設定の調整)				
KPI(指標)の考え方	市民意識調査において最も意識の高かった節電・節水の水準に達することを目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	60.9%	60.9%	60.9%	60.9%	60.9%
実績値	52.2%	55.0%	66.6%	46.8%	60.8%

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗 (令和7年度)	B: 概ね計画どおり実施	進捗・達成率(%) (令和7年度)	99.8%
主な取組と実績 (令和7年度)	温暖化防止策に繋がる脱炭素を意識した生活スタイルになるような啓発活動を産業祭で実施した。また、脱炭素と豊かな暮らしの両方を実現するための設備導入等に対する支援を実施。		

◆計画期間(5カ年)での総括(自己分析)

計画期間での達成率	92.4%	計画期間での達成度評価	2: 概ね達成
成果	市民の6割が実践している状況まで引き上げることができた。		
課題	近年の気候変動により、快適性との両立が大切となってきた。夏は熱中症対策、冬は低温による健康リスクとのバランスが必要。		
第3次総合計画 引継事項	快適性との両立を目指すための行動変容の啓発と支援策の継続		
第3次総合計画 関連目標指標	No. 69 節電・節水に取り組んでいる人の割合		

(令和8年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO.	106	種別	総合計画	担当部署	生活環境課環境推進係
基本戦略/基本理念	基本理念4 自然を愛し環境をととのえる美しいまちづくり			施策	4-2 地球温暖化対策の推進
KPI(指標)	2 公共施設(市直営施設)におけるCO2排出量				
KPI(指標)の考え方	北秋田市地球温暖化防止実行計画の目標に参照し、年間1.0%削減を目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	12,796t-CO2	12,664t-CO2	12,532t-CO2	12,400t-CO2	12,268t-CO2
実績値	10,895t-CO2	11,039t-CO2	11,578t-CO2	11,248t-CO2	11,501t-CO2

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗 (令和7年度)	A: 目標を達成	進捗・達成率(%) (令和7年度)	106.7%
主な取組と実績 (令和7年度)	北秋田市地球温暖化防止実行計画に基づき、公共施設の省エネ改修を実施したほか、公共施設における節電の徹底や冷暖房の適切な温度管理等を図った。		

◆計画期間(5カ年)での総括(自己分析)

計画期間での達成率	111.4%	計画期間での達成度評価	1: 達成
成果	公共施設における節電や冷暖房の適切な温度管理のほか、公共施設の空調や照明等の省エネ改修の実施と公共施設管理等総合計画に基づく統廃合により、目標を達成することができた。		
課題	近年の気候変動により、快適性との両立が大切となってきている。夏は熱中症対策、冬は低温による健康リスクとのバランスが必要。		
第3次総合計画 引継事項	脱炭素を実現するために、市が率先実行者として、引き続き公共施設のCO2削減を推進すること。		
第3次総合計画 関連目標指標	なし		

(令和8年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO.	107	種別	総合計画	担当部署	建設課工務係
基本戦略/基本理念	基本理念4 自然を愛し環境をととのえる美しいまちづくり			施策	4-3 道路網の充実
KPI(指標)	1 市道の改良率【累計】				
KPI(指標)の考え方	過去数年の実績傾向が令和7年度まで続くと考え、目標を設定した ※全道路延長に対する改良済道路総延長の比率				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	78.8%	79.1%	79.4%	79.7%	80.0%
実績値	78.2%	78.2%	78.3%	78.3%	78.3%

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗 (令和7年度)	D:取組の改善が必要	進捗・達成率(%) (令和7年度)	97.9%
主な取組と実績 (令和7年度)	道路改良は、劣化した吹付法面の対策工事1件及び舗装改良工事を2件実施した。		

◆計画期間(5カ年)での総括(自己分析)

計画期間での 達成率	97.9%	計画期間での 達成度評価	2:概ね達成
成 果	計画期間における未改良路線の改良率は目標を達成できなかった。既存道路施設の舗装改良や法面对策などの工事を実施し、安心、安全な通行の確保が図られた。		
課 題	道路の規格改良も重要であるが、計画的な修繕による既存施設の機能回復も重要であり、道路の利用状況や交通量の多少による計画策定が必要である。		
第3次総合計画 引継事項	社会情勢の変化を踏まえ、整備路線の再選定を行い、交通量の多い路線など重要度の高い路線を優先的に整備する方針とする。		
第3次総合計画 関連目標指標	なし		

(令和8年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO.	108	種別	総合計画	担当部署	建設課工務係
基本戦略/基本理念	基本理念4 自然を愛し環境をととのえる美しいまちづくり			施策	4-3 道路網の充実
KPI(指標)	2 市道の舗装率【累計】				
KPI(指標)の考え方	過去数年の実績傾向が令和7年度まで続くと考え、目標を設定した ※全道路延長に対する舗装済道路総延長の比率				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	72.7%	73.3%	73.8%	74.4%	75.0%
実績値	71.6%	71.7%	71.1%	71.7%	71.7%

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗 (令和7年度)	D: 取組の改善が必要	進捗・達成率(%) (令和7年度)	95.6%
主な取組と実績 (令和7年度)	舗装の補修工事を優先実施しており、舗装の新設工事は実施できていない。		

◆計画期間(5カ年)での総括(自己分析)

計画期間での 達成率	95.6%	計画期間での 達成度評価	2: 概ね達成
成 果	未舗装路線の舗装工事の実施がなく、舗装率は目標を達成できなかった。舗装済路線の補修工事による機能回復を行い路面の平坦性や快適な通行が確保された。		
課 題	舗装の新設については、利用頻度や交通量等により慎重に検討し、既存舗装路の維持管理に要する費用も考慮しながら進める必要がある。		
第3次総合計画 引継事項	舗装新設の必要性を整理し、未舗装による維持管理が非効率な場合や緊急車両の通行に支障がある場合など現状の課題の解消を図る。		
第3次総合計画 関連目標指標	なし		

(令和8年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO.	109	種別	総合計画	担当部署	建設課工務係
基本戦略/基本理念	基本理念4 自然を愛し環境をととのえる美しいまちづくり			施策	4-3 道路網の充実
KPI(指標)	3 緊急度が高い道路の舗装改良率【累計】				
KPI(指標)の考え方	過去数年の実績傾向が令和7年度まで続くと考え、目標を設定した ※平成25年度に実施した路面性状調査における緊急度が高い道路延長に対する改良率				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	77.9%	79.8%	81.7%	83.6%	85.5%
実績値	75.1%	75.7%	77.1%	79.3%	81.3%

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗 (令和7年度)	B: 概ね計画どおり実施	進捗・達成率(%) (令和7年度)	95.1%
主な取組と実績 (令和7年度)	経年劣化による損傷の著しい箇所の舗装補修1路線を実施した。		

◆計画期間(5カ年)での総括(自己分析)

計画期間での 達成率	95.1%	計画期間での 達成度評価	2: 概ね達成
成 果	計画期間において微増ではあるが舗装機能の回復と快適な通行の確保が図られた。		
課 題	国の交付金を活用し、舗装補修工事を実施しているが、国費の配分が少なく計画的な舗装補修が実施できていない。		
第3次総合計画 引継事項	経年劣化による舗装の維持管理及び更新費用は、年々増加していくものと推察され、損傷の程度が低いうちに対応する必要がある。		
第3次総合計画 関連目標指標	No. 59 主要路線の舗装補修延長【累計】		

(令和8年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO.	110	種別	総合計画	担当部署	建設課工務係
基本戦略/基本理念	基本理念4 自然を愛し環境をととのえる美しいまちづくり			施策	4-3 道路網の充実
KPI(指標)	4 早期措置段階の橋梁補修数【累計】				
KPI(指標)の考え方	過去数年の実績傾向が令和7年度まで続くと考え、目標を設定した ※北秋田市橋梁長寿命化修繕計画に基づき健全度「Ⅲ」：早期措置段階・「Ⅳ」：緊急措置段階・「跨線橋・跨道橋」の早期と判定された橋梁104橋				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	9橋	17橋	24橋	33橋	37橋
実績値	9橋	13橋	16橋	22橋	24橋

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗 (令和7年度)	C：取組に努力を要する	進捗・達成率(%) (令和7年度)	64.9%
主な取組と実績 (令和7年度)	計画に対する橋梁補修実績は2橋である。		

◆計画期間(5カ年)での総括(自己分析)

計画期間での 達成率	64.9%	計画期間での 達成度評価	3：一部達成
成 果	計画に対する実績は目標を達成できていないが、低濃度PCBの処分期限に対応した塗替塗装や措置が必要な橋梁の計画の前倒しするなど橋梁補修工事の実施により安全な通行の確保と橋梁機能の維持が図られた。		
課 題	橋梁長寿命化修繕計画に基づき、橋梁の延命化対策を実施しているが、措置が必要な橋梁が多く事業費も多大であることから継続した財源の確保が必要である。		
第3次総合計画 引継事項	早期措置の橋梁が多く、劣化の進行も考えられることから、定期点検結果に基づき優先順位を入れ替えながら引き続き橋梁補修工事を推進する。		
第3次総合計画 関連目標指標	No.60 早期措置段階の橋梁補修数【累計】		

(令和8年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO.	111	種別	総合計画	担当部署	上下水道課下水道係
基本戦略/基本理念	基本理念4 自然を愛し環境をととのえる美しいまちづくり			施策	4-6 下水道等の整備
KPI(指標)	1 水洗化率【累計】				
KPI(指標)の考え方	県及び市の「生活排水処理整備構想」の見込みから目標値を設定した				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	87.1%	88.8%	90.4%	92.0%	93.7%
実績値	80.3%	80.7%	81.0%	81.5%	80.0%

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗 (令和7年度)	B: 概ね計画どおり実施	進捗・達成率(%) (令和7年度)	85.4%
主な取組と実績 (令和7年度)	公共下水道事業については、綴子下町、綴子上町及び綴子大堤地区において面整備工事を実施するとともに、一部供用を開始したことにより、下水道への接続可能人口281人の増加を図った。浄化槽設置整備事業については、国の補助基準額に市独自の上乗せ補助を加えた補助制度を継続して実施し、10基32人の実績となった。		

◆計画期間(5カ年)での総括(自己分析)

計画期間での達成率	85.4%	計画期間での達成度評価	2: 概ね達成
成果	公共下水道については、面整備工事の実施により接続可能人口の増加が図られた。また、浄化槽設置補助については、令和5年度の補助基準額増額に加え、市独自の上乗せの実施により水洗化人口の増加につながった。		
課題	人口減少および高齢者世帯の増加、ならびに近年の資材価格や労務費の高騰に伴う宅内排水接続費用の増加により、水洗化人口の伸び悩みが課題となっている。		
第3次総合計画 引継事項	公共下水道について、面整備工事を計画的に推進し、普及率を向上させるとともに、合わせて整備済区域内の方々へ対し、市広報誌及び市HPにより引き続き下水道への接続を呼び掛けていく。		
第3次総合計画 関連目標指標	No.54 汚水処理人口普及率		

(令和8年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO.	112	種別	総合計画	担当部署	上下水道課経営係
基本戦略/基本理念	基本理念4 自然を愛し環境をととのえる美しいまちづくり			施策	4-6 下水道等の整備
KPI(指標)	2 経費回収率				
KPI(指標)の考え方	公共下水道・農業集落排水・特定地域生活排水処理の各事業経営戦略目標値等をもとに設定した				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	90.0%	90.0%	90.0%	90.0%	90.0%
実績値	90.9%	85.4%	65.1%	80.2%	84.2%

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗 (令和7年度)	B: 概ね計画どおり実施	進捗・達成率(%) (令和7年度)	93.6%
主な取組と実績 (令和7年度)	令和6年10月からの下水道使用料改定により、使用料収入が増加した結果、経費回収率が向上した。		

◆計画期間(5カ年)での総括(自己分析)

計画期間での 達成率	90.2%	計画期間での 達成度評価	2: 概ね達成
成 果	人口減少や施設の老朽化、資材価格や労務費の高騰により、汚水処理費用に対して使用料収入が不足する状況が続いていたが、使用料改定による収入増により、経費回収率が向上に転じた。		
課 題	汚水処理費用に対して使用料収入が不足する状況が続いており、使用料収入の確保が課題となっている。		
第3次総合計画 引継事項	事業運営の健全化に向け、下水道への接続勧奨に努めるとともに、使用料収入の安定的な確保を図る。		
第3次総合計画 関連目標指標	No. 56 下水道使用料収納率		

(令和8年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO.	113	種別	総合計画	担当部署	上下水道課下水道係
基本戦略/基本理念	基本理念4 自然を愛し環境をととのえる美しいまちづくり			施策	4-6 下水道等の整備
KPI(指標)	3 合併処理浄化槽設置基数【累計】				
KPI(指標)の考え方	「北秋田市地域循環型社会形成推進地域計画」で掲げる設置予定基数(30基/年)を目標値とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	1,124基	1,154基	1,184基	1,214基	1,244基
実績値	1,078基	1,095基	1,109基	1,123基	1,133基

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗 (令和7年度)	B: 概ね計画どおり実施	進捗・達成率(%) (令和7年度)	91.1%
主な取組と実績 (令和7年度)	合併浄化槽の個人設置に対し、国の補助金にあわせ市独自の補助金の上乗せを継続し、浄化槽の設置促進を図った。令和7年度は10基の実績となった。		

◆計画期間(5カ年)での総括(自己分析)

計画期間での 達成率	91.1%	計画期間での 達成度評価	2: 概ね達成
成 果	令和5年度の補助金基本額の増額や市独自のかさ上げを実施したことにより、計画150基に対して79基設置され、着実に生活排水処理の向上に寄与した。		
課 題	人口減少および高齢者世帯の増加、ならびに近年の資材価格や労務費の高騰に伴う工事費用の増加により、設置基数の伸び悩みが課題となっている。		
第3次総合計画 引継事項	補助金の増額、市広報誌及び市HPでの周知に加え、チラシ配布や、SNSによる情報発信等により浄化槽設置補助金をPRし、生活環境の改善と公衆衛生の向上の取り組みを推進する。		
第3次総合計画 関連目標指標	なし		

(令和8年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO.	114	種別	総合計画	担当部署	上下水道課水道係
基本戦略/基本理念	基本理念4 自然を愛し環境をととのえる美しいまちづくり			施策	4-7 上水道・簡易水道の整備
KPI(指標)	1 有収率【累計】				
KPI(指標)の考え方	計画的に漏水調査及び管路更新に長期的に取り組む中で、通過点としての目標値を設定した				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	75.0%	75.0%	75.0%	75.0%	75.0%
実績値	71.2%	70.5%	70.5%	71.0%	70.2%

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗 (令和7年度)	B: 概ね計画どおり実施	進捗・達成率(%) (令和7年度)	93.6%
主な取組と実績 (令和7年度)	専門業者による漏水調査を継続し、24件、推定水量29.35m ³ /hの漏水を発見し措置を行った。また、監視システムを活用し、漏水等の早期発見に努めた。		

◆計画期間(5カ年)での総括(自己分析)

計画期間での 達成率	93.6%	計画期間での 達成度評価	2: 概ね達成
成 果	有収率の目標数値には至らなかったものの、専門業者と複数年契約により、計画的な漏水調査に加え、緊急漏水調査が可能となり漏水箇所の早期発見・早期修繕が定着し、有収率は概ね横ばいで推移している。		
課 題	管路の老朽化が進み、漏水件数が増加傾向となっていることや、管路埋設箇所不明地域も存在し、漏水箇所特定に時間を要することが課題となっている。		
第3次総合計画 引継事項	管路布設年度や管種及び漏水調査結果を基に、計画的な管路更新を図る。		
第3次総合計画 関連目標指標	No.53 管路更新率		

(令和8年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO.	115	種別	総合計画	担当部署	上下水道課経営係
基本戦略/基本理念	基本理念4 自然を愛し環境をととのえる美しいまちづくり			施策	4-7 上水道・簡易水道の整備
KPI(指標)	2 収納率				
KPI(指標)の考え方	類似団体の水準を目標値として設定した				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	99.0%	99.5%	99.5%	99.5%	99.5%
実績値	99.5%	99.5%	99.5%	99.3%	99.5%

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗 (令和7年度)	A: 目標を達成	進捗・達成率(%) (令和7年度)	100.0%
主な取組と実績 (令和7年度)	窓口業務の委託により、効果的な納付勧奨を行った結果、対象者の自主的な納付行動につながった。さらに、コンビニ収納等の普及により利便性を高め、納付機会を確保したことで収納率が向上した。		

◆計画期間(5カ年)での総括(自己分析)

計画期間での 達成率	100.1%	計画期間での 達成度評価	1: 達成
成 果	令和2年度より徴収業務の民間委託を実施するとともに、コンビニ収納やスマホ決済などの拡充を図ってきた。これらの施策が概ね順調に推移し、目標を達成した。		
課 題	未納者の固定化が課題となっている。		
第3次総合計画 引継事項	効果的な納付勧奨による自主納付の促進や、コンビニ収納等の普及による納付機会の確保など、現行の取り組みを継続する。これにより、利便性の維持向上を図るとともに、新たな未納の未然防止に努める。		
第3次総合計画 関連目標指標	No. 55 水道料金収納率		

(令和8年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO.	116	種別	総合計画	担当部署	消防本部
基本戦略/基本理念	基本理念 5 みんなで力をあわせる住みよいまちづくり			施策	5-2 消防・救急体制の充実
KPI (指標)	1 救命講習を受講したことがある市民の割合				
KPI (指標) の考え方	令和元年中、救急で心肺停止状態に陥った方に対し、その場に居合わせた方による応急手当が施された割合は約 56.0%であり、救命講習受講者を継続的に増やすことで応急手当の実施率が高くなり、救命率の向上も期待されることから目標値を 60.0%とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	60.0%	60.0%	60.0%	60.0%	60.0%
実績値	53.6%	58.4%	53.9%	56.4%	53.8%

◆担当部署による検証（自己分析）

取組の進捗 (令和7年度)	B：概ね計画どおり実施	進捗・達成率 (%) (令和7年度)	89.7%
主な取組と実績 (令和7年度)	若年層（小中学生）の救命への関心を得るため、ジュニア育成プロジェクトを開催し57名受講。		

◆計画期間（5カ年）での総括（自己分析）

計画期間での 達成率	92.0%	計画期間での 達成度評価	2：概ね達成
成 果	救命講習会受講者が若干減少したものの、応急手当の実施率は向上している。		
課 題	出前講座を含め救命講習会を実施しているが、2,000人の目標達成は困難な状況にある。		
第3次総合計画 引継事項	救命率を向上させるため、市民の救命講習会等への参加を促進することが必要。新たに小中学校等の低年齢層に対応した講習会を実施している。		
第3次総合計画 関連目標指標	No. 74 救命講習を受講したことがある市民の割合		

(令和8年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO.	117	種別	総合計画	担当部署	消防本部
基本戦略/基本理念	基本理念 5 みんなで力をあわせる住みよいまちづくり			施策	5-2 消防・救急体制の充実
KPI (指標)	2 住宅用火災警報器の設置率				
KPI (指標) の考え方	総務省消防庁による住宅用火災警報器設置状況調査（無作為抽出）の設置率を基準に、目標値を95.0%とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	95.0%	95.0%	95.0%	95.0%	95.0%
実績値	89.6%	82.4%	83.8%	83.8%	84.2%

◆担当部署による検証（自己分析）

取組の進捗 (令和7年度)	B：概ね計画どおり実施	進捗・達成率（%） (令和7年度)	88.6%
主な取組と実績 (令和7年度)	ホームページ、街頭及び紙面等による広報活動や補助事業を継続しながら住宅用火災警報器の設置、維持管理のPR活動を行った。		

◆計画期間（5カ年）での総括（自己分析）

計画期間での 達成率	89.2%	計画期間での 達成度評価	2：概ね達成
成 果	住宅用火災警報器の設置率は目標値を達成できなかったが、概ね全国平均（R7.6.1時点84.9%）を維持することができた。		
課 題	住宅用火災警報器の設置率を現状以上に保つためには、新規設置とともに更新を促進する必要がある。		
第3次総合計画 引継事項	住宅用火災警報器の未設置世帯に対する設置の推進とともに、火災時に適正に作動するよう、定期的な点検や交換など維持管理の促進についても働きかけを行っていく必要がある。		
第3次総合計画 関連目標指標	No.78 住宅用火災警報器の設置率		

(令和8年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO.	118	種別	総合計画	担当部署	消防本部
基本戦略/基本理念	基本理念5 みんなで力をあわせる住みよいまちづくり			施策	5-2 消防・救急体制の充実
KPI(指標)	3 救急救命士数				
KPI(指標)の考え方	救急車1台につき救急救命士6人の配置が必要であることから、実動人員30人を目標値とした。(現保有台数:5台)				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	30人	30人	30人	30人	30人
実績値	26人	27人	26人	25人	24人

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗 (令和7年度)	B:概ね計画どおり実施	進捗・達成率(%) (令和7年度)	80.0%
主な取組と実績 (令和7年度)	新規1名が救急救命士国家試験に合格し、運用開始予定。		

◆計画期間(5カ年)での総括(自己分析)

計画期間での 達成率	85.3%	計画期間での 達成度評価	2:概ね達成
成 果	計画期間を(R3~R7)を通じて、5名が救急救命士国家試験に合格し、運用を開始している。		
課 題	救命士有資格者が現在26名。実働人員30名を目標に養成している。		
第3次総合計画 引継事項	全救急車に救急救命士が搭乗するためには30名が必要であり、今後も要請を継続する。		
第3次総合計画 関連目標指標	なし		

(令和8年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO.	119	種別	総合計画	担当部署	消防本部
基本戦略/基本理念	基本理念 5 みんなで力をあわせる住みよいまちづくり			施策	5-2 消防・救急体制の充実
KPI (指標)	4 消防団充足率				
KPI (指標) の考え方	基本消防団員と機能別消防団員の確保に努め、条例定員の 90.0%を目標値とした。(定員 670 人)				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	90.0%	90.0%	90.0%	90.0%	90.0%
実績値	93.8%	90.0%	84.8%	81.6%	77.5%

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗 (令和7年度)	B: 概ね計画どおり実施	進捗・達成率 (%) (令和7年度)	86.1%
主な取組と実績 (令和7年度)	「二十歳の集い」の場で消防団員募集の一環としてPR活動を行い啓発することができた。また、消防団を応援する「消防団応援の店」事業を展開し、団員募集の促進を図った。		

◆計画期間(5カ年)での総括(自己分析)

計画期間での 達成率	95.0%	計画期間での 達成度評価	2: 概ね達成
成 果	団員数の減少に歯止めがかからない状況である一方、機能別団員は増加している。また、令和3年度に報酬基準の改善が進み、基準が満たされるようになり、成果の一助となった。		
課 題	少子高齢化、被用者の増加といった雇用形態の変化、地域コミュニティの希薄化が原因で、地域防災の担い手である団員、特に若手団員不足が深刻な課題となっている。		
第3次総合計画 引継事項	消防団員募集のソフト面として「消防団の魅力発進」、「イメージの刷新」、「団員の意欲向上」などメリットを増進し、活性化を促進する。		
第3次総合計画 関連目標指標	No. 77 消防団充足率		

(令和8年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO.	120	種別	総合計画	担当部署	消防本部
基本戦略/基本理念	基本理念 5 みんなで力をあわせる住みよいまちづくり			施策	5-2 消防・救急体制の充実
KPI (指標)	5 消防団協力事業所数【累計】				
KPI (指標) の考え方	全消防団員の約7割が被雇用者であることから、事業所の消防団活動に対する理解と協力が必要となっているため、「消防団協力事業所表示制度」を推進し、毎年1事業所以上の登録を目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	6 事業所	7 事業所	8 事業所	9 事業所	10 事業所
実績値	8 事業所	9 事業所	9 事業所	9 事業所	9 事業所

◆担当部署による検証（自己分析）

取組の進捗 (令和7年度)	B：概ね計画どおり実施	進捗・達成率 (%) (令和7年度)	90.0%
主な取組と実績 (令和7年度)	団員充足率の低い地区1件に訪問し、事業説明を行ったが、認定には至っていない。		

◆計画期間（5カ年）での総括（自己分析）

計画期間での 達成率	90.0%	計画期間での 達成度評価	2：概ね達成
成 果	積極的に企業訪問して消防団のPR活動の取組みを進めることができた。		
課 題	協力による社会的評価（社会貢献のアピール）が目に見えにくく、企業の価値向上に直結しにくいと感じられる。また、地域コミュニティの希薄化により事業所と地域社会の結びつきが弱くなっている。		
第3次総合計画 引継事項	地域防災の要である消防団員の減少を食い止めるため、従業員の入団促進や活動環境の整備に努め、事業所認定件数を継続的に増加させることを目標として掲げる		
第3次総合計画 関連目標指標	なし		

(令和8年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO.	121	種別	総合計画	担当部署	生活環境課くらしの安全係
基本戦略/基本理念	基本理念5 みんなで力をあわせる住みよいまちづくり			施策	5-3 交通安全の推進・防犯体制の強化
KPI(指標)	1 交通指導隊・防犯指導隊員数【累計】				
KPI(指標)の考え方	隊員の減少傾向が続いているため、前期計画策定時の隊員数を目標値として設定した				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	80人	80人	80人	80人	80人
実績値	63人	63人	61人	61人	58人

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗 (令和7年度)	C: 取組に努力を要する	進捗・達成率(%) (令和7年度)	72.5%
主な取組と実績 (令和7年度)	広報等で募集周知し、新規に隊員1名獲得したが、高齢等を理由に退職する人数をまかなうことができなかった。		

◆計画期間(5カ年)での総括(自己分析)

計画期間での 達成率	72.5%	計画期間での 達成度評価	3: 一部達成
成 果	交通安全強化期間や各種イベント時における巡回活動等により、交通事故や犯罪発生件数の抑止が図られた。		
課 題	人口の減少や少子高齢化等に伴い、指導隊の隊員数が減少している。		
第3次総合計画 引継事項	広報等における募集周知に努め、新規隊員の確保及び隊員数の増加を図る。		
第3次総合計画 関連目標指標	No. 71 交通指導隊、防犯指導隊の隊員数		

(令和8年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO.	122	種別	総合計画	担当部署	生活環境課くらしの安全係
基本戦略/基本理念	基本理念 5 みんなで力をあわせる住みよいまちづくり			施策	5-3 交通安全の推進・防犯体制の強化
KPI (指標)	2 年間の交通事故件数 (人身事故件数)				
KPI (指標) の考え方	直近5年間の平均値をもとに、目標値を設定した。(※北秋田警察署統計による交通事故件数)				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	35 件	35 件	35 件	35 件	35 件
実績値	13 件	24 件	20 件	24 件	17 件

◆担当部署による検証 (自己分析)

取組の進捗 (令和7年度)	A: 目標を達成	進捗・達成率 (%) (令和7年度)	205.9%
主な取組と実績 (令和7年度)	交通安全運動期間など街頭指導や交通指導車によるパトロールを行い、目標を達成することができた。		

◆計画期間 (5カ年) での総括 (自己分析)

計画期間での 達成率	178.6%	計画期間での 達成度評価	1: 達成
成 果	交通指導隊、交通安全協会、交通安全母の会など各関係機関の連携した活動等により、交通安全に対する意識の高揚が図られ、目標を達成した。		
課 題	交通事故に関し、被害者及び加害者にならないよう日頃から意識した活動、取組が必要。		
第3次総合計画 引継事項	各関係機関との連携強化を図り、交通安全に対する更なる意識の高揚と、啓発活動を推進する。		
第3次総合計画 関連目標指標	No. 70 交通事故 (人身事故) 件数		

(令和8年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO.	123	種別	総合計画	担当部署	生活環境課くらしの安全係
基本戦略/基本理念	基本理念 5 みんなで力をあわせる住みよいまちづくり			施策	5-3 交通安全の推進・防犯体制の強化
KPI (指標)	3 交通事故死者数				
KPI (指標) の考え方	令和元年度の水準をもとに、目標値を設定した。(※北秋田警察署統計による交通事故死者数)				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人
実績値	1 人	1 人	1 人	3 人	1 人

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗 (令和7年度)	B: 概ね計画どおり実施	進捗・達成率(%) (令和7年度)	—
主な取組と実績 (令和7年度)	交通安全運動期間など街頭指導や交通指導車によるパトロール等を行ったが、1人の死亡事故が発生した。		

◆計画期間(5カ年)での総括(自己分析)

計画期間での 達成率	—	計画期間での 達成度評価	—
成 果	交通安全運動期間など街頭指導や交通指導車によるパトロール等を行ったが、1人の死亡事故が発生した。		
課 題	1人の死者数が発生したが、今後も引き続き交通事故防止等の意識高揚を図る。		
第3次総合計画 引継事項	街頭指導およびパトロール活動等を継続して実施し、市民の意識高揚を図る。		
第3次総合計画 関連目標指標	なし		

(令和8年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO.	124	種別	総合計画	担当部署	生活環境課くらしの安全係
基本戦略/基本理念	基本理念 5 みんなで力をあわせる住みよいまちづくり			施策	5-3 交通安全の推進・防犯体制の強化
KPI (指標)	4 犯罪件数 (刑法犯認知件数)				
KPI (指標) の考え方	令和元年度の水準をもとに、目標値を設定した。(※北秋田警察署統計による犯罪件数)				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	40 件	40 件	40 件	40 件	40 件
実績値	57 件	68 件	50 件	49 件	48 件

◆担当部署による検証 (自己分析)

取組の進捗 (令和7年度)	B: 概ね計画どおり実施	進捗・達成率 (%) (令和7年度)	83.3%
主な取組と実績 (令和7年度)	通話録音装置の貸出や出前講座の実施、防災ラジオでの注意喚起等により、犯罪被害の未然防止等に努めた。		

◆計画期間 (5カ年) での総括 (自己分析)

計画期間での 達成率	73.5%	計画期間での 達成度評価	3: 一部達成
成 果	防犯指導隊、防犯協会、警察など各関係機関の連携した活動等により、防犯に対する意識の高揚が図られた。		
課 題	高齢化の加速、地域のつながりの希薄化等により地域防犯力の低下が懸念される。		
第3次総合計画 引継事項	関係機関との連携を強化し、巡回等の啓発活動を促進する。		
第3次総合計画 関連目標指標	No. 72 犯罪件数 (刑法犯認知件数)		

(令和8年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO.	125	種別	総合計画	担当部署	生活環境課くらしの安全係
基本戦略/基本理念	基本理念 5 みんなで力をあわせる住みよいまちづくり			施策	5-4 消費者保護の推進
KPI (指標)	1 消費生活に関する講座、研修会参加者数				
KPI (指標) の考え方	令和元年度の実績値から5年で20.0%の増加を目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	174 人	180 人	186 人	192 人	200 人
実績値	146 人	72 人	30 人	28 人	68 人

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗 (令和7年度)	C: 取組に努力を要する	進捗・達成率 (%) (令和7年度)	34.0%
主な取組と実績 (令和7年度)	消費者トラブル等の注意喚起や犯罪被害防止のため、出前講座を2回実施した。防災ラジオ等での周知も影響し、消費生活センターの認知も向上されつつある。		

◆計画期間(5カ年)での総括(自己分析)

計画期間での 達成率	36.9%	計画期間での 達成度評価	4: 未達
成 果	街頭でのチラシ配布や出前講座の実施、防災ラジオ等での注意喚起により、相談窓口の周知は着実に進んできている。		
課 題	高齢化の加速、単身世帯の増加等により、消費者トラブルに巻き込まれるリスクが懸念される。		
第3次総合計画 引継事項	相談窓口の周知及び啓発活動を継続して実施し、消費者被害の防止対策を推進する。		
第3次総合計画 関連目標指標	No. 73 消費者問題に関する意識啓発活動の実施件数		

(令和8年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO.	126	種別	総合計画	担当部署	総務課総務係
基本戦略/基本理念	基本理念 5 みんなで力をあわせる住みよいまちづくり			施策	5-7 行財政改革の推進
KPI (指標)	1 職員数 (各年度4月1日現在)				
KPI (指標) の考え方	令和2年4月1日現在の実職員数(474人)を基準とし、令和2年度末職員数の現状及び将来的な要素を考慮し持続可能な行政サービスの維持継続のために必要と想定される職員数を目標値とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	464人	464人	464人	468人	468人
実績値	463人	461人	460人	458人	455人

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗 (令和7年度)	C: 取組に努力を要する	進捗・達成率 (%) (令和7年度)	97.2%
主な取組と実績 (令和7年度)	R6年度よりも採用試験の時期を早めたり、募集状況に応じて追加募集を行ったが、職員定員管理計画(R7年4月1日)の計画職員数468人に対し、455人の△13人と計画を下回った。		

◆計画期間(5カ年)での総括(自己分析)

計画期間での達成率	98.7%	計画期間での達成度評価	2: 概ね達成
成 果	定員管理計画に沿って職員採用を進めてきたが、想定を超える若年層の早期退職者の増加や採用試験合格者の辞退者が多くなっている。その中で、採用試験の時期を早めたり、状況に応じた追加募集などを行っている。		
課 題	職員定員管理計画の計画職員数に対し、計画を下回る職員数となっていることから、選ばれる職場、離職の抑制を図るため、職員がやりがいを持って長く働き続けられる職場環境を構築する必要がある。		
第3次総合計画 引継事項	現在の職員定員管理計画の計画期間がR8年度までとなっているため、「今後どのような行政サービスを、どの程度のレベルで維持していくのか」という整理を行いながら新たな計画を策定する。		
第3次総合計画 関連目標指標	なし		

(令和8年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO.	127	種別	総合計画	担当部署	財政課財政係
基本戦略/基本理念	基本理念5 みんなで力をあわせる住みよいまちづくり			施策	5-7 行財政改革の推進
KPI(指標)	2 実質公債費比率				
KPI(指標)の考え方	令和2年度で地方交付税の段階的縮減が終了したことを踏まえて行った財政課シミュレーション結果を目標値とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	11.1%	11.1%	11.1%	11.1%	11.1%
実績値	9.2%	8.3%	7.8%	7.4%	6.8%

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗 (令和7年度)	A: 目標を達成	進捗・達成率(%) (令和7年度)	163.2%
主な取組と実績 (令和7年度)	目標値内であり、計画的な地方債の発行、繰上償還により効果があったものとする。		

◆計画期間(5カ年)での総括(自己分析)

計画期間での 達成率	140.5%	計画期間での 達成度評価	1: 達成
成 果	計画的な地方債の発行、公債費負担の適正管理により、財政の健全性が維持され、目標を達成することができた。		
課 題	普通交付税交付額の増減が比率に大きな影響を与えるため、地方債の発行にあたっては、普通交付税算入率などを考慮した借入を引き続き実施する。		
第3次総合計画 引継事項	地方債の発行にあたっては、普通交付税算入率などを考慮した借入を行い、公債費負担の適正な管理、中長期的な視点に立った財政運営に継続して取り組む。		
第3次総合計画 関連目標指標	No.90 実質公債費比率		

(令和8年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO.	128	種別	総合計画	担当部署	財政課財政係
基本戦略/基本理念	基本理念 5 みんなで力をあわせる住みよいまちづくり			施策	5-7 行財政改革の推進
KPI (指標)	3 将来負担比率				
KPI (指標) の考え方	令和2年度で地方交付税の段階的縮減が終了したことを踏まえて行った財政課シミュレーション結果を目標値とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	85.0%	85.0%	85.0%	85.0%	85.0%
実績値	51.7%	42.1%	18.0%	3.4%	－ (算定されず)

◆担当部署による検証 (自己分析)

取組の進捗 (令和7年度)	A: 目標を達成	進捗・達成率 (%) (令和7年度)	－ (算定不可)
主な取組と実績 (令和7年度)	目標値内であり、計画的な地方債の発行、繰上償還により効果があったものとする。		

◆計画期間 (5カ年) での総括 (自己分析)

計画期間での 達成率	－ (算定不可)	計画期間での 達成度評価	1: 達成
成 果	計画的な地方債の発行、公債費負担の適正管理により、財政の健全性が維持され、目標を達成することができた。		
課 題	地方債現在高と公債費の基準財政需要額算入見込額、普通交付税額の増減が比率に大きな影響を与えるため、地方債の発行にあたっては、普通交付税算入率などを考慮した借入を引き続き実施する。		
第3次総合計画 引継事項	地方債の発行にあたっては、普通交付税算入率などを考慮した借入を行い、公債費負担の適正な管理、中長期的な視点に立った財政運営に継続して取り組む。		
第3次総合計画 関連目標指標	No. 91 将来負担比率		

(令和8年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO.	129	種別	総合計画	担当部署	総務課総務係
基本戦略/基本理念	基本理念 5 みんなで力をあわせる住みよいまちづくり			施策	5-7 行財政改革の推進
KPI (指標)	4 債権等 (市税・負担金・使用料等) 収納率				
KPI (指標) の考え方	平成 30 年度、令和元年度と 98.5%以上を維持していることから、期間中に 98.7%の収納率を目標値とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	98.7%	98.7%	98.7%	98.7%	98.7%
実績値	99.0%	99.1%	99.1%	98.9%	98.8%

◆担当部署による検証 (自己分析)

取組の進捗 (令和7年度)	A: 目標を達成	進捗・達成率 (%) (令和7年度)	100.1%
主な取組と実績 (令和7年度)	債権管理委員会は開催できなかったが、債権管理委員会作業部会を開催し、庁内の連携、各部署の取り組みの確認・共有を行った。		

◆計画期間 (5カ年) での総括 (自己分析)

計画期間での 達成率	100.3%	計画期間での 達成度評価	1: 達成
成 果	これまでの地道な取り組みにより、計画期間内5年間の平均収納率は99.0%と高い収納率を維持している。(※計画期間内の各年度の目標値をすべて達成)		
課 題	回収困難債権の債権放棄について、対象債権のリストアップ、整理、債権放棄の手法、実施に向けた手続き等を進める必要がある。		
第3次総合計画 引継事項	引き続き、債権管理委員会及び作業部会において、各部署の取り組みの確認・共有を図りながら、収納率の低下を招かないよう対策を図る。		
第3次総合計画 関連目標指標	No. 92 債権等 (市税・負担金・使用料等) 収納率		

(令和8年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO.	130	種別	総合計画	担当部署	総務課総務係
基本戦略/基本理念	基本理念 5 みんなで力をあわせる住みよいまちづくり			施策	5-7 行財政改革の推進
KPI (指標)	5 市役所職員の窓口や電話での対応が良いと答えた市民の割合				
KPI (指標) の考え方	前期計画の市民意識調査による目標値をほぼ達成していることから、職員のさらなる意識改革、能力向上を目指し期間中に 3.2%の増加を目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	60.4%	61.1%	61.7%	62.4%	63.0%
実績値	56.6%	57.8%	59.0%	59.9%	59.0%

◆担当部署による検証 (自己分析)

取組の進捗 (令和7年度)	B: 概ね計画どおり実施	進捗・達成率 (%) (令和7年度)	93.7%
主な取組と実績 (令和7年度)	研修等を実施し、人材育成を図った。①職員研修(市主催)6回開催(人事評価、ハラスメント、徴収職員スキル向上、女性職員研修等)、②市町村アカデミー研修(デジタル化、文化芸術、広報、健康増進)4名、③行政視察研修(先進地視察)3名、④海外研修(シンガポール)1名		

◆計画期間(5カ年)での総括 (自己分析)

計画期間での達成率	94.7%	計画期間での達成度評価	2: 概ね達成
成 果	昨年度実績より△0.9%となり、目標値には届かなかったが、計画期間内において、着実に実績が向上している。R5年度からの市民意識調査(市職員の対応の印象)では良い印象の自由記述が悪い印象を上回っている。		
課 題	市民意識調査において、職員対応に好印象を持たれている市民が多くいる一方で、「笑顔が少ない」「対応に時間がかかりすぎ」「上から目線」などの意見もあり、少数職員の不適切対応が一定数見受けられる。		
第3次総合計画 引継事項	限られた人員のなかで接遇の市民満足度向上を図るため、引き続き、外部講師を活用したあらゆる階層向けの研修等の実施や各種研修会の派遣を通じて職員の育成を図る。		
第3次総合計画 関連目標指標	No. 94 市役所職員の窓口や電話での対応が良いと答えた市民の割合		

(令和8年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO.	131	種別	総合計画	担当部署	総合政策課広報係
基本戦略/基本理念	基本理念 5 みんなで力をあわせる住みよいまちづくり			施策	5-7 行財政改革の推進
KPI (指標)	6 市ホームページの年間アクセス数				
KPI (指標) の考え方	人口が減少傾向にあるため、現状と同等程度のアクセス数を得ることを目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	632,000 件	632,000 件	632,000 件	632,000 件	632,000 件
実績値	787,159 件	835,927 件	805,487 件	802,451 件	885,996 件

◆担当部署による検証（自己分析）

取組の進捗 (令和7年度)	A：目標を達成	進捗・達成率 (%) (令和7年度)	140.2%
主な取組と実績 (令和7年度)	市政・観光情報の更新や「ちいきの話題」など最新情報を随時掲載。ユーザー数は若干減少したものの、順調に推移しながら目標値を達成。		

◆計画期間（5カ年）での総括（自己分析）

計画期間での 達成率	130.3%	計画期間での 達成度評価	1：達成
成 果	情報発信の仕方を工夫しながら行ったことにより、人口減少が進むなかでもアクセス数は増加傾向にある。		
課 題	最低限、現状を維持できるよう工夫して努める。		
第3次総合計画 引継事項	これまでと同様の取り組みを継続しつつ、ホームページ来訪者にとって有益な情報となるコンテンツやホームページの充実など、工夫（R8中に一部改修）を凝らしながら情報提供に努める。		
第3次総合計画 関連目標指標	No. 82 市ホームページの年間アクティブユーザー数【単年】		

(令和8年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO.	132	種別	総合計画	担当部署	総合政策課広報係
基本戦略/基本理念	基本理念 5 みんなで力をあわせる住みよいまちづくり			施策	5-7 行財政改革の推進
KPI (指標)	7 何かしら市政情報を得ている市民の割合				
KPI (指標) の考え方	市民意識調査において回答割合の高い森吉地区の水準を全市の目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	98.0%	98.0%	98.0%	98.0%	98.0%
実績値	92.6%	92.3%	91.7%	91.9%	90.4%

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗 (令和7年度)	B: 概ね計画どおり実施	進捗・達成率 (%) (令和7年度)	92.2%
主な取組と実績 (令和7年度)	市民意識調査によると市政情報の取得方法が「広報きたあきた」が最も高い。ホームページやSNS等と組み合わせながら情報提供し概ね順調に推移。		

◆計画期間(5カ年)での総括(自己分析)

計画期間での 達成率	93.7%	計画期間での 達成度評価	2: 概ね達成
成 果	全戸配布の「広報きたあきた」が高い割合を占めていることで、紙面内容が一定の評価を得ているものと思われる。		
課 題	広報紙のページ数削減を念頭に、電子化への移行を検討する時期であると思われるが、現状のニーズを考慮するとなかなか難しい。		
第3次総合計画 引継事項	引き続き、全世代から支持を得られるよう広報活動を行い「広報きたあきた」の紙面の充実に努めながら、公式SNS等も活用して相乗効果を生み出していく。		
第3次総合計画 関連目標指標	No. 84 「市広報紙・市ホームページ・市公式SNS」の市政情報発信について、取得に関して満足している市民の割合		

(令和8年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO.	133	種別	総合計画	担当部署	総合政策課広報係
基本戦略/基本理念	基本理念5 みんなで力をあわせる住みよいまちづくり			施策	5-7 行財政改革の推進
KPI(指標)	8 SNSへのフォロワー数(X(旧twitter)等)				
KPI(指標)の考え方	SNSを活用し情報を得る方が多くなっているため、より多くの方が活用できるよう現状の10.0%の増加を目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	2,336件	4,350件	4,785件	5,263件	5,789件
実績値	3,955件	4,731件	5,870件	6,754件	7,885件

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗 (令和7年度)	A: 目標を達成	進捗・達成率(%) (令和7年度)	136.2%
主な取組と実績 (令和7年度)	X、Instagram、Facebookなどを活用して市政・観光情報や身近な話題など、本市の魅力を継続発信。フォロワー数は順調に推移しながら目標値を達成。		

◆計画期間(5カ年)での総括(自己分析)

計画期間での 達成率	129.6%	計画期間での 達成度評価	1: 達成
成 果	工夫しながらそれぞれのSNSの特性を生かし、一貫性のある情報発信をしていることでフォロワー数は増加傾向にある。		
課 題	人口減少が続くなか、新規フォロワー数を獲得する斬新な手段がなかなか思いつかない。		
第3次総合計画 引継事項	どの自治体でもフォロワー数を獲得し続けることは極めて困難なようで、爆発的な増加は無理としても、引き続き、他市の先進事例を取り入れるなど工夫していく。		
第3次総合計画 関連目標指標	No.83 市公式SNSのフォロワー数(Instagram、X、Facebook、LINE)【単年】		

(令和8年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO.	134	種別	総合計画	担当部署	総合政策課デジタル化推進係
基本戦略/基本理念	基本理念5 みんなで力をあわせる住みよいまちづくり			施策	5-7 行財政改革の推進
KPI(指標)	9 電子申請届出サービスの利用の拡大				
KPI(指標)の考え方	オンラインでの電子届出サービス等の利用拡大を図り、市役所の各種申請等へ活用することを目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	2件	30件	45件	55件	60件
実績値	0件	48件	56件	68件	106件

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗 (令和7年度)	A: 目標を達成	進捗・達成率(%) (令和7年度)	176.7%
主な取組と実績 (令和7年度)	北秋田市DX推進本部会議における電子申請プロジェクトとして取組を強化し、利用可能手続きを大幅に増やすことができた。		

◆計画期間(5カ年)での総括(自己分析)

計画期間での 達成率	176.7%	計画期間での 達成度評価	1: 達成
成 果	オンラインで電子申請が可能な手続きを拡大することにより、市民が来庁せずいつでも市役所の各種申請等できるようになり、市民の利便性が向上した。		
課 題	オンラインで申請を収受しても、その後の決裁及び通知等がオンライン化していないことから、職員視点では紙に印刷して処理するなどの業務負担が増加している。		
第3次総合計画 引継事項	電子申請におけるキャッシュレス決済の対応により、オンライン申請の種類をさらに充実させるとともに、市民に対しオンライン行政手続講習会等を実施し、誰でもオンライン申請ができるデジタルデバйд対策も行う。		
第3次総合計画 関連目標指標	No. 86 オンライン申請の種類		

(令和8年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO.	135	種別	総合計画	担当部署	総合政策課政策係
基本戦略/基本理念	基本理念5 みんなで力をあわせる住みよいまちづくり			施策	5-7 行財政改革の推進
KPI(指標)	10 RPAを導入する業務数				
KPI(指標)の考え方	新たにRPAを導入し、業務の効率化を図ることを目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	2業務	4業務	6業務	8業務	10業務
実績値	1業務	1事業	1業務	1業務	1業務

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗 (令和7年度)	D:取組の改善が必要	進捗・達成率(%) (令和7年度)	10.0%
主な取組と実績 (令和7年度)	令和7年度は、これまで同様にふるさと納税業務での寄附者への礼状や税控除に係るワンストップ申請の自動印刷作業に導入している。当課デジタル化推進係において、内製化可能なRPAツールの導入と対象業務の選定を進めており、次年度以降の対象業務増加が見込まれる。		

◆計画期間(5カ年)での総括(自己分析)

計画期間での 達成率	16.7%	計画期間での 達成度評価	4:未達
成果	全庁的な業務量調査や他市事例の検討、担当課へのヒアリングを通じ、RPA適性業務の洗い出しを行った。導入に向けた技術的課題やシステム制約を明確に整理した上で、1事業への導入を実現した。		
課題	独自の手続きやシステム制約等が導入拡大の障壁となっている。今後は個別業務の継続的な発掘に加え、成功事例の紹介等を通じて庁内のDX意識を醸成し、庁内全体の業務効率化を推進していく必要がある。		
第3次総合計画 引継事項	引継なしとした。		
第3次総合計画 関連目標指標	なし		